

健康福祉学部長

講演・口頭発表等

- 1) 須山夏加, 金 寿蓮, 石井良和, 木下正信:首都大学東京における作業療法教育の国際化教育と国際. 第19回日本作業療法教育研究学術集会, 20141004.
- 2) Yi S, Yamamoto Y, Ren K, Kinoshita M, Yamamoto H, Ozaki N: Absence of adipocyte precursor cells in mesentery of *suncus murinus*. the 18th Congress of International Federation of Associations of Anatomists, 20140808.

競争的資金等の研究課題

- 1) 井上 薫:文部科学省科学研究費基盤研究(B)「認知症高齢者を対象としたメンタルコミットロボット・パロを活用したケア効果」, 201204-201603.
- 2) 木下正信:首都大学東京 平成24年度 傾斜的研究費(部局分・部局競争的経費)「筋強直性ジストロフィー1型の新規治療戦略と同ジストロフィー2型の臨床像の解析」, 201404-201503.
- 3) 木下正信:首都大学東京 教育改革推進事業(学内提案分)「大学院生の国際共同研究恒常化プログラムへグローバル人材育成を推進す」, 201304-201503.

看護学科

論文

- 1) 飯村直子:小児科一般外来における看護師の働き ある地域密着型中規模病院におけるエスノグラフィー. 日本看護科学会誌, 34:46-55, 201412.

講演・口頭発表等

- 1) 三浦里織, 福井里美, 堀田恵美子, 西村ユミ, 飯村直子:がん化学療法看護認定看護師教育課程への派遣に関する関東以北圏施設の看護管理者の認識. 日本保健科学学会誌 vol17suppl.第24回日本保健科学学会学術集会抄録集. 23, 201409.
- 2) 安田由美, 飯村直子:小児病棟で勤務する新卒看護師の仕事への継続意欲. 第34回日本看護科学学会学術集会講演集. 271, 201411.
- 3) 中村由美子, 飯村直子, 杉本晃子:家族看護とは. 家族システム看護(カルガリー式家族アセスメントモデル・介入モデル).日本家族看護学会家族看護学実践セミナー(京都)講演, 20140526.
- 4) 中村由美子, 飯村直子, 杉本晃子:家族看護とは. 家族システム看護(カルガリー式家族アセスメントモデル・介入モデル).日本家族看護学会家族看護学実践セミナー(岡山)講演, 20140809.
- 5) 飯村直子:小児看護学の基礎. 千葉県民医連看護師学習会教育講演, 20141220.
- 6) 飯村直子:小児看護における家族看護. 東京都立小児医療センター小児エキスパート看護師研修講演, 20150325.

競争的資金等の研究課題

- 1) 飯村直子:文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「子育て支援の輪をつなぐ小児医療と福祉のネットワークおよびプログラムの開発」, 2014-2016.

Misc

- 1) 飯村直子:学科長インタビュー 看護学科の魅力って何?. 蛍雪時代6月号付録学部リサーチ! 全国大学看護・医療・保健学部系統の総合的研究. 15-17. 旺文社, 201406.
- 2) 飯村直子:インタビュー学校紹介編首都大学東京. DATA BOX vol.25. 3. 文化放送キャリアパートナーズ
- 3) 濱中喜代, 飯村直子, 渡邊輝子, 横山佳世, 清水称喜, 梶原厚子:シンポジウム キラッと光る知と技とこころの看護実践, 日本小児看護学会誌. 23(3). 131-136, 201411.
- 4) 飯村直子, 佐々木祥子, 種吉啓子, 他:エキスパートパネル3 家族とのコミュニケーション力を育てよう!. 日本小児看護学会第24回学術集会講演集. 58-60, 201407.

研究報告書

- 1) 首都大学東京健康福祉学部看護学科:平成26年度傾斜的研究費(部局長裁量経費)成果報告書. 看護教育・研究の国際化推進と人材育成, 2014.

論文

- 1) 坂田清美, 安達久美子: 熟練助産師が妊婦健康診査時に行うフィジカルアセスメント. 日本ウーマンズヘルス学会誌, 13(2):9-20, 20150301.

著書

- 1) 安達久美子: 助産学講座1 基礎助産学(1)助産学概論. 2, 第7章助産師と教育:201502.

Misc

- 1) 安達久美子, 谷口初美, 岡本喜代子, 山城五月, 新福洋子, 太田康江, ティエンティマイ:ICM 日本・ベトナム Twinning Project. 日本助産師学会誌, 70th:26-27, 201405.
- 2) 安達久美子: 助産業務ガイドライン改定 正常分娩急変時のガイドライン(産褥期). 助産師, 68(2):15-16, 20140501.
- 3) 安達久美子: 正常分娩急変時の対応(分娩期, 産褥期, 新生児期). 日本周産期・新生児医学会雑誌, 50(2):610, 20140620.
- 4) 高田昌代, 宮下ルリ子, 安達久美子, 有園博子, 井上裕子, 勝木洋子, 甲村弘子: 若い男女の結婚・妊娠時期計画支援に関するプロモーションプログラムの開発に関する研究 思春期後期における結婚, 出産のライフデザインに関連する不妊や月経教育との関連に関する調査. 若い男女の結婚・妊娠時期計画支援に関するプロモーションプログラムの開発に関する研究 平成 26 年度 総括・分担研究報告書, : 115-122, 2015.

講演・口頭発表等

- 1) 服部律子, 江角伸吾, 安達久美子, 前田ひとみ, 渡辺純一: 思春期ピアカウンセラー養成講座受講による若者の変化. 日本思春期学会総会・学術集会抄録集, 20140827.
- 2) 吉川麻里, 安達久美子: 妊娠による骨盤の変化と分娩の関連. 日本助産学会誌, 20150220.
- 3) 金澤貴子, 潮田千寿子, 安達久美子, 竹内道子, 田幡純子, 内田朋子, 鈴木小弥香, 小川久貴子: 助産師・ソーシャルワーカーからみた 10 代母の特徴. 日本助産学会誌, 20150220.

競争的資金等の研究課題

- 1) 安達久美子: 文部科学省 科学研究費補助金(挑戦的萌芽研究)「妊婦の恥骨結合上端開角(PSA)の測定による妊娠中のリラキシン量推定の試み」, 2014-2016.
- 2) 小川久喜子 分担 安達久美子: 文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「10 代女性の周産期を中心とした育児支援システムの構築」, 201404-201703.

著書

- 1) 勝野とわ子:認知症者の転倒予防とリスクマネジメント第2版. 2, 転倒予防のための教育プログラムとは: 日本医事新報社, 201410.

Misc

- 1) 岩田温子, 勝野とわ子:がん患者の生を支える看護ケア. 日本がん看護学会誌, 29:141, 201501.
- 2) 出貝裕子, 勝野とわ子:療養環境に関連した聴覚刺激に対する成人と高齢者の生理的および主観的評価. 老年看護学, 19(1):53-61, 20141130.
- 3) 出貝裕子, 勝野とわ子:療養環境に関連した聴覚刺激に対する成人と高齢者の生理的および主観的評価. 老年看護学: 日本老年看護学会誌, 19(1):53-61, 20141130.
- 4) 木舟雅子, 宮永和夫, 田中悠美子, 比留間ちづ子, 干場 功, 勝野とわ子, 小山恵子, 小野寺敦志, 松井文子, 遠藤百合子:若年認知症の親を持つ子どもへの支援・啓蒙活動について 子どもの視点に立った「若年認知症」読本作成・配布を通して. 日本認知症ケア学会誌, 13(1):287-287, 201404.

講演・口頭発表等

- 1) 勝野とわ子:がん患者の生を支える看護ケア. 第29回日本がん看護学会学術集会, 201502.
- 2) 勝野とわ子:Factors related to the continuation of volunteering for a support service for person with early-onset dementia by nursing students in Japan. 18th East Asian Forum of Nursing Scholars, 201502.
- 3) 勝野とわ子: "It gave me the courage to move one step further": Experiences of nursing students participating in yu-yu star club in Japan. 18th East Asian Forum of Nursing Scholars, 201502.
- 4) 勝野とわ子:The physiological responses and subjective assessments by environmental auditory stimuli among persons with dementia in Japan. 2014 Alzheimer's Association International Conference, 201407.
- 5) 勝野とわ子:地域に住む高齢者の死生観. 日本老年看護学会第19回学術集会, 201406.

競争的資金等の研究課題

- 1) 勝野とわ子:文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「若年認知症家族介護者の健康支援に関する看護技術開発」, 2015-2017.

論文

- 1) Hirano M, Kawahara K, Saeki K: Development of a social activities scale for community-dwelling older women requiring support in Japan: a preliminary study". Journal of Public Health Nursing(on line):
<http://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1111/phn.12161/pdf>
- 2) 平野美千代, 河原加代子, 佐伯和子: 要支援高齢女性の社会活動尺度の開発. 日本地域看護学会誌, 日本地域看護学会誌, 17(2):19-27, 2014.
- 3) 小原真理子, 齋藤正子, 久保祐子, 河原加代子, 石田千絵, 菅野太郎: 災害発生時、避難所における住民による要援護者の部屋割りトリアージの取り組み. 日本災害復興学会誌, 16(1):19-24, 2014.
<http://f-gakkai.net/modules/tinyd9/index.php?id=21>

著書

- 1) 河原加代子: 第1部総論編 第2章B家族, 第2部実践編 第5章在宅看護技術, 系統看護学講座統合分野在宅看護論(第版):31-37, 136-155, 医学書院, 東京, 2014.

講演・口頭発表等

- 1) Hirahara Y, Kawahara K, Kurosawa Y: Characteristics of nursing care for cancer patients undergoing outpatient chemotherapy by visiting nurses. 18th East Asian Forum of Nursing Scholars, Taiwan, 201502.
- 2) Kurosawa Y, Kawahara K, Hirahara Y: Literature review on the effects of foot bathing in Japan. 18th East Asian Forum of Nursing Scholars, Taiwan, 201502.
- 3) Hayano K, Kawahara K, Verification of a causal model of team empowerment factors and teamwork function in nursing activities in the acute post-earthquake phase. 18th East Asian Forum of Nursing Scholars, Taiwan, 201502.
- 4) 宮崎紀枝, 河原加代子: 保健師による事業化のストラテジーの構成概念に影響する要因. 第73回日本公衆衛生学会, 61(10), 560. 201410.
- 5) 横山史子, 河原加代子, 清水準一: 独居の要介護高齢者が在宅生活を継続するために訪問看護師が行う看護ケアの判断の特徴－慢性疾患, アルコール依存症, 認知症をもつ療養者の事例を通して－. 第16回日本在宅ケア学会, 201411.
- 6) 横山史子, 河原加代子, 清水準一: “地域を看る”視点から展開する訪問看護活動－認知症をもつ独居の要介護高齢者との関わりから－. 第24回日本保健科学学会, 201409.

競争的資金等の研究課題

- 1) 河原加代子: 平成26年度科学研究費補助金(基盤(B))「看護職・介護職による災害時要援護者二次トリアージの開発」, 分担, 採択.

その他

- 1) 河原加代子: 社会情勢の変化と在宅での看取り, 家族看護, 24巻2号, 16-23, 2014.

論文

- 1) Oh CH, Saito E: Comparison of eating habits in obese and non-obese Filipinas living in an urban area of Japan. Journal of immigrant and minority health / Center for Minority Public Health, 17(2):467-473, 201405.
- 2) Saito E, Ueki S, Yasuda N, Yamazaki S, Yasumura S: Risk factors of functional disability among community-dwelling elderly people by household in Japan: a prospective cohort study. BMC geriatrics, 14:93, 201408.
- 3) 松田美祥, 呉 朱響, 斉藤恵美子: 災害後に高齢者が社会活動を再開する時期とその促進要因に関する検討 (特集 東日本大震災と被災住民の保健医療・介護福祉への影響). 厚生指標, 62(3): 32-38, 201503.

Misc

- 1) 斉藤恵美子: "The 6th International Conference on Community Health Nursing Research"のご案内. 日本地域看護学会誌, 17(1):20140731.

講演・口頭発表等

- 1) 鈴木浩子, 大友光恵, 斉藤恵美子: 子ども虐待リスクのある事例の保健師のアウトリーチを通じた支援による変化. 日本地域看護学会第 17 回学術集会, 20140802.
- 2) 神崎由紀, 斉藤恵美子: 地域包括支援センター看護職が見守り支援する社会的に孤立した高齢者の特徴: 看護職の配置人数による比較. 第 3 回日本公衆衛生看護学会学術集会, 20141105.
- 3) 神崎由紀, 斉藤恵美子: 地域包括支援センター看護職が見守り支援する社会的に孤立した高齢者の実態. 第 73 回日本公衆衛生学会総会, 20141105.
- 4) 鈴木良美, 斉藤恵美子, 中田晴美, 柳 修平, 遠藤直子, 永田智子, 麻原きよみ: 23 区内 7 大学学生による「保健師教育の技術項目と卒業時の到達度」の自己評価. 第 73 回日本公衆衛生学会総会, 20141107.
- 5) 渡邉亜梨珠, 表 志津子, 平松知子, 斉藤恵美子, 岡本理恵, 榊原千秋, 塚崎恵子, 市森明恵, 京田 薫: 地域の高齢者の足の手入れ習慣の実態と身体機能との関連. 第 73 回日本公衆衛生学会総会, 20141107.
- 6) 斉藤恵美子, 岸 恵美子, 鈴木良美, 中田晴美, 五十嵐千代, 掛本知里, 澤井美奈子, 三好智美, 麻原きよみ, 永田智子: 自治体と大学との協働による保健師基礎教育の取り組み: 保健師教育選択制を先駆的に実施した大学からの報告(ワークショップ). 第 3 回日本公衆衛生看護学会学術集会, 20150110.
- 7) 嶋津多恵子, 麻原きよみ, 斉藤恵美子, 丹野久美, 富山紀代美, 鳩野洋子, 宮崎美砂子: よりよい実践のための研究に向けて倫理的配慮はどうする?: 日本公衆衛生看護学会研究倫理審査委員会の活用(ワークショップ). 第 3 回日本公衆衛生看護学会学術集会, 20150110.

競争的資金等の研究課題

- 1) 表 志津子:文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(B))「降雪地域の高齢者の心身機能向上を目的とした歩行機能サポートプログラムの構築と評価」, 2013-2016.
- 2) 鈴木良美:文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「保健師選択制を先駆的に実施した自治体と大学との協働による学生の到達度評価」, 2014-2016.

論文

- 1) Sharmila Shrestha, Kumiko Adachi, Marcia A. Petrini, Akihiro Shuda, Sarita Shrestha: Nepalese primiparous mothers' knowledge of newborn care. Nursing and Health Sciences, 17:347-353, 20150101.

著書

- 1) 志自岐康子, 松尾ミヨ子, 習田明裕: 基礎看護技術, メディカ出版, 2015.

講演・口頭発表等

- 1) 稲村里美, 習田明裕: 炭酸ガス気腹法による腹腔鏡下手術における体温低下の実態とその影響要因. 日本手術看護学会誌, 20140925.
- 2) 小野田 舞, 習田明裕, 志自岐康子: P-6 短時間正職員制度の現状と課題: 制度を利用している看護師のインタビューから(ポスターセッション(1), 一般演題, 第 24 回日本保健科学学会学術集会). 日本保健科学学会誌, 20140927.
- 3) 小野田舞, 習田明裕, 志自岐康子: 短時間正職員制度の現状と課題—制度を利用している看護師のインタビューから—. 日本保健科学学会誌, 20140927.
- 4) 習田明裕, 森田孝子, 添田英津子, 野尻佳代, 萩原邦子, 古米照恵, 永田明: わが国の看護基礎教育における移植に関する看護教育のあり方について—看護系大学における移植看護教育の実態調査から. 日本移植・再生医療看護学会, 201411.
- 5) 渡邊啓子, 習田明裕: 重度認知症高齢者に対する人工栄養・水分補給(AHN)の選択決定における看護支援. 日本看護科学学会学術集会講演集, 201411.

競争的資金等の研究課題

- 1) 習田明裕: 文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「臓器移植医療における院内コーディネーターの倫理的対応モデルの構築」, 2013-2015.

論文

- 1) 西村ユミ, 前田泰樹:看護を語る 看護を創る 病院全体のバランスを見る 病棟看護師長の語りとその編成. 看護研究, 47(7):679-690, 20141215.

著書

- 1) 西村ユミ:看護師たちの現象学—協働実践の現場から. 1, 青土社, 20140522.
- 2) 西村ユミ:第 3 部 看護実践はいかに語られるのか?—グループ・インタビューの語りに注目して、川野健治, ハッ塚一郎, 本山方子(編):質的心理学フォーラム選書 2 物語と共約幻想(pp.33-55), 新曜社, 201407.
- 3) 松葉祥一, 西村ユミ:現象学的看護研究 理論と分析の実際 (カラー別冊「現象学的方法を用いたインタビューデータ分析の実際」付き). 2, 医学書院, 20141201.

Misc

- 1) 西村ユミ:若手研究者育成の歴史を紐解く——日本学術会議若手アカデミーの活動と看護界の展望. 看護研究, 47(2):87-96, 201404.
- 2) 落合良太・濱吉美穂・佐藤一樹・坂井志織・西村ユミ:若手研究者が考えていること——“看護学”から何を創造するか?. 看護研究, 47(2):111-122, 201404.
- 3) 野口裕二, 鈴木智之, 伊藤智樹, 中村英代, 西村ユミ:【ナラティブの臨床社会学】「ナラティブの臨床社会学」座談会. N: ナラティブとケア, (6):5-18, 201501.
- 4) 西村ユミ:看護者として“経験”に向き合う 意味を生成する看護経験の語り. 聖路加看護学会誌, 18(2):32-34, 201501.

講演・口頭発表等

- 1) 前田泰樹, 西村ユミ:遺伝子疾患としての多発性嚢胞腎—遺伝学的知識と病い経験の語りに関する概念分析的研究—. 保健医療社会学論集, 20140517.
- 2) 西村ユミ, 前田泰樹:勤務の始まりを作る—急性期病棟の管理の編成—. 保健医療社会学論集, 20140517.
- 3) 村上優子・菊池真由美・田代幸子・西村ユミ:看護実践の「質」と現象学的研究——看護師が「働く場を変わること」に焦点を当てて. 第 40 回日本保健医療社会学大会, 20140518.
- 4) 西村ユミ:学生たちの〈身体性〉とその意味. 日本看護学教育学会誌, 201407.
- 5) 佐藤紀子・三上れつ・大島弓子・香春知永・酒井郁子・西村ユミ・藤井徹也:理事会企画?—2 研究計画をブラッシュアップしよう パート?. 日本看護学教育学会 第 24 回学術集会, 20140827.
- 6) 飯塚哲子, 福井里美, 三浦里織, 新井清美, 西村ユミ:急性期看護に必要な創造性と主体性を育む演劇ワークショップのプログラム開発(その 1)—看護教員の立場からみた演劇ワークショップの演習における教育効果の評価をする視点—. 日本保健科学学会誌, 20140927.

- 7) 新井清美, 飯塚哲子, 福井里美, 三浦里織, 西村ユミ: 演劇ワークショップを取り入れた成人看護学演習の臨地看護学実習における効果(評価)の視点—教育効果評価尺度の提案. 日本保健科学学会誌, 20140927.
- 8) 三浦里織, 福井里美, 堀田恵美子, 西村ユミ, 飯村直子: がん化学療法看護認定看護師教育課程への派遣に関する関東以北圏施設の看護管理者の認識. 日本保健科学学会誌, 20140927.
- 9) Nishimura, Y. & Maeda, H.: Renal Transplantation Illness Narrative: Focusing on Family Experiences with Autosomal Dominant Polycystic Kidney Disease. 20th Qualitative Health Research Conference, 20141019.
- 10) Maeda, H. & Nishimura, Y.: Genetic Knowledge in Illness Narratives: Autosomal Dominant Polycystic Kidney Disease as a Genetic Disorder. 20th Qualitative Health Research Conference, 20141020.
- 11) 河原智江, 西村ユミ, 鮫島輝美, 山本美智代: 看護の実践を語るによりもたらすものは何か. 日本看護科学学会学術集会講演集, 201411.
- 12) 西村ユミ, 河野あゆみ, 綿貫成明, 濱吉美穂, 坂井志織: 20 年後のヒューマンケアの創造 研究シース (Seeds)を見つけ育てよう. 日本看護科学学会学術集会講演集, 201411.
- 13) 西村ユミ: 実践を生み出し継承する看護師たちの方法. 新潟青陵学会 第7回学術集会, 20141118.
- 14) 西村ユミ: ケアの本質を考える. 第34回社会福祉法人びわこ学園 実践研究発表会, 20141213.
- 15) 西村ユミ: 現象学的看護研究: 考え方と方法. 第11回医療看護研究会, 20150306.

競争的資金等の研究課題

- 1) 前田泰樹: 文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「遺伝学的知識と病い経験の語りに関する概念分析的研究」, 2013-2015.

社会貢献活動

- 1) 西村ユミ: 平成 26 年度広島県専任教員継続研修. 「看護する」ということを学べる実習指導法: 20140913.
- 2) 西村ユミ: 日本精神保健看護学会. 「看護研究における現象学的アプローチ 事始め」: 20140923.
- 3) 西村ユミ: 看護管理者支援プロジェクト. ナラティブ(語り・物語・対話): 20140928.
- 4) 西村ユミ: 医学書院. 現象学的看護研究の Method を追って: 20141017.
- 5) 西村ユミ: 日本質的心理学会 11 回大会. 現象学的研究の考え方と分析方法: 20141018.
- 6) 西村ユミ: CSCD EXPO 2014. からだトーク special: 20141122.
- 7) 西村ユミ: とつとつダンス Part.2 愛のレッスン: 20141128.
- 8) 西村ユミ: 第34回日本看護科学学会学術集会. 事象が分析を教えてくれるとは?——現象学的研究入門: 20141130.
- 9) 西村ユミ: ケアの現象学(科学研究費補助金によるシンポジウム). ケアの現象学的研究——方法と実践: 20141221.
- 10) 西村ユミ: 日本保健医療社会学会 2014 年度第2回定例会(関西). 看護師に学ぶ協働実践の知——現象学と看護学の対話から: 20150228.

Misc

- 1) 山村 礎, 永利美花, 中川知佳, 原 優子, 安田裕子, 大岩由季絵, 太田みどり, 小林恭子, 加藤千恵子, 中野隆史:精神的問題を抱える学生は窓口で自分の問題をどのように語っているのか. CAMPUS HEALTH, 51(1):569-571, 201403.
- 2) 永利美花, 山村 礎, 中川知佳, 原 優子, 大岩由季絵, 安田裕子, 加藤千恵子, 太田みどり, 小林恭子, 中野隆史:何が精神的問題の存在をスタッフに主張するのか. CAMPUS HEALTH, 51(1):533-535, 201403.
- 3) 永利美花, 山村 礎, 中川知佳, 原 優子, 大岩由季絵, 安田裕子, 加藤千恵子, 太田みどり, 小林恭子, 中野隆史:何が精神的問題の存在をスタッフに主張するのか. Campus Health, 51(1):533-535, 201403.
- 4) 山村 礎, 永利美花, 中川知佳, 原 優子, 安田裕子, 大岩由季絵, 太田みどり, 小林恭子, 加藤千恵子, 中野隆史:精神的問題を抱える学生は窓口で自分の問題をどのように語っているのか. Campus Health, 51(1):569-571, 201403.
- 5) 新村順子, 田上美千佳, 山村 礎:精神科救急入院料病棟における退院に向けた看護ケアの特徴:統合失調症と気分障害を中心に. 精神科救急:日本精神科救急学会誌, 17(17):131-140, 201405.
- 6) 新村順子, 田上美千佳, 山村 礎, 平田豊明, 飛鳥井 望:精神科救急入院料病棟における退院に向けた看護ケアの特徴 統合失調症と気分障害を中心に. 精神科救急, 17:131-140, 201408.
- 7) 新村順子, 田上美千佳, 山村 礎, 平田豊明, 野中順子, 飛鳥井 望:精神科救急入院料病棟における退院に向けた看護ケアの実施状況の分析 クリニカルパスの実施の有無に焦点をあてて. 日本社会精神医学会雑誌, 23(3):264-264, 201408.
- 8) 田上美千佳, 新村順子, 山村 礎, 平田豊明, 野中順子, 飛鳥井 望:精神科救急入院料病棟における退院支援に関する研究 退院後の居住形態からみたケア. 日本社会精神医学会雑誌, 23(3):238-239, 201408.
- 9) 田上美千佳, 新村順子, 山村 礎, 平田豊明, 野中順子, 飛鳥井望:精神科救急入院料病棟における退院支援に関する研究—退院後の居住形態からみたケア—. 日本社会精神医学会雑誌, 23(3):238-239, 20140825.
- 10) 新村順子, 田上美千佳, 山村 礎, 平田豊明, 飛鳥井望:精神科救急入院料病棟における退院に向けた看護ケアの特徴—統合失調症と気分障害を中心に—. 精神科救急, 17:131-140, 20140825.
- 11) 新村順子, 田上美千佳, 山村 礎, 平田豊明, 野中順子, 飛鳥井 望:精神科救急入院料病棟における退院に向けた看護ケアの実施状況の分析—クリニカルパスの実施の有無に焦点をあてて—. 日本社会精神医学会雑誌, 23(3):264-, 20140825.
- 12) 中川 知佳, 山村 礎, 永利 美花, 原 優子, 太田 みどり, 加藤 千恵子, 小林 恭子, 中野 隆史:休学者・復学者への支援を考える アンケート調査から支援の実際を探る. CAMPUS HEALTH, 52(1):352-352, 201503.
- 13) 中川知佳, 山村 礎, 永利美花, 原 優子, 太田みどり, 加藤千恵子, 小林恭子, 中野隆史:休学者・復学者への支援を考える(1)—アンケート調査から支援の実際を探る—. Campus Health, 52(1):352, 201503.

講演・口頭発表等

- 1) 飯塚哲子:急性期看護に必要な創造性と主体性を育む演劇ワークショップのプログラム開発. 第24回日本保健科学学会学術集会, 20140927.
- 2) 新井清美:演劇ワークショップを取り入れた成人看護学演習の臨地看護学実習における効果(評価)の視点－教育効果評価尺度の提案－. 第24回日本保健科学学会学術集会, 20140927.
- 3) 飯塚哲子:第1回フローレンス・ナイチンゲール記章受賞者萩原タケと自由民権運動－人間形成の軌跡－. わたしの Death Education, 20141108.
- 4) 飯塚哲子:高齢期を生きること『いのち考』. ことぶき大学 くらしコースプログラム, 20141111.
- 5) 飯塚哲子:いのちを考える. 地域連携体験授業, 20141201.
- 6) 飯塚哲子:尊厳“生”を考える－福祉・医療の現場から－. 市民セミナー 暮らしの中の人権－現代社会の歩き方－, 20150127.

競争的資金等の研究課題

- 1) 福井里美:首都大学東京 傾斜的研究費(部局分)(部局競争的)「急性期看護に必要な創造性と主体性を育む演劇ワークショップを取り入れた教育の効果-参加学生の学びの認識」, 201404-201503.
- 2) 飯塚哲子:文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究C)「医療系－保健医療福祉－専門職の基礎教育に関する連携教育プログラムの開発」, 201404-201703.
- 3) 新藤浩伸:文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究C)「地域資源の掘り起こしと学習文化活動の循環プロセスに関する実証研究」, 201404-201703.

社会貢献活動

- 1) 災害当事者の記録:災害復興協力事業として、災害当事者救援本部全国自立生活センター協議会と連携し、当事者の記録の出版を目指して編集方針等を継続検討している。:201404.

著書

- 1) 石川陽子:診療報酬・介護報酬のしくみと考え方. 9, 診療報酬上の看護の評価の歴史, 日本看護協会出版会, 201410.
- 2) 石川陽子:看護学概論. 9, 国際看護, メディカ出版, 201501.

講演・口頭発表等

- 1) 石川陽子:外国人看護師の現状と課題. 日本のエスニックダイバーシティ, 20150108.

競争的資金等の研究課題

- 1) 石川陽子:日本学術振興会 基盤研究(C)「日本における外国人看護師の異文化適応」, 201304-201603.
- 2) 古賀節子:日本学術振興会 基盤研究(C)「「看護師の自律性」と社会的関連要因に関する研究—日米比較」, 201304-201603.
- 3) 奥島美夏:日本学術振興会 基盤研究(B)「ASEAN 経済統合・EPA 下の保健医療人材の東アジア域内移動と職場適応の実証研究」, 201404-201903.

論文

- 1) 池田真弓, 木村千里:大学生・成人女性に対する子宮頸がん予防教育プログラムの実践と評価. 日本保健科学学会誌, 17(2):86-94, 201410.
- 2) Chisato KIMURA, Toshihide OHMORI:Health of women with inflammatory bowel disease: coping with challenges from pregnancy to child-rearing. International Journal of Nursing and Midwifery, 7(3):36-45, 201503.

講演・口頭発表等

- 1) Mami SONOBE, Chisato KIMURA, Mayumi IKEDA, Tomomi AZUMA:Cooperation and Relationship within Couples Rearing Twins. The 35 th Interanational Association for Human Caring Conference, 20140525.
- 2) Chisato KIMURA, Mayumi IKEDA, Mami SONOBE:Community Midwifery “Promotion and Acquisition of Multigenerational Caring and Mutual Support”. The 35th Interanational Association for Human Caring Conference, 20140525.
- 3) 木村千里, 園部真美, 渡部美智子, 吾妻知美:生と性の教育を受講した小学4年生児童の学びの分析—テキストマイニングによる自由記述の分析—. 第 27 回日本保健福祉学会学術集会, 201410.
- 4) 園部真美, 木村千里, 吾妻知美:小学校低学年を対象とした「いのちの授業」における学び, —テキストマイニングによる自由記述の分析—. 第 27 回日本保健福祉学会学術集会, 20141026.
- 5) 山崎あけみ, 木村千里, 津村明美, 峰 博子, 尾立和美, 副田明美, 和栗裕子:家族看護のケーススタディ研修—教育担当者・受講者が共に成長するための企画・運営手法の検討—. 第 34 回日本看護科学学会学術集会, 20141129.
- 6) 木村千里, 園部真美:助産学生による母乳育児準備教育～健康教育実践からの学生の学び～. 第 34 回日本看護科学学会学術集会, 20141129.
- 7) 飯塚哲子, 木村千里:看護のイ・ロ・ハを体感せよ. 北豊島中学校・高等学校進路教育講座, 20141201.
- 8) 園部真美, 木村千里:産後支援ボランティアに必要とされる乳児ケア. 荒川区産後支援ボランティア養成講座, 20150207.

競争的資金等の研究課題

- 1) 木村千里:公立大学法人首都大学東京 傾斜的研究費(部局分・部局競争的経費)「双胎をもつ夫婦の周産期における協力体制」, 201404-201503.

論文

- 1) Tomoko Omiya, Yoshihiko Yamazaki, Megumi Shimada, Kazuko Ikeda, Seiko Ishiuchi-Ishitani, Yoko Sumikawa Tsuno, Katsumi Ohira: Mental health of patients with human immunodeficiency virus in Japan: A comparative analysis of employed and unemployed patients. AIDS Care, 26(11):1370-1378, 201411.

競争的資金等の研究課題

- 1) 島田 恵: 科学研究費補助金(基盤研究(C))「慢性肝炎患者に対する外来看護システムの開発とその有効性の検討」, 2012-2015.
- 2) 島田 恵: 厚生労働科学研究費補助金(エイズ対策研究事業), 「HIV 感染症の医療体制の整備に関する研究」分担研究「HIV 医療包括ケア体制の整備に関する研究～コーディネーターナースの立場から～」(協力).
- 3) 島田 恵: 厚生労働科学研究費補助金(エイズ対策研究事業), 「血液凝固因子製剤による HIV 感染被害者の長期療養体制の整備に関する患者参加型研究」分担研究「HIV 感染血友病等患者の医療福祉と精神的ケアにおける課題と連携に関する研究: コーディネーションと課題解決の提言」(協力).
- 4) 島田 恵: 科学研究費補助金(挑戦的萌芽研究)「HIV 陽性者へのセクシュアルヘルス支援能力育成を旨とした教育プログラムの開発評価」(協力), 2013-2016.

社会貢献活動

- 1) 島田 恵: 慢性疾患セルフマネジメント協会. 慢性疾患セルフマネジメントワークショップ, 2011-.
- 2) 島田 恵: 東京都訪問看護推進総合事業. 訪問看護ステーション管理者・指導者育成研修, 研修運営委員・研修講師, 2013-2016.

論文

- 1) 清水準一:首都大学東京における在宅看護学実習の目標と進め方 -現状と今後の課題-. 日本在宅看護学会誌, 3(2):25-29, 201503.

著書

- 1) 林 直子:成人看護学概論—成人看護学 (看護学テキストNiCE), 南江堂, 201501.

Misc

- 1) 清水準一:第6回日本保健科学学会奨励賞を受賞して(2)(学会だより). 日本保健科学学会誌, 17(3), 20141225.

講演・口頭発表等

- 1) Hikari Tomura, Satoko Nagata, Junichi Shimizu, Megumi Shimada, Shigemi Suzuki:The current situation of discharge planning nurses in Japan - Comparison of the results of two nationwide surveys: 2010 versus 2014. 18th East Asian Forum of Nursing Scholars, 20150205.
- 2) 横山史子, 河原加代子, 清水準一:独居の要介護高齢者が在宅生活を継続するために訪問看護師が行う看護ケアの判断の特徴 —慢性疾患, アルコール依存症, 認知症をもつ療養者の事例を通して—. 第19回日本在宅ケア学会学術集会, 20141130.
- 3) 清水準一:在宅看護実習はどうあるべきか 「本学における在宅看護学実習の現状と課題 そして今後に向けた取り組み」. 第4回日本在宅看護学会学術集会, 20141115.
- 4) 戸村ひかり, 永田智子, 清水準一:病院の退院支援に関するシステムの構築状況と, 退院支援看護師の配置の有無との関係. 日本看護科学学会学術集会講演集, 201411.
- 5) 横山史子, 河原加代子, 清水準一:“地域を看る”視点から展開する訪問看護活動—認知症をもつ独居の要介護高齢者との関わりから—. 日本保健科学学会誌, 20140927.
- 6) 戸村ひかり, 永田智子, 清水準一:全国の病院における退院支援看護師の配置状況と関連要因—全国調査の結果より—. 日本保健科学学会誌, 20140927.
- 7) 清水準一:宮城県石巻市を事例とした小地区指向の訪問看護需給の検討 -GIS を用いた政策決定への住民参加支援-. 保健医療社会学論集 25 suppl. 47, 20140517.

競争的資金等の研究課題

- 1) 清水準一:文部科学省 科学研究費補助金(挑戦的萌芽研究)「地理情報システムを用いた小地域指向の訪問看護需給バランスの可視化」, 2014-2016.

受賞

- 1) 清水準一:日本保健科学学会 第6回日本保健科学学会奨励賞「緩和ケアに関して専門性の高い看護師が行う訪問看護師との同行訪問の実施可能性-国内分布と地理的関連性の分析-」, 201409.

講演・口頭発表等

- 1) Sonobe M, Kimura C, Ikeda M, Azuma T: Cooperation and relationship within couples rearing twins. 35th International Association for Human Caring Conference, 201405.
- 2) Kimura C, Ikeda M, Sonobe M: Community Midwifery “Promotion and acquisition of multigenerational caring and mutual support”. 35 th Interanational Association for Human Caring Conference, 201405.
- 3) Usui M, Sonobe M, Nabeta M, Katsukawa Y, Sakanashi K: Parent-child interaction and related factors at 3-4 monthes after birth in couples of elderly primipara; comparison with primipara couples aged 35 or younger. ICM 30th Trienninl Congress, 201406.
- 4) 園部真美, 木村千里, 吾妻知美: 小学校低学年を対象とした「いのちの授業」における学び—テキストマイニングによる自由記述の分析—. 第 27 回日本保健福祉学会学術集会, 201410.
- 5) 木村千里, 園部真美, 渡部美智子, 吾妻知美: 生と性の教育を受講した小学4年生児童の学びの分析—テキストマイニングによる自由記述の分析—. 第 27 回日本保健福祉学会学術集会, 201410.
- 6) 木村千里, 園部真美: 助産学生による母乳育児準備教育 健康教育実践からの学生の学び. 日本看護科学学会学術集会講演集, 201411.

競争的資金等の研究課題

- 1) 園部真美: (代表) 文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「妊娠期からの早期育児支援介入プログラムの開発研究」, 2013-2015.
- 2) 臼井雅美, 島袋香子, 園部真美, 田久保由美子, 金子あけみ: (分担) 文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「家族システムケアアプローチを用いた周産期家族支援プログラムの開発研究」, 2015-2017.

社会貢献活動

- 1) 園部真美: 「育児支援に必要な乳幼児に関する基礎知識」35(産後)ボランティア養成講座. 35(産後)サポネット in 荒川, 20150227.

Misc

- 1) 種吉啓子:小児看護専門看護師の候補生が認定審査を受けるまでの実情. 日本看護学教育学会誌
= Journal of Japan Academy of Nursing Education, 24(1):29-39, 201407.

講演・口頭発表等

- 1) 種吉啓子:家族とのコミュニケーション力を育てよう! -大学教員の立場から-. 日本小児看護学会第 24 回学術集会 エキスパートパネル, 201407.

競争的資金等の研究課題

- 1) 種吉啓子:文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「子どもの在宅療養を支援する小児看護専門看護師の教育カリキュラムの検討」, 2014-2016.

社会貢献活動

- 1) 日本小児看護学会誌専任査読者
- 2) 東京都立足立特別支援学校 大学講座
- 3) 東京北医療センター看護研究講師
- 4) 日本保健科学学会誌査読者

Misc

- 1) 中越利佳, 森 久美子, 田中祐子, 野村亜由美, 城宝環:看護基礎教育における国際看護教育の現状と国際性豊かな看護師養成に向けた学士教育内容の検討. 日本看護科学学会学術集会講演集, 34th:543-, 201411.
- 2) 中越利佳, 森 久美子, 田中祐子, 野村亜由美, 城宝環:わが国の看護基礎教育における国際看護教育の現状と課題. 愛媛県立医療技術大学紀要(Web), 11(1):9-13, 20141231.

講演・口頭発表等

- 1) 野村亜由美:Transcultural Nursing and Caring. 35th International Association for Human Caring Conference, 20140525.

競争的資金等の研究課題

- 1) 増田 研:文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(B))「東アフリカにおける「早すぎる高齢化」とケアの多様性をめぐる学際的研究」, 2013-2016.
- 2) 野村亜由美:文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(B))「津波被災後の高齢者の外傷後成長と認知症に関する学際的研究ー老いの成熟を目指して」, 2013-2017.

Misc

- 1) 福井里美, 守田美奈子, 吉田みつ子, 遠藤公久, 奥原秀盛, 和久紀子, 坂上順子: 日本におけるがん患者がピアサポートを得る機会の動向. 第 19 回日本緩和医療学会学術大会抄録:367, 201406.
- 2) 三浦里織, 福井里美, 堀田恵美子, 西村ユミ, 飯村直子: O-16 がん化学療法看護認定看護師教育課程への派遣に関する関東以北圏施設の看護管理者の認識(口述発表(4), 一般演題, 第 24 回日本保健科学学会学術集会). 日本保健科学学会誌, 17:20140927.
- 3) 新井清美, 飯塚哲子, 福井里美, 三浦里織, 西村ユミ: P-7 演劇ワークショップを取り入れた成人看護学演習の臨地看護学実習における効果(評価)の視点: 教育効果評価尺度の提案(ポスターセッション(1), 一般演題, 第 24 回日本保健科学学会学術集会). 日本保健科学学会誌, 17:20140927.
- 4) 飯塚哲子, 福井里美, 三浦里織, 新井清美, 西村ユミ: P-8 急性期看護に必要な創造性と主体性を育む演劇ワークショップのプログラム開発(その 1): 看護教員の立場からみた演劇ワークショップの演習における教育効果の評価をする視点(ポスターセッション(1), 一般演題, 第 24 回日本保健科学学会学術集会). 日本保健科学学会誌, 17:20140927.
- 5) 福井里美, 守田美奈子, 吉田みつ子, 遠藤公久, 奥原秀盛: がん患者・家族がピアサポートを受けられる機会の実態. 第 27 回日本サイコオンコロジー学会総会 プログラム・抄録集:152, 201410.
- 6) 福井里美, 大井賢一, 小澤知子, 内山由美, 遠藤公久, 福井里美, 渥美隆之: <実践報告>がん患者・家族のサポートグループ・ファシリテーター研修会. 第 4 回がん相談研究会大会抄録:20-, 201503.

競争的資金等の研究課題

- 1) 福井里美: 学術研究助成基金助成金 科学研究費助成事業 基盤研究(C)「がん闘病生活 10 年間におけるサポートグループ参加と当事者間支援の実態とその意味」, 201304-201703.
- 2) 福井里美: 首都大学東京健康福祉学部 平成 26 年度傾斜的研究費(部局分)部局競争的「急性期看護に必要な創造性と主体性を育む演劇家とのコラボレーション教育と効果」, 201404-201503.
- 3) 石川陽子: 首都大学東京健康福祉学部看護学科 平成 26 年度傾斜的研究費(部局長裁量経費)個別研究「潜在看護師に対するキャリア支援 ～看護教育への活用に向けた予備的研究～」, 201404-201503.

社会貢献活動

- 1) 福井里美: がん感染症センター・都立駒込病院. 看護研究研修コース「質的研究」, 20140611.
- 2) 福井里美: 山梨県福祉保健部健康増進課. がん患者ピアサポート研修事業, 20140917.
- 3) 福井里美: 浜松医療センター看護部. 看護理論, 20140930.
- 4) 福井里美: NPO 法人山梨がんフォーラム 山梨県立中央図書館. 療養生活をもっと充実させたい 2014, 20141005.
- 5) 福井里美: 傾聴ボランティアグループ うさぎの会. がん患者サポートグループの動向活動の実際, 20150219.

Misc

- 1) 山口真紀子, 加藤仁美, 辻 真由美, 小野田一枝, 三浦里織, 門馬久美子, 三浦昭順: 食道がん術後患者が抱える退院直後の実態. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集, 68 回:131, 201407.
- 2) 宮澤真帆, 石丸博雅, 三浦里織:28-P4PM-100 がん化学療法看護認定看護師課程の看護師を対象とした抗がん剤曝露対策の調査(がん薬物療法(無菌調製・曝露対策), 一般演題(ポスター), 新時代を拓く医療薬学フロンティア). 日本医療薬学会年会講演要旨集, 24:20140825.
- 3) 三浦里織, 福井里美, 堀田恵美子, 西村ユミ, 飯村直子:O-16 がん化学療法看護認定看護師教育課程への派遣に関する関東以北圏施設の看護管理者の認識(口述発表(4), 一般演題, 第 24 回日本保健科学学会学術集会). 日本保健科学学会誌, 17:20140927.
- 4) 新井清美, 飯塚哲子, 福井里美, 三浦里織, 西村ユミ:P-7 演劇ワークショップを取り入れた成人看護学演習の臨地看護学実習における効果(評価)の視点:教育効果評価尺度の提案(ポスターセッション(1), 一般演題, 第 24 回日本保健科学学会学術集会). 日本保健科学学会誌, 17:20140927.
- 5) 飯塚哲子, 福井里美, 三浦里織, 新井清美, 西村ユミ:P-8 急性期看護に必要な創造性と主体性を育む演劇ワークショップのプログラム開発(その 1):看護教員の立場からみた演劇ワークショップの演習における教育効果の評価をする視点(ポスターセッション(1), 一般演題, 第 24 回日本保健科学学会学術集会). 日本保健科学学会誌, 17:20140927.

著書

- 1) 山本美智代:「うまくいかない」語りの意味, 看護師が難しいと感じる障害児の家族とのかかわり. 1, 医学書院 看護研究 47(7) 623-632, 201412.

講演・口頭発表等

- 1) 河原智江, 山本美智代, 鮫島輝美, 西村ユミ: 交流集会 K24 看護の実践を語るによりもたらすものは何か. 第 34 回日本看護科学学会学術集会, 20141130.

競争的資金等の研究課題

- 1) 山本美智代: 文部科学省 科学研究費(基盤 C)「災害時における在宅障碍児者の直面する問題とその防止に関する研究」, 201204-201503.
- 2) 種吉啓子: 文部科学省 科学研究費(基盤 C)「子どもの在宅療養を支援する小児看護専門看護師の教育カリキュラムの検討」, 201404-201703.

講演・口頭発表等

- 1) 高橋愛美, 齋藤益子, 渡邊知佳子:産後のサポートに対する母親の思い. 第 14 回日本母子看護学会
学術集会(秋田県秋田市), 20140712.
- 2) 渡邊知佳子:不妊治療を受けている女性の冷えの特徴とその意識ー出産経験のある女性との比較から
ー. 第 55 回日本母性衛生学会学術集会(千葉県千葉市), 20140913.
- 3) 渡邊知佳子:身体の冷えを自覚する不妊症女性と出産経験のある女性の違い. 第 55 回日本母性衛生
学会学術集会(千葉県千葉市), 20140913.

論文

- 1) 新井清美: アディクションのリスク判断と段階に応じた介入に関する研究. 筑波大学大学院, 201503.

Misc

- 1) 宮岡等, 田辺等, 石川達, 森田展彰, 新井清美, 松本俊彦, 後藤恵, 伊波真理雄, 樋口進, 河本泰信, 神村栄一, 岡崎直人, 稲村厚, 田中克俊, 蒲生裕司, 村井俊哉, 吉田精次, 森山成彬, 赤木健利, 内田恒久, 西村直之: 様々な依存症の実態把握と回復プログラム策定・推進のための研究 病的ギャンブリングと債務問題等との関連および病的ギャンブラーの家族らの実態調査と回復支援のための研究. 様々な依存症の実態把握と回復プログラム策定・推進のための研究 平成 26 年度 総括・分担研究報告書:89-134, 2015.

講演・口頭発表等

- 1) 飯塚哲子, 福井里美, 三浦里織, 新井清美, 西村ユミ: 急性期看護に必要な創造性と主体性を育む演劇ワークショップのプログラム開発(その 1) 看護教員の立場からみた演劇ワークショップの演習における教育効果の評価をする視点. 日本保健科学学会誌, 201409.
- 2) 新井清美, 飯塚哲子, 福井里美, 三浦里織, 西村ユミ: 演劇ワークショップを取り入れた成人看護学演習の臨地看護学実習における効果(評価)の視点 教育効果評価尺度の提案. 日本保健科学学会誌, 201409.

競争的資金等の研究課題

- 1) 樋口進: 平成 26 年度厚生労働科学研究費補助金 障害者対策総合研究事業(精神障害分野) アルコール依存症者に対する総合的な医療の提供に関する研究 分担研究 4「アルコール依存症家族の支援に関する研究」, 20140401-20150331.
- 2) 宮岡等: 平成 26 年度厚生労働科学研究費補助金 障害者対策総合研究事業 様々な依存症の実態把握と回復プログラム策定・推進のための研究 分担研究「病的ギャンブリングと債務問題等との関連および病的ギャンブラーの家族らの実態調査と回復支援のための研究」, 20140401-20150331.
- 3) 福井里美: 首都大学東京 傾斜的研究費(部局分)「急性期看護に必要な創造性と主体性を育む演出家とのコラボレーション教育と効果」, 2014-201503.
- 4) 新井清美: 首都大学東京 傾斜的研究費(部局分・若手奨励経費)「病的ギャンブリングを予防するためのリスク判断に関する研究」, 2014-201503.
- 5) 新井清美: 文部科学省 科学研究費補助金(挑戦的萌芽研究)「病的ギャンブリングに関連する要因とリスク判断のためのアセスメントツールの開発」, 2015-2017.

看護学科

助 教

高嶋 希世子

その他

- 1) 高嶋希世子:日本小児看護学会 学術・研究推進委員会委員, 201405-.

Misc

- 1) 戸村ひかり, 永田智子, 清水準一: 全国の病院における退院支援の実施体制 – 全国調査の結果より – (ポスター発表, 第 17 回日本地域看護学会学術集会). 日本地域看護学会誌, 17:134, 201408.
- 2) 戸村ひかり, 永田智子, 清水準一: P-5 全国の病院における退院支援看護師の配置状況と関連要因 : 全国調査の結果より(ポスターセッション(1), 一般演題, 第 24 回日本保健科学学会学術集会). 日本保健科学学会誌, 17, 20140927.
- 3) 戸村ひかり, 永田智子, 清水準一: 病院の退院支援に関するシステムの構築状況と、退院支援看護師の配置の有無との関係(ポスター発表, 第 34 回日本看護科学学会学術集会). 日本看護科学会誌, 34:427, 201411.
- 4) Hikari Tomura, Satoko Nagata, Junichi Shimizu, Megumi Shimada, Shigemi Suzuki: The current situation of discharge planning nurses in Japan ? Comparison of the results of two nationwide surveys: 2010 versus 2014. The 18th East Asian Faculty of Nursing Sciences. The 18th East Asian Faculty of Nursing Sciences, 201502.

講演・口頭発表等

- 1) 前田耕助, 中村雅子, 大黒理恵, 齋藤やよい: 背部への温度刺激が脳血流動態に及ぼす影響. 日本看護研究学会, 20140822.
- 2) 中村雅子, 前田耕助, 大黒理恵, 齋藤やよい: 同一体位保持後のストレッチングが自律神経活動と主観に及ぼす影響. 日本看護研究学会, 20140822.

競争的資金等の研究課題

- 1) 前田耕助: 文部科学省 平成 26 年度第 6 回研究活動スタート支援「脳血流量を効果指標とした温度を活用した看護技術の開発」, 201408-201603.

- 2) International Journal of Nursing & Clinical Practices 編集委員
- 3) 慶應義塾大学 SFC 研究所上席所員

競争的資金等の研究課題

- 1) 習田明裕:文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「臓器移植医療における院内コーディネーターの倫理的対応モデルの構築」, 2013-2015

論文

- 1) Goto A, Rudd RE, Lai AY, Yoshida K, Suzuki Y, et. al: Leveraging public health nurses for disaster risk communication in Fukushima City: a qualitative analysis of nurses' written records of parenting counseling and peer discussions. BMC Health Services Research, 14:129-, 2014.
- 2) Goto A, Rudd RE, Bromet EJ, Suzuki Y, Yoshida K, et. al: Maternal confidence of Fukushima mothers before and after the nuclear power plant disaster in Northeast Japan: Analyses of municipal health records. Journal of Communication in Healthcare, 7:106-116, 2014.
- 3) 鈴木 友, 吉田和樹, 大久保淳子, 後藤あや: 福島市1歳6か月児健康診査における母親の体調と気持ち: 震災前後3年間の変化. 福島県保健衛生雑誌, 25:27-29, 201503.

Misc

- 1) 吉田和樹: 0-14 高校生の介護予防に関する認識(口述発表(2), 一般演題, 第24回日本保健科学学会学術集会). 日本保健科学学会誌, 17, 20140927.

競争的資金等の研究課題

- 1) 吉田和樹: 首都大学東京 傾斜的研究費(若手奨励)「都市部在住高齢者に特化した好ましい健康習慣の構成要因」, 201406-201503.
- 2) 吉田和樹: 文部科学省 科学研究費補助金(若手研究(B))「地域在住高齢者の健康習慣尺度の開発ならびに信頼性・妥当性の検討」, 2015-2016.

理 学 療 法 学 科

論文

- 1) 平野恵健, 新田 収, 高橋秀寿, 西尾大祐, 木川浩志: ロジスティック回帰分析を用いた重度脳卒中片麻痺患者の歩行可否に及ぼす因子の検討-回復期リハビリテーション病棟での試み-. 理学療法科学, 29:885-890, 201405.
- 2) 平野恵健, 西尾大祐, 皆川知也, 池田 誠, 新田 収, 木川浩志: 回復期リハビリテーション病棟入院時の移乗能力が脳卒中片麻痺患者の臨床経過に及ぼす影響. 日本保健科学学会誌, 17:95-102, 201405.
- 3) 後藤美和, 竹谷英之, 久保田 実, 芳賀信彦, 新田 収: 血友病患者に対するホームエクササイズが身体機能と日常生活活動能力に及ぼす影響. 日本プライマリ・ケア連合学会誌, 37:22-26, 201405.
- 4) 平野恵健, 西尾大祐, 内藤一成, 北山 藍, 皆川知也, 高橋秀寿, 林 健, 新田 収, 池田 誠, 木川浩志: 在宅復帰に向けて患者指導と家族指導が重要であった症例. 埼玉県包括的リハビリテーション研究会雑誌, 14:33-38, 201406.
- 5) 後藤美和, 竹谷英之, 川間健之介, 新田 収: 血友病患者における日常生活活動尺度の開発. 日本保健科学学会誌, 16:184-189, 201406.
- 6) 楠本泰士, 牧田光代, 新田 収, 古川順光, 松田雅弘: 整形外科手術の手術時期を判断した要因と環境因子との関係～脳性麻痺患者の保護者の場合～. 保健医療福祉連携, 7(2):118-125, 201406.
- 7) 三木啓嗣, 新田 収: 健常者における寝返り動作の定量的類型化. 理学療法学, 41(5):282-289, 201406.
- 8) 楠本泰士, 新田 収, 松田雅弘: 脳性麻痺痙直型両麻痺患者における尖足の有無による立位重心動揺の特徴. 日本保健科学学会誌, 17(3):114-150, 201407.
- 9) Goto M, Takedani H, Haga N, Kubota M, Ishiyama M, Ito S, Nitta O: Self-monitoring has potential for home exercise programs in patients with haemophilia. Haemophilia, 20:121-127, 201407.
- 10) 平野恵健, 西尾大祐, 池田 誠, 新田 収, 皆川知也, 木川浩志: 在宅復帰した脳卒中片麻痺患者の退院後の下肢装具の使用状況と移動能力の変化について-回復期リハビリテーション病棟での家族指導の効果-. 日本義肢装具学会誌, 30:31-37, 201408.
- 11) 中俣 修, 新田 収, 古川順光: 健常人における両脚跳躍動作の跳躍高を決定する因子の分析: 体幹・下肢の姿勢と運動に着目して. 理学療法学, 41:290-300, 201408.
- 12) 平野恵健, 西尾大祐, 高橋秀寿, 池田 誠, 新田 収, 宮崎泰広, 皆川知也, 木川浩志: 脳卒中重度片麻痺患者の歩行可否に関与する因子の検討-長下肢装具を処方された患者を対象に-. 日本義肢装具学会誌, 201408.
- 13) 平野恵健, 新田 収, 林 健, 西尾大祐, 皆川智也, 高橋秀寿, 木川浩志: 回復期リハビリテーション病棟に入院した脳卒中重度片麻痺患者の退院時 6 分間歩行距離に及ぼす因子の検討. 理学療法科学, 201409.
- 14) 後藤美和, 竹谷英之, 川間健之介, 新田 収: 血友病患者における健康関連 QOL に影響を与える要因. 日本血栓止血学会誌, 25:388-395, 201410.

講演・口頭発表等

- 1) 高木健志, 新田 收, 楠本泰士: 右股関節脱臼を呈した脳性麻痺痙直型両麻痺児に対する股関節観血整復術及び大腿骨減捻内反骨切り術後の理学療法経験. 日本理学療法学術大会, 201405.
- 2) 来間弘展, 大西史基, 秋山 翼, 吉田匡志, 新田 收, 宇佐英幸, 池田 誠, 柳澤 健: 胸椎モビライゼーションが自律神経系および疼痛閾値へ与える影響. 第 49 回日本理学療法学術大会, 201405.
- 3) 國枝洋太, 今井智也, 三木啓嗣, 野田真理子, 野村 圭, 松本 徹, 新田 收, 星野晴彦: 急性期脳梗塞患者における自宅退院に関連する因子の検討～入院時の栄養状態は自宅退院の可否に影響する～. 第 49 回日本理学療法学術大会, 201405.
- 4) 三木啓嗣, 新田 收: 脳卒中片麻痺患者を想定した一側上下肢重量負荷時の寝返り動作の定量的類型化～三次元動作解析装置を用いた分析～. 第 49 回日本理学療法学術大会, 201405.
- 5) T Matsuda, O Nitta, T Koyama, N Kubota, Y Ikeda, A Manji, Y Kusumoto, K Amimoto: Effects of visuospatial rehabilitation by iPad on unilateral spatial neglect. European Stroke Conference, 201405.
- 6) 楠本泰士, 新田 收, 松田雅弘, 高木健志: 歩行可能な脳性麻痺痙直型両麻痺患者における尖足の有無と踵補高の高さが立位重心動揺に及ぼす影響. 第 49 回日本理学療法学術大会, 20140530.
- 7) 松田雅弘, 新田 收, 白谷智子, 後藤圭介, 渡邊 塁, 妹尾淳史, 渡邊 修: 身体的・精神的 QOL の違いが物理的ストレス時の脳活動に及ぼす影響—機能的 MRI による分析—, 20140530.
- 8) 後藤美和, 竹谷英之, 芳賀信彦, 久保田実, 石山昌弘, 伊藤俊輔, 新田 收: 血友病患者に対するセルフモニタリングを用いたホームエクササイズが自己効力感と膝関節機能の改善に及ぼす影響. 第 7 回血友病理学療法研究会学術集会, 20140601.
- 9) 新田 收: 東日本大震災後の仮設住宅生活に伴う高齢者の健康度変化. 第 51 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 20140607.
- 10) Furukawa Y, Shida N, Nitta O, Kuruma H, Ikeda M: ANALYSIS OF HEART RATE VARIATION IN POSUTURE CONTOROL AND CONVERSION. The XX ISEK Conference, 201407.
- 11) Yasuaki K, Osamu N, Tadamitsu M, Takashi N, Keiou I, Tomokadzu M: THE EFFECTS OF THE PRESENCE OR ABSENCE OF EQUINUS AND HEEL HEIGHT DIFFERENCES ON STANDING CENTROID OSCILLATION IN AMBULANT CEREBRAL PALSY PATIENTS. Isek(International Society of Electrophysiology and Kinesiology) 2014 Conference, 201407.
- 12) Yamamoto S, Furukawa Y, Nitta O: RELATIONSHIP BETWEEN CARDIOPULMONARY RESPONSES TO EXERCISE ONSET AND ANAEROBIC THRESHOLD IN PEOPLE WITH SUB-ACUTE MYOCARDIAL INFARCTION. The XX ISEK Conference, 201407.
- 13) 長岡 望, 新田 收: 大腿骨近位部骨折患者における在院日数が延長せずに自宅復帰できる要因. 日本保健科学学会, 201409.
- 14) 楠本泰士, 新田 收, 松田雅弘: 脳性麻痺痙直型両麻痺患者における尖足の有無による立位重心動揺の違い. 第 24 回 日本保健科学学会, 201409.
- 15) 平野恵健, 新田 收, 西尾大祐, 皆川知也, 池田 誠, 高橋秀寿, 林 健, 木川浩志: 回復期リハビリテーション病棟に入院した重度脳卒中片麻痺患者の退院時 6 分間歩行距離に及ぼす因子の検討. 第 24 回日本保健科学学会学術集会, 20140927.
- 16) 皆川知也, 平野恵健, 新田 收, 西尾大祐, 高橋秀寿, 木川浩志: 回復期リハビリテーション病棟退院時における重度脳卒中片麻痺患者の短下肢装具使用による歩行の可否に及ぼす因子の検討, 20140927.

- 17) T Koyama, Nakamaru K, Aizawa J, Matsuda T, Nitta O:The cervical complaints in college American football players. International Association for the Study of Pain, 201410.
- 18) T Matsuda, O Nitta, T Koyama, Y Kusumoto, T Hanai, A Takahashi, A Nezu:Relationship between Spinal Orthosis and Pain in Patients with Sever Motor and Intellectual Disabilities. International Association for the Study of Pain, 201410.
- 19) O Nitta, T Matsuda, T Koyama:THE INCIDENCES OF THE PAINS ASSOCIATED WITH LIVES IN TEMPORARY HOUSING AFTER THE TOHOKU-PACIFIC OCEAN EARTHQUAKE IN THE ELDERLY VICTIMS. International Association for the Study of Pain, 201410.
- 20) Yoshitake Hirano, Osamu Nitta, Hidetoshi Takahashi, Daisuke Nishio, Tomoya Minakawa, Hiroshi Kigawa:Factor affecting walking ability for severe hemiplegic patients using a logistic regression analysis in a convalesce rehabilitation ward. 9th World Stroke Congress. Istanbul, 201410.
- 21) 平野恵健, 山口和章, 高橋秀寿, 西尾大祐, 坂本翔太, 池田 誠, 新田 収, 大江康子, 林 健, 木川浩志:大腿骨頸部骨折を受傷した脳卒中片麻痺患者の家族に対する介護負担に着目した補装具の工夫ー長下肢装具の大腿部を再利用してー. 第 30 回日本義肢装具学会学術大会, 20141018.
- 22) 松田雅弘, 新田 収, 古谷槿子, 池田由美:幼児のための協調運動評価尺度の開発-妥当性の検討-. 第 44 回日本臨床神経生理, 201411.
- 23) 松田雅弘, 新田 収, 古谷槿子, 池田由美:幼児版運動イメージ評価尺度の開発-妥当性の検討-. 第 44 回日本臨床神経生理, 201411.
- 24) 三木啓嗣, 國枝洋太, 片倉哲也, 新田 収, 足立智英, 星野晴彦, 高木誠:急性期重症脳卒中患者における初回離床時のベッド上評価を用いた退院時自立歩行可否予測因子の検討. 第 40 回日本脳卒中学会総会, 20150328.

論文

- 1) 網本 和: 片麻痺の体幹機能とバランスの評価とアプローチ Pusher 症例の垂直認知をめぐる. 理学療法福岡, (27):25-29, 201403.
- 2) 網本 和, 宮本真明, 雨宮耕平:【高次脳機能障害を有する患者への理学療法士の関わり】半側空間無視および Pusher 現象を有する患者への理学療法士の関わり. 理学療法, 31(5):467-475, 201405.
- 3) 永井 洋, 網本 和: 脳卒中片麻痺患者の下肢に対する mirror therapy が足関節背屈機能と立位バランスに与える影響. 日本保健科学学会誌, 17(1):25-31, 201406.
- 4) 岡安 健, 三谷祥子, 小川英臣, 森田定雄, 加藤宗規, 網本 和: 研究と報告 片麻痺患者の座位特性と ADL 能力 麻痺側による違い. 総合リハビリテーション, 42(6):547-554, 201406.

著書

- 1) 網本 和: 臨床が変わる! PT・OT のための認知行動療法入門. 4, 医学書院, 20140418.
- 2) 網本 和, 長澤 弘: 理学療法チェックリスト 第2版. 2, 三輪書店, 20140514.

Misc

- 1) 半田一登, 森本 榮, 谷口千明, 小川克巳, 網本 和, 黒澤和生, 伊藤克浩, 植松光俊, 梶村政司, 松井一人, 山根一人: 理学療法白書 2014—たくさんの「一歩」と歩んで 50 年—. 理学療法白書 (CD-ROM), 2014:172P, 20150331.

講演・口頭発表等

- 1) 渡辺 学, 網本 和: 半側空間無視例の電動車いす操作能力. 高次脳機能研究, 201403.
- 2) 藤野雄次, 網本 和, 井上真秀, 深田和浩, 蓮田有莉, 高石真二郎, 牧田 茂, 高橋秀寿: 半側空間無視における垂直軸認知と座圧の特性. The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine, 201405.
- 3) 松田雅弘, 万治淳史, 網本 和, 和田義明, 稲葉 彰, 平島富美子, 中島由季: 脳卒中回復期リハビリテーションにおける cTBS 治療後の定量的検討. The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine, 201405.
- 4) 滝沢由佳梨, 沼尾 拓, 網本 和, 黒田 孟, 根本真弥, 本間 綾, 森 理絵, 赤荻 光, 井出彰吾, 山田隆介: 脳血管障害片麻痺症例の立位バランス練習に支持物の有無が与える影響. The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine, 201405.
- 5) 白倉まゆみ, 和田義明, 松原正明, 千葉哲也, 中島直子, 伊野瀬 進, 内藤由香莉, 永松香穂, 門脇優, 川島久哉, 荻野泰史, 網本 和, 松田雅弘, 万治淳史: 健常者と変形性股関節症患者における前額面の自覚的身体垂直認知の差異. 理学療法学, 201405.
- 6) 松田雅弘, 万治淳史, 和田義明, 稲葉 彰, 平島富美子, 中島由季, 網本 和: 回復期脳卒中後片麻痺患者に対する非病巣側への Continuous Theta Burst Stimulation が麻痺側手関節・母指運動に与える即時効果について 運動学的評価を用いた検討. 理学療法学, 201405.
- 7) 万治淳史, 松田雅弘, 和田義明, 稲葉 彰, 平島富美子, 中島由季, 網本 和: 脳卒中後片麻痺患者に対する非病巣側への Continuous Theta Burst Stimulation が麻痺側肩関節運動に与える影響 運動学的評価を用いた cTBS の即時効果・波及効果の検証. 理学療法学, 201405.

- 8) 深田和浩, 藤野雄次, 網本 和, 井上真秀, 高石真二郎, 牧田 茂, 高橋秀寿: 発症早期の Pusher 現象例における Burke Lateropulsion Scale の基準関連妥当性の検討. 理学療法学, 201405.
- 9) 藤野雄次, 網本 和, 深田和浩, 井上真秀, 蓮田有莉, 高石真二郎, 牧田 茂, 高橋秀寿: 脳血管障害患者における脳損傷部位と深部白質病変による Pusher 現象の重症度の差異. 理学療法学, 201405.
- 10) 八木麻衣子, 網本 和, 松本大輔, 杉山統哉, 長岡 望: 急性期脳卒中における早期リハビリテーション実施状況と ADL 改善度との関連性 日本リハビリテーション・データベースを活用した検討. 理学療法学, 201405.
- 11) 深田和浩, 網本 和, 藤野雄次, 井上真秀, 蓮田有莉, 高石真二郎, 牧田 茂, 高橋秀寿: 発症早期の Pusher 現象例における経過分析 不変例と軽減例の臨床的特徴について. 日本保健科学学会誌, 201409.
- 12) 中村 学, 遠藤敦士, 澤 広太, 末永達也, 伊藤貴史, 網本 和: 体外離脱体験(Out-of-body experience)付与時の姿勢反応分析. 日本保健科学学会誌, 201409.
- 13) 沼尾 拓, 井出彰吾, 高添真吾, 赤荻 光, 若泉恵利香, 網本 和: ロッドアダプテーションが空間認知・姿勢制御に与える効果に関する研究 健常者における基礎的検討. 高次脳機能研究, 201503.
- 14) 中村 学, 網本 和, 遠藤敦士, 澤 広太, 末永達也, 伊藤貴史: 体外離脱体験(Out-of-body experience)付与時の姿勢反応の検討 OBE 生起例と非生起例の対比. 高次脳機能研究, 201503.
- 15) 藤野雄次, 網本 和, 深田和浩, 蓮田有莉, 高石真二郎, 牧田 茂, 高橋秀寿: Pusher 現象に対する腹臥位の効果 シングルケーススタディによる検討. 高次脳機能研究, 201503.
- 16) 万治淳史, 和田義明, 平島富美子, 稲葉 彰, 福田麻璃来, 松田雅弘, 寒河江由美, 網本 和: 脳卒中後半側空間無視患者に対する経頭蓋直流電気刺激の効果 回復期・慢性期患者に関する症例報告. 高次脳機能研究, 201503.

論文

- 1) Arai M, Shiratani T, Comparison of the effects of remote after-effects of static contractions for different upper-extremity positions and pinch-force strengths in patients with restricted wrist flexion range of motion. J Bodyw Mov Ther. <http://dx.doi.org/10.1016/j.jbmt.2014.11.004> (In press).
- 2) 坪井章雄, 林隆司, 新井光男, 白谷智子, 長島 緑, 目黒 篤:施設版 FIM(Geriatric Health Services Facility version Functional Independence Measure: G-FIM)の信頼性・妥当性の検討. 総合リハ 42(5): 445-453. 2014.
- 3) Shiratani T, Arai M: Remote neurophysiological rebound effects of resistive static contraction using a proprioceptive neuromuscular facilitation pattern in the mid-range pelvic motion of posterior depression on the soleus H-reflex. PNF Res. 15(1):24-32, 2015.
- 4) 榎本一枝, 新井光男, 他:異なる側臥位での骨盤の静止性収縮が立位での患側の荷重量に及ぼす後効果, PNF リサーチ, 15(1):39-45, 2015.
- 5) Arai M, Shiratani T:Effect of remote after-effects of resistive static contraction of the pelvic depressors on improvement of restricted wrist flexion range of motion in patients with restricted wrist flexion range of motion. J Bodyw Mov Ther: 442-446, 2015.

講演・口頭発表等

- 1) Arai M, Shiratani T, The effect of different force direction and resistance levels during resistive static contraction of the lower trunk muscles on the soleus H-reflex. J Rehabil Med (suppl 54), S416, 2015.
- 2) Shiratani T, Arai M, et al:A comparison of the movement directional related activity of antagonist resistance exercises using fMRI J Rehabil Med (suppl 54):S416-s417, 2015.

講演・口頭発表等

- 1) 山口 豪, 堀紀代美, 小酒井友, 白石昌武, 中村恒夫, 易 勤, 尾崎紀之: Isoproterenol 投与による心臓痛モデルラットにおける心電図について. 第 29 回日本心電学会・第 31 回日本不整脈学会合同学術大会, 20140722-20140725 (心電図 (0285-1660)34 巻 Suppl. 3 Page557-558(2014. 06)).
- 2) 山口 豪, 堀紀代美, 小酒井友, Aye Aye Mon, 中村恒夫, 白石昌武, 易 勤, 尾崎紀之: Isoproterenol 投与による虚血性心臓痛における ASICs の関与の検討. 第 36 回日本疼痛学会(大阪市), 20140620-20140621(PAIN RESEARCH(0915-8588)29 巻 2 号 Page124(2014. 06)).
- 3) 易 勤, 中村恒夫, 林 省吾, 堀紀代美, 山口 豪, 伊藤正裕, 山本靖彦, 山本 博, 尾崎紀之: スンクスを用いた高脂肪食負荷による抗肥満研究. 第 119 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 20140327-20140329.
- 4) 易 勤, 山本靖彦, 中村恒夫, ニン カ, 渡辺 賢, 木下正信, 山本 博, 尾崎紀之: スンクスの脂肪移植および脂肪細胞分化誘導実験研究. 第 119 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 20140327-20140329.
- 5) Shuang-Qin Yi, Yasuhiko Yamamoto, Ke Ren, Masanobu Kinoshita, Hiroshi Yamamoto, Noriyuki Ozaki: Absence of adipocyte precursor cells in mesentery of Suncus murinus. The 18th Congress of the International Federation of Associations of Anatomists, IFAA , 20140808-20140810.

論文

- 1) 國廣哲也, 竹井 仁, 兎澤 淳: patella settingにおける股関節の内外転角度の違いが内側広筋筋活動に及ぼす影響. 徒手理学療法, 14(1):9-13, 201405.
- 2) 見供 翔, 市川和奈, 宇佐英幸, 小川大輔, 松村将司, 畠 昌史, 古谷英孝, 清水洋治, 竹井 仁: 超音波画像を用いた異なる方向への静止性股関節外転収縮時の中殿筋前・中・後部線維における筋形状測定の見者内・間の信頼性. 日保学誌, 17(1):5-13, 201406.
- 3) 松村将司, 宇佐英幸, 小川大輔, 市川和奈, 畠 昌史, 清水洋治, 見供 翔, 古谷英孝, 竹井 仁: 骨盤・下肢アライメントの年代間の相違とその性差－20-70 代を対象とした横断研究－. 理学療法科学, 29(6):965-971, 201412.
- 4) 宇佐英幸, 松村将司, 小川大輔, 畠 昌史, 市川和奈, 竹井 仁: 下肢における徒手筋力検査 Grade3 の筋力値と最大筋力値の関係－股関節屈曲・伸展と膝関節屈曲・伸展での検討－. 理学療法科学, 29(6):861-865, 201412.

著書

- 1) 竹井 仁: 理学療法チェックリスト第2版. 2, 疼痛. 姿勢障害(側弯症含む). 浮腫: 三輪書店, 201405.
- 2) 竹井 仁: 筋機能改善の理学療法とそのメカニズム－理学療法の科学的基礎を求めて－第3版. 2, 筋の痛みに対する理学療法:(有)ナップ, 201405.
- 3) 竹井 仁: 1日3分! プスタイルが美スタイルに変わる! ゆがみリセット1週間ドリル. 7: 日経BP社, 201407.
- 4) 竹井 仁: 系統別・治療手技の展開第3版. 5, 理学療法における構造的アプローチ, 機能的アプローチ, 包括的アプローチ. 各系統別解剖・生理・運動学的基礎. 結合組織(非収縮組織)と筋系. マッスルペインリリーフ. 筋膜リリース. 筋膜マニピュレーション. マッスルエナジーテクニック. 軟部組織モビライゼーション. メディカルトーニングセラピー: 協同医書出版社, 201409.
- 5) 竹井 仁: DVD Muscle Pain Relief～上肢・体幹・下肢へのアプローチ～Muscle Pain Reliefの基礎理論, Muscle Pain Reliefによる治療の実際上肢編, Muscle Pain Reliefによる治療の実際体幹編, Muscle Pain Reliefによる治療の実際下肢編. 1, Muscle Pain Reliefの基礎理論, Muscle Pain Reliefによる治療の実際上肢編, Muscle Pain Reliefによる治療の実際体幹編, Muscle Pain Reliefによる治療の実際下肢編: ジャパンライム株式会社, 201411.
- 6) 竹井 仁: ビジュアル版 筋肉と関節のしくみがわかる事典第2版. 7: 株式会社西東社, 201502.
- 7) 竹井 仁: 運動器系解剖学アトラス. 2, 触診解剖学: 南江堂, 201503.

Misc

- 1) 竹井 仁: 筋膜マニピュレーション. 徒手理学療法, 14(1):35-43, 201405.
- 2) 竹井 仁: 健やかな成長! 健やかな熟成!. あゆみ(愛媛県教育研究協議会専門局用語教員部編集), (33):16-21, 201502.

講演・口頭発表等

- 1) 安彦鉄平, 島村亮太, 小川大輔, 廣澤全紀, 嶋田浩平, 中尾陽光, 相馬正之, 安彦陽子, 竹井 仁: 上肢の運動方向が様部多裂筋深層線維の反応時間に及ぼす影響－ワイヤ筋電図を用いた検討－. 第49回日本理学療法学術大会, 201405.
- 2) 勝又泰貴, 竹井 仁, 堀 拓朗, 林 洋暁, 天羽君枝: 筋膜リリースと筋再教育運動が筋筋膜の伸張性および筋力に与える経時的変化. 第49回日本理学療法学術大会, 201405.
- 3) 古谷英孝, 見供 翔, 吉田昂広, 朝重信吾, 竹井 仁: 健常者における烏口肩峰靱帯の上方歪み量増加に及ぼす因子の検討. 第49回日本理学療法学術大会, 201405.
- 4) 宇佐英幸, 松村将司, 小川大輔, 市川和奈, 畠 昌史, 清水洋治, 平田圭佑, 竹井 仁, 池田 誠: 徒手筋力検査 grade 3 の筋力値と最大筋力値の関係における加齢による相違－股関節屈曲・伸展運動での検討－. 第49回日本理学療法学術大会, 201405.
- 5) 竹井 仁: 健やかな成長! 健やかな熟成!. 第35回愛媛県養護教員研究大会, 20141108.
- 6) 竹井 仁: エキスパートセミナー(運動器)「筋・筋膜に対する徒手理学療法－筋膜マニピュレーションを中心に－». 第32回東北理学療法学術大会, 20141129.
- 7) 竹井 仁: 筋膜に対する徒手理学療法－筋膜マニピュレーションを中心に－. 日本運動器徒手理学療法学会第2回学術集会, 20141130.
- 8) 市川和奈, 竹井 仁: 腰椎滑り症に対する理学療法実施中の red flags 確認が脊髄腫瘍の発見に繋がった症例. 日本運動器徒手理学療法学会第2回学術集会, 20141130.
- 9) 勝又泰貴, 竹井 仁: 筋膜リリースの即時効果と持続性に関する検討. 日本徒手理学療法学会第20回学術大会, 20150308.
- 10) 畠昌史, 竹井 仁, 篠田瑞生: 随伴性疼痛に注目し、筋膜マニピュレーションによる治療で改善が得られた頸部痛の一症例. 日本徒手理学療法学会第20回学術大会, 20150308.

社会貢献活動

- 1) 竹井 仁: テレビ朝日 モーニングバード. アカデミョシズミー 国民の8割が経験!? 万人の悩み“首コリ”を科学する－.
- 2) 竹井 仁: テレビ朝日 モーニングバード. アカデミョシズミー あなたの肩に合った対処法は? “肩こり”を科学する－.
- 3) 竹井 仁: TBS 健康カプセル! ゲンキの時間. ふくらはぎ.
- 4) 竹井 仁: CBC ラジオ 多田しげおの気分爽快～朝からP・O・N 肩こりについて.
- 5) 竹井 仁: 日本テレビ PON. 肩こりを改善! なで肩&いかり肩.
- 6) 竹井 仁: BS ジャパン 朝とく. 肩こりの原因.
- 7) 竹井 仁: TBS いっぶく. 肩こりについて.
- 8) 竹井 仁: BS ジャパン 朝とく. 肩こりの種類.
- 9) 竹井 仁: BS ジャパン 朝とく. 肩こりの対処法.
- 10) 竹井 仁: TBS 健康カプセル! ゲンキの時間. ストレッチング.
- 11) 竹井 仁: 日本テレビ シューイチ. 肩こりについて.
- 12) 竹井 仁: テレビ朝日 モーニングバード. アカデミョシズミー 腰痛の新原因と言われる“ゆがみ肋骨(ろっこつ)”とは?－.

- 13) 竹井 仁:テレビ朝日 モーニングバード. アカデミヨシズミー腰痛を改善するという“しゅ〜ストレッチ”と“クロール・ストレッチ”。
- 14) 竹井 仁:テレビ東京 L4you. しつこい肩こりスッキリ解消術！。
- 15) 竹井 仁:TBS 所さんのニッポンの出番. なぜ日本人は肩がこるのか？。
- 16) 竹井 仁:テレビ朝日 モーニングバード. アカデミヨシズミー疲労回復術。

その他

- 1) 公益社団法人東京都理学療法士協会副会長(2010 年 4 月～)
- 2) 公益社団法人日本理学療法士協会徒手理学療法部門代表幹事(2013 年 6 月～)
- 3) 日本徒手の理学療法学会 理事長(2015 年 3 月～)
- 4) 公益社団法人日本理学療法士協会運動器分科学会副代表(2015 年 6 月～)

論文

- 1) 森田智之, 浅沼 満, 廣瀬秀行, 清宮清美, 杉山真理, 鈴木康子, 井上悦男, 古田大樹, 馬場孝浩, 及川雅博, 古賀 洋, 江原公洋, 佐藤征之, 山田拓実:車椅子駆動能力評価方法の信頼性と日常生活活動自立度との関連の検討. Rehabilitation Engineering, 29(4):219-225, 201411.
- 2) 森田智之, 山田拓実:車椅子クッションと座面のたわみが座位動作に及ぼす影響の検討. 日本保健科学学会誌, 17(3):135-143, 201412.
- 3) 森田智之, 山田拓実, 渡辺偉二, 長堀エミ:Lifestyle risk factors for pressure ulcers in community-based patients with spinal cord injuries in Japan. Spinal Cord, 53():476-481, 201502.
- 4) 山田拓実:シンポジウム 地域貢献を学生教育へ. 日本保健科学学会誌, 17(4):183-186, 201503.

Misc

- 1) 竹下美都, 山田拓実, 富安萌葉:Functional Reach における足関節・足趾機能のバイオメカニクスの解析. 理学療法学, 41(大会特別号 2):0343-0343, 201405.
- 2) 加藤淳平, 山田拓実, 大見武弘:筋骨格モデル解析を用いた歩行の 3 次元動作解析 中足指節関節の解析手法の違いが足部関節の計算に及ぼす影響に着目して. 理学療法学, 41(大会特別号 2):0695-0695, 201405.
- 3) 大矢暢久, 佐藤義尚, 山田拓実, 川村博文, 高木峰子:肩関節周囲の軟部組織の厚さに対する超音波検査の信頼性の検討. 日本物理療法学会学術大会抄録集, 22 回:32-32, 201409.
- 4) 山田拓実:地域貢献を学生教育へ. 日本保健科学学会誌, 17(Suppl.):12-12, 201409.
- 5) 松島 栞, 山田拓実:ストレッチポールエクササイズが立位アライメント、動的姿勢制御に及ぼす影響. 日本保健科学学会誌, 17(Suppl.):32-32, 201409.
- 6) 山田拓実, 蘭牟田洋美:荒川ばん座位体操の普及に向けて 参加者の呼吸機能について. 日本公衆衛生学会総会抄録集, 73 回:428-428, 201410.
- 7) 蘭牟田洋美, 山田拓実:荒川ばん座位体操の普及に向けて 体操がもたらす主観的効果. 日本公衆衛生学会総会抄録集, 73 回:428-428, 201410.

競争的資金等の研究課題

- 1) 山田拓実:日本学術振興会 科学研究費助成事業「障害者・要介護高齢者向け健康体操の参加者、介護者、および地域社会への影響」, 201304-201603.

講演・口頭発表等

- 1) T. Matsuda, O. Nitta, T. Koyama, N. Kubota, Y. Ikeda, A. Manji, Y. Kusumoto, K. Amimoto: Effects of visuospatial rehabilitation by iPad on unilateral spatial neglect. 23th European Stroke Conference, 201405.
- 2) A. Manji, M. Kitabayashi, T. Suzuki, T. Matsuda, Y. Ikeda, K. Amimoto: Effects of functional electrical stimulation to the peroneal nerve on gait and practical locomotive ability of hemiplegic patients after stroke. 23th European Stroke Conference, 201405.
- 3) 後藤圭介, 池田由美, 松田雅弘, 渡邊 壘, 来間弘展, 妹尾淳史: 機能的 MRI を用いた運動性認知課題施行時の脳神経活動の分析. 理学療法学, 201405.
- 4) K. Goto, Y. Ikeda, T. Matsuda, H. Kuruma, A. Senoo: Brain Activity during dual-task comprising cognitive motor tasks: an fMRI study. 20th Congress of the International Society of Electrophysiology and Kinesiology, 201406.
- 5) Yumi I., Nami S, Hironobu K, Atsushi S, Chisato Y, Keisuke G, Tadamitsu M, Shu W, Seiki K: Brain Activation during Imagined Stance: an fMRI study on blind and healthy subjects. 20th Congress of the International Society of Electrophysiology and Kinesiology, 201407.
- 6) 松田雅弘, 新田 収, 古谷禎子, 池田由美: 幼児版運動イメージ評価尺度の開発 妥当性の検討. 臨床神経生理学, 201410.
- 7) 松田雅弘, 新田 収, 古谷禎子, 池田由美: 幼児のための協調運動評価尺度の開発 妥当性の検討. 臨床神経生理学, 201410.

論文

- 1) 来間弘展: 筋膜リリース. 徒手理学療法, 14(2):83-86, 201410.
- 2) 國廣哲也, 来間弘展, 向井英司, 小川 健: 鼠径部痛に対し胸郭・骨盤帯へのアプローチによる改善が認められた症例. 徒手理学療法, 14(2):59-65, 201410.

学会発表

- 1) 信太奈美, 古川順光, 来間弘展, 神尾博代: 車いすバスケットボール競技における競技用車いすの駆動フォームとクラス分けの関係. 体力科学, 63(6):694-694, 201412.
- 2) 後藤圭介, 池田由美, 松田雅光, 渡邊 壘, 来間弘展, 妹尾淳史: 機能的 MRI を用いた運動性認知課題施行時の脳神経活動の分析. 理学療法学, 41(大会特別号 2):0458-0458, 201405.
- 3) 白谷智子, 新井光男, 来間弘展, 柳澤真純, 梶本一枝, 柳澤 健: 固有受容性神経筋促通法における骨盤の後方下制に対する抵抗運動がヒラメ筋 H 波に及ぼす影響. 理学療法学, 41(大会特別号 2):0600, 201405.
- 4) 来間弘展, 大西史基, 秋山 翼, 吉田匡志, 新田 収, 宇佐英幸, 池田 誠, 柳澤 健: 胸椎モビライゼーションが自律神経系および疼痛閾値へ与える影響. 理学療法学, 41(大会特別号 2):1540, 201405.
- 5) Hironobu Kuruma, Makoto Ikeda, Ken Yanagisawa, Fumiki Ohnishi: Thoracic spine mobilization and electrical current influence for autonomic nervous system. 8th ISPRM world congress, 201407.

論文

- 1) 山元佐和子, 古川順光, 新田 収: 脊柱後彎の有無が車椅子駆動時の呼吸循環応答に与える影響. 理学療法科学, 29(2):309-314, 201404.
- 2) 中俣 修, 新田 収, 古川順光: 健常人における両脚跳躍動作の跳躍高を決定する因子の分析—体幹・下肢の姿勢と運動に着目して—. 理学療法学, 41(5):290-300, 20140820.
- 3) 楠本泰士, 牧田光代, 新田 収, 古川順光, 松田雅弘: 整形外科手術の手術時期を判断した要因と環境因子との関係～脳性麻痺患者の保護者の場合～. 保健医療福祉連携, 7(2):118-125, 20140930.

Misc

- 1) 山元佐和子, 古川順光, 新田 収: 心不全患者の左室駆出率は一定運動負荷開始時の酸素摂取量増加動態に影響を与える. 日本保健科学学会誌, 17(Suppl):25, 20140927.
- 2) 山元佐和子, 古川順光, 新田 収: 0-20 心不全患者の左室駆出率は一定運動負荷開始時の酸素摂取量増加動態に影響を与える(口述発表(4), 一般演題, 第 24 回日本保健科学学会学術集会). 日本保健科学学会誌, 17(0), 20140927.
- 3) 信太奈美, 古川順光, 来間弘展, 神尾博代: 車いすバスケットボール競技における競技用車いすの駆動フォームとクラス分けの関係. 体力科学, 63(6):694, 20141201.
- 4) YAMAMOTO Sawako, FURUKAWA Yorimitsu, NITTA Osamu: PREDICTOR OF ANAEROBIC THRESHOLD IN PEOPLE WITH HEART FAILURE WITH PRESERVED LEFT VENTRICULAR EJECTION FRACTION. 日本理学療法学会大会(Web), 50th:P3-0798((J-STAGE))- , 2015.

論文

- 1) 見供 翔, 市川和奈, 宇佐英幸, 小川大輔, 松村将司, 畠 昌史, 古谷英孝, 清水洋治, 竹井 仁: 超音波画像を用いた異なる方向への静止性股関節外転収縮時の中臀筋前・中・後部線維における筋形状測定 of 検者内・間の信頼性. 日本保健科学学会誌, 17(1):5-13, 201406.
- 2) 松村将司, 宇佐英幸, 小川大輔, 市川和奈, 畠 昌史, 清水洋治, 見供 翔, 古谷英孝, 竹井 仁: 骨盤・下肢アライメントの年代間の相違とその性差 20-70 代を対象とした横断研究. 理学療法科学, 29(6):965-971, 201412.
- 3) 宇佐英幸, 松村将司, 小川大輔, 畠 昌史, 市川和奈, 竹井 仁: 下肢における徒手筋力検査 Grade 3 の筋力値と最大筋力値の関係 股関節屈曲・伸展と膝関節屈曲・伸展での検討. 理学療法科学, 29(6):861-865, 201412.

講演・口頭発表等

- 1) 来間弘展, 大西史基, 秋山 翼, 吉田匡志, 新田 収, 宇佐英幸, 池田 誠, 柳澤 健: 胸椎モビライゼーションが自律神経系および疼痛閾値へ与える影響. 第 49 回日本理学療法学会大会, 201405.
- 2) 宇佐英幸, 松村将司, 小川大輔, 市川和奈, 畠 昌史, 清水洋治, 平田圭佑, 竹井 仁, 池田 誠: 徒手筋力検査 grade3 の筋力値と最大筋力値の関係における加齢による相違 股関節屈曲・伸展運動での検討. 第 49 回日本理学療法学会大会, 201405.

社会貢献活動

- 1) 姿勢の評価と治療 - Stability & Mobility -. 日本徒手理学療法学会, 20140913-20140915.
- 2) 上肢・下肢の触診機能解剖. 日本理学療法士協会, 20141101-20141103.

Misc

- 1) 信太奈美, 古川順光, 来間弘展, 神尾博代:車いすバスケットボール競技における競技用車いすの駆動フォームとクラス分けの関係. 体力科学, 63(6):694-694, 201412.

講演・口頭発表等

- 1) 信太奈美:(公財)東京都スポーツ文化事業団/東京都主催 東京都競技力向上テクニカルサポート事業 指導者交流シンポジウム, 201411.
- 2) 信太奈美, 古川順光, 来間弘展, 神尾博代:車いすバスケットボール競技における競技用車いすの駆動フォームとクラス分けの関係. 体力科学, 201412.
- 3) 信太奈美:第1回日本支援工学理学療法学会学術集会 シンポジウム, 201412.

競争的資金等の研究課題

- 1) 信太奈美:文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「車いすスポーツにおける基本的スキルと競技用車いすセッティングの関係」, 2015-2017.

作業療法学科

論文

- 1) 藤田芽名, 山田 孝, 石井良和, 小林法一, 川又寛徳: 人間作業モデルに基づく活動選択と環境支援が認知症高齢者の周辺症状の改善に有効だった一事例. 作業行動研究, 18(1):26-33, 201406.

著書

- 1) 山田 孝・監訳, 石井良和, 竹原 敦, 野藤弘幸, 村田和香・訳: 作業療法実践の理論. 4, 12 章, 13 章, 17 章: 医学書院, 201409.

Misc

- 1) 石橋 裕, 石井良和, 石橋仁美: 【化粧行為、化粧動作の研究と応用】 作業療法の視点による化粧動作の検討. FRAGRANCE JOURNAL, 41(11):40-44, 201408.
- 2) 石橋仁美, 石井良和, 石橋裕: 【おしゃれを楽しむことを支える作業療法】 おしゃれを楽しむことで得られる変化 作業療法における化粧への支援 クライアントにとっての化粧を考える. 作業療法ジャーナル, 48(12):1207-1213, 201411.

講演・口頭発表等

- 1) Hitomi Ishibashi, Yoshikazu Ishii, Yu Ishibashi, Keishi Saruwatari, Chonghi Kim: Necessity and effectiveness of intervention in making up by occupational therapy - A questionnaire survey to psychiatric occupational therapists-. 16th World Federation of Occupational Therapists Congress, 201406.
- 2) Atsuko Tanimura, Yoshikazu Ishii, Takashi Yamada: Examining the contextual validity of the work-life balance scale through participatory research with mental health service users. 16th International Congress of the World Federation of Occupational therapists, 201406.
- 3) Saki SATO, Yoshikazu Ishii: The research into the process of the interaction The first report "to grasp client's demands" - To make out the semi-structured interview form for the interaction between clients and occupational therapists-. 16th International Congress of the World Federation of Occupational therapists, 201406.
- 4) Keiko Omatsu, Yoshikazu Ishii, Takashi Yamada: The features of meaningful occupations and occupations except them in Japan: An examination of case studies from 1995 to 2010. . 16th International Congress of the World Federation of Occupational therapists, 201406.
- 5) 藤田芽名, 山田 孝, 石井良和, 小林法一, 川又寛徳: 作業選択に対する支援が認知症高齢者の周辺症状の改善に有効であった一事例. 第48回日本作業療法学会, 201406.
- 6) 田中 団, 本家寿洋, 石井良和: 興味・価値を置く作業への参加により廃用症候群を予防できた一例. 日本作業行動学会学術集会, 201409.
- 7) 小貫早希, 石井良和: 末期がんのクライアントの語りを把握し協業するために～半構成的インタビュー様式に用いる仮項目の作成～. 日本作業行動学会学術集会, 201409.
- 8) 本家寿洋, 山田 孝, 石井良和, 小林法一: 高齢者版・余暇活動の楽しさ評価法の基準関連妥当性と再検査信頼性の検討. 日本作業行動学会学術集会, 201409.

- 9) 神保洋平, 石井良和: 疾患を持ちながら自らの生活の充足感を保つ事例への質的分析. 日本保健科学学会, 201409.

論文

- 1) Ryoko Tomizawa, Mayumi Yamano, Mitue Osako, Takeshi Misawa, Naotugu Hirabayashi, Nobuo Oshima, Masahiro Sigeta, and Scott Reeves: The development and validation of an interprofessional scale to assess teamwork in mental health settings. Journal of Clinical Epidemiology, 28(5):485-486, 201409.
- 2) 宮本礼子・大嶋伸雄: 高次脳機能障害の理解度と実践能力に関する自己認識の関係性―作業療法学生を対象とした調査―. 日本保健科学学会誌, 15(2):103-214, 201409.

著書

- 1) 菊池安希子・網本 和・大嶋伸雄 他: PT・OT のための認知行動療法入門. 4, 1・2・4・5・6・7・10・11章の監訳:, 医学書院, 201404.

Misc

- 1) 大嶋伸雄: 患者教育を実践する専門職連携協働のための連携教育. 看護教育, 56(2):136-139, 201502.
- 2) 大嶋伸雄: 脳損傷例に対する認知行動療法. 理学療法ジャーナル, 48(12):1099-1109, 201412.
- 3) 根岸裕司・大嶋伸雄: 摂食嚥下の実践例. 作業療法ジャーナル, 48(9):932-938, 201404.

講演・口頭発表等

- 1) 大嶋伸雄: 認知作業療法の基礎. 第1回日本認知作業療法研修会, 20140426.
- 2) 根岸裕司, 大嶋伸雄: 大災害から3ヶ月後の復興期における作業療法士の役割について. 第16回世界作業療法士連盟大会, 20140618.
- 3) 山本麻子, 大嶋伸雄: 左半側空間無視患者の障害に対する気づきのプロセス. 第16回世界作業療法士連盟大会, 20140618.
- 4) 小貫 貢, 高橋里奈, 田口洋輝, 大嶋伸雄: 多職種連携による脳外傷者の就労支援. 第16回世界作業療法士連盟大会, 20140618.
- 5) 中本久之, 清水竜太, 岩谷清一, 大嶋伸雄: わが国の回復期リハビリテーションにおける作業療法の目的と効果. 第16回世界作業療法士連盟大会, 20140618.
- 6) 大嶋伸雄, 井上 薫, 宮本礼子, ジェニーバトラー, サリーフェーバー: 作業療法大学院生のための共同研究を基盤とした国際交流プログラムによる教育効果. 第16回世界作業療法士連盟大会, 20140618.
- 7) 大嶋伸雄: 高次脳機能障害者に対する新たな治療手段としての認知行動療法の応用. 第16回世界作業療法士連盟大会, 20140618.
- 8) 岩尾武宣, 大嶋伸雄: 脳血管障害者の ADL 自己評価と回復過程との関連. 第16回世界作業療法士連盟大会, 20140618.
- 9) 大嶋伸雄: 認知行動療法の基礎と応用. 鶴巻温泉病院・平成 26 年度研修会, 20140731.
- 10) 大嶋伸雄: Interprofessional Education の意義と役割. 第27回教育研究大会・教員研修会, 20140822.
- 11) 大嶋伸雄: 「IPEを臨床に繋げる視点」―臨床分析からIPE改善の考察―. 第7回日本保健医療福祉連携教育学会, 20140920.

- 12) 藤井博之, 大笹勝典, 大嶋伸雄, 小川孔美, 北澤彰浩, 小橋孝介, 由井和也, 吉浦 輪:「共通理解」に焦点をあてた IPE プログラムの試み. 第7回日本保健医療福祉連携教育学会, 20140920.
- 13) 竹内幸子, 大嶋伸雄, 根岸裕司:在宅高齢者の幸福感に関する文献的研究. 第 24 回日本保健科学学術集会, 20140927.
- 14) トリ・ブディ・サントソ, 大嶋伸雄, 伊藤祐子, ピーター・ボンジェ:Resilience of Indonesian Mother with Autistic Children in Daily Occupation. 第 24 回日本保健科学学術集会, 20140927.
- 15) 大嶋伸雄:認知行動療法のリハビリテーションへの応用. 医療生協・東京都民医連 平成25年度リハビリテーション部会研修会, 20141006.
- 16) 大嶋伸雄:多職種連携協働による新たな視点からの取り組み. 第37回総合リハビリテーション研究大会, 20141012.
- 17) 大嶋伸雄:認知作業療法の基礎と応用. 愛知県作業療法士会・平成25年度身体障害領域・研修会, 20141129.
- 18) 大嶋伸雄:認知作業療法の発展的応用 作業療法カウンセリング. 平成25年度・第2回認知作業療法研修会, 20141213.
- 19) 横井安芸, 大嶋伸雄:わが国の高次脳機能障害者の就労支援に関わる作業療法士の現状:文献レビューより. 第16回日本リハビリテーション連携科学学会, 20150315.
- 20) 大嶋伸雄:認知作業療法の基礎と応用. 県立病院機構リハビリテーション部会・平成25年度研修会, 20150328.

論文

- 1) Atomi T, Noriuchi M, Oba K, Atomi Y, Kikuchi Y: Self-recognition of one's own fall recruits the genuine bodily crisis-related brain activity. PLoS ONE 7(5):e37901. doi:10.1371/journal.pone.0037901, 2014.
- 2) Kohno S, Noriuchi M, Iguchi Y, Kikuchi Y, Hoshi Y: Emotional discrimination during viewing unpleasant pictures: Timing in human anterior ventrolateral prefrontal cortex and amygdala. Frontiers in Human Neuroscience, doi: 10.3389/fnhum.2015.00051.
- 3) 菊池吉晃, 則内まどか: 「母性愛」脳科学研究の視点から. 赤ちゃん学会雑誌「ベビーサイエンス」コメント論文, 14: 55-56, 2014.

著書

- 1) 菊池吉晃, 妹尾淳史, 安保雅博, 渡邊 修, 米本恭三, 編著: SPM8 脳画像解析マニュアル-fMRI、拡散テンソルへの応用-. 医歯薬出版株式会社(2 版).

講演・口頭発表等

- 1) 菊池吉晃: 脳の機能・構造におけるバリエーション. 日本生理人類学会第 70 回大会シンポジウム「生理特性のバリエーションの構造」, 九州大学大橋キャンパス, 20140622.
- 2) Watanabe R, H Takahiro, Kikuchi Y: The imitation model's action from 1st -person view provides the kinesthetic information of the model efficiently: an fMRI study. 7th International Congress ASPASP (Asian-South Pacific Association of Sport Psychology), National Olympics Memorial Youth Center, Tokyo, 20140807-20140810.
- 3) 跡見友章, 則内まどか, 田中和哉, 長谷川克也, 清水美穂, 跡見順子, 菊池吉晃: 身体性を伴う自己認知に関する神経機構. 2014 年度人工知能学会オーガナイズドセッション「知の身体性」, ひめぎんホール(愛媛県民文化会館), 20140512-20140515.
- 4) 則内まどか, 森 久美子, 神尾陽子, 菊池吉晃: 母親のわが子に対する愛着の神経基盤-おやつ場面における脳活動-. 日本生理人類学会第 70 回大会, 九州大学大橋キャンパス, 20140621-20140622.
- 5) 白土真紀, 大場健太郎, 森下 薫, 則内まどか, 小早川 達, 菊池吉晃: 香りによる懐かしさの想起-黒質/海馬の機能的結合. 日本生理人類学会第 70 回大会, 九州大学大橋キャンパス, 20140621-20140622.
- 6) 白土真紀, 町田明子, 磯部寛子, 則内まどか, 菊池吉晃: メーキャップによる自己顔印象変化の脳イメージング研究. 第 19 回日本顔学会大会(フォーラム顔学), 昭和大学, 20141025-20141026.
- 7) 西村清陽, 花田健二, 菊池吉晃: 認知問題呈示時の注意点に関する一考察～fMRI を用いた基礎研究の観点から～. 認知神経リハビリテーション学会, 神奈川県立青少年センター, 20140830-20140831.
- 8) Watanabe R, Higuchi T, Kikuchi Y: The imitation model presented from the 1st-person view, but not from the 3rd-person view, provides kinesthetic information of observed action: an fMRI study. The 37th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society(第 38 回日本神経科学大会), パシフィコ横浜, 20140911-20151113.

競争的資金等の研究課題

- 1) 菊池吉晃:「機能的結合解析と脳ネットワーク解析によるレジリエンスの神経メカニズムに関する研究」, 平成 26 年度傾斜的研究費(一般)(部局分・部局競争経費).
- 2) 菊池吉晃:「化粧行為の認知神経科学的研究」, 資生堂共同研究.
- 3) 菊池吉晃:科研費基盤(B)「超高磁場 fMRI を用いたヒト身体不安定性における「全身的協関」メカニズムの研究」, 201304-201603.

その他

- 1) 菊池吉晃:日本生理人類学会「脳科学・感性研究部会合同会合」主催, 秋葉原サテライトキャンパス, 20140726.
- 2) 菊池吉晃:日本学術会議 総合工学委員会・機械工学委員会合同計算機シミュレーションと工学設計分科会「心と脳など新しい領域検討小委員会」委員.
- 3) 菊池吉晃:日本学術振興会 特別研究員関連専門委員, 2014.
- 4) 菊池吉晃:日本学術振興会 国際事業関連委員会委員, 2014.
- 5) 菊池吉晃:日本学術振興会 科学研究費専門委員, 2014.
- 6) Kikuchi Y:Editorial Board, Archives of Anthropology.
- 7) Kikuchi Y:Editorial Board, Science Postprint.
- 8) Kikuchi Y:Editorial Board, Epigenetics Diagnosis & Therapy.
- 9) Kikuchi Y:Editorial Board, the World Journal of Psychiatry.
- 10) Kikuchi Y:Editorial Board, Journal of Physiological Anthropology and Applied Human Science.
- 11) Kikuchi Y:Editorial Board, International Journal of Psychiatry.

論文

- 1) Atomi T, Noriuchi M, Oba K, Atomi Y, Kikuchi Y: Self-recognition of one's own fall recruits the genuine bodily crisis-related brain activity. PLoS ONE 7(5):e37901. doi:10.1371/journal.pone.0037901, 2014.
- 2) Kohno S, Noriuchi M, Iguchi Y, Kikuchi Y, Hoshi Y: Emotional discrimination during viewing unpleasant pictures: Timing in human anterior ventrolateral prefrontal cortex and amygdala. Frontiers in Human Neuroscience, doi: 10.3389/fnhum.2015.00051.
- 3) 菊池吉晃, 則内まどか: 「母性愛」脳科学研究の視点から. 赤ちゃん学会雑誌「ベビーサイエンス」コメント論文, 14: 55-56, 2014.

著書

- 1) 菊池吉晃, 妹尾淳史, 安保雅博, 渡邊 修, 米本恭三, 編著: SPM8 脳画像解析マニュアル-fMRI、拡散テンソルへの応用-. 医歯薬出版株式会社(2 版).

講演・口頭発表等

- 1) 菊池吉晃: 脳の機能・構造におけるバリエーション. 日本生理人類学会第 70 回大会シンポジウム「生理特性のバリエーションの構造」, 九州大学大橋キャンパス, 20140622.
- 2) Watanabe R, H Takahiro, Kikuchi Y: The imitation model's action from 1st -person view provides the kinesthetic information of the model efficiently: an fMRI study. 7th International Congress ASPASP (Asian-South Pacific Association of Sport Psychology), National Olympics Memorial Youth Center, Tokyo, 20140807-20140810.
- 3) 跡見友章, 則内まどか, 田中和哉, 長谷川克也, 清水美穂, 跡見順子, 菊池吉晃: 身体性を伴う自己認知に関する神経機構. 2014 年度人工知能学会オーガナイズドセッション「知の身体性」, ひめぎんホール(愛媛県民文化会館), 20140512-20140515.
- 4) 則内まどか, 森 久美子, 神尾陽子, 菊池吉晃: 母親のわが子に対する愛着の神経基盤-おやつ場面における脳活動-. 日本生理人類学会第 70 回大会, 九州大学大橋キャンパス, 20140621-20140622.
- 5) 白土真紀, 大場健太郎, 森下 薫, 則内まどか, 小早川 達, 菊池吉晃: 香りによる懐かしさの想起-黒質/海馬の機能的結合. 日本生理人類学会第 70 回大会, 九州大学大橋キャンパス, 20140621-20140622.
- 6) 白土真紀, 町田明子, 磯部寛子, 則内まどか, 菊池吉晃: メーキャップによる自己顔印象変化の脳イメージング研究. 第 19 回日本顔学会大会(フォーラム顔学), 昭和大学, 20141025-20141026.
- 7) 西村清陽, 花田健二, 菊池吉晃: 認知問題呈示時の注意点に関する一考察～fMRI を用いた基礎研究の観点から～. 認知神経リハビリテーション学会, 神奈川県立青少年センター, 20140830-20140831.
- 8) Watanabe R, Higuchi T, Kikuchi Y: The imitation model presented from the 1st-person view, but not from the 3rd-person view, provides kinesthetic information of observed action: an fMRI study. The 37th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society(第 38 回日本神経科学大会), パシフィコ横浜, 20140911-20151113.

競争的資金等の研究課題

- 1) 菊池吉晃: 「機能的結合解析と脳ネットワーク解析によるレジリエンスの神経メカニズムに関する研究」,

平成 26 年度傾斜的研究費(一般)(部局分・部局競争経費).

- 2) 菊池吉晃:「化粧行為の認知神経科学的研究」, 資生堂共同研究.
- 3) 菊池吉晃: 科研費基盤(B)「超高磁場 fMRI を用いたヒト身体不安定性における「全身的協関」メカニズムの研究」, 201304-201603.

その他

- 1) 菊池吉晃: 日本生理人類学会「脳科学・感性研究部会合同会合」主催, 秋葉原サテライトキャンパス, 20140726.
- 2) 菊池吉晃: 日本学術会議 総合工学委員会・機械工学委員会合同計算機シミュレーションと工学設計分科会「心と脳など新しい領域検討小委員会」委員.
- 3) 菊池吉晃: 日本学術振興会 特別研究員関連専門委員, 2014.
- 4) 菊池吉晃: 日本学術振興会 国際事業関連委員会委員, 2014.
- 5) 菊池吉晃: 日本学術振興会 科学研究費専門委員, 2014.
- 6) Kikuchi Y: Editorial Board, Archives of Anthropology.
- 7) Kikuchi Y: Editorial Board, Science Postprint.
- 8) Kikuchi Y: Editorial Board, Epigenetics Diagnosis & Therapy.
- 9) Kikuchi Y: Editorial Board, the World Journal of Psychiatry.
- 10) Kikuchi Y: Editorial Board, Journal of Physiological Anthropology and Applied Human Science.
- 11) Kikuchi Y: Editorial Board, International Journal of Physiatry.

論文

- 1) Hiroyuki Notoh, Takashi Yamada, Takashi Yamada, Norikazu Kobayashi, Yoshikazu Ishii, Kirsty Forsyth: Examining the structural aspect of the construct validity of the Japanese version of the Model of Human Occupation Screening Tool. British Journal of Occupational Therapy, 77:516-525, 20140101.
- 2) 野藤弘幸, 山田 孝, 小林法一, 石井良和: 回復期リハビリテーション病棟入退院時における作業参加の変化. 作業行動研究, 17(4):230-238, 20140331.
- 3) 猪股英輔, 小林法一: 要介護高齢者における一人暮らしの工夫: 家事に焦点を当てて. 作業療法 = Japanese occupational therapy research : JOTR, 33(3):230-240, 20140615.
- 4) 藤田芽名, 山田 孝, 石井良和, 小林法一, 川又寛徳: 人間作業モデルに基づく活動選択と環境支援が認知症高齢者の周辺症状の改善に有効だった一事例. 作業行動研究, 18(1):26-33, 20140630.
- 5) 森 直樹, 小林法一, 原督: 通所リハビリテーションにおける自己選択型オーダーメイド介護予防プログラムの紹介. 作業療法, 33(5):423-431, 20141015.
- 6) 猪股英輔, 三浦南海子, 折茂賢一郎, 小林法一: 認知症高齢者の感情機能に着目した小集団プログラムの効果〜「色カルタ(クオリア・ゲーム)」を用いて〜. 作業療法, 33(5):451-458, 20141015.
- 7) 川又寛徳, 山田 孝, 小林法一: 健康高齢者に対する人間作業モデルに基づく予防的・健康増進作業療法プログラムの効果 プログラム終了 6ヵ月後の状況. 作業行動研究, 18(3):120-126, 201412.

講演・口頭発表等

- 1) 野本潤矢, 楠本直紀, 小林法一: 我が国の認知症予防を目的とした作業療法介入効果に関する文献的考察. 東京作業療法, 20140125.
- 2) 江口悠樹, 小林法一: 脳血管疾患に対する調理を用いた作業療法の実践内容と効果に関する文献レビュー. 東京作業療法, 20140125.
- 3) Yasuo Naito, Tomonori Yasuda, Hosei Yoshikawa, Atsuko Tanimura, Norikazu Kobayashi: Effects of Occupational Therapy in Japan: An Analysis of Case Reports Based on Case Report Registration System of Japanese Association of Occupational Therapists. 16th International Congress of the World Federation of Occupational Therapists (Yokohama, Japan), 201405.
- 4) Eriko Suzuki, Norikazu Kobayashi: The reason why stroke survivors tend to continue the rehabilitation with the health insurance for a long period—From the survey about OT clients of a rehabilitation hospital in Tokyo—. 16th International Congress of the World Federation of Occupational Therapists (Yokohama, Japan), 201405.
- 5) Toshihiro Honke, Takashi Yamada, Yoshikazu Ishii, Norikazu Kobayashi: Examination of reliability and construct validity for the Elderly version of Leisure-time Activity Enjoyment Scale. 16th International Congress of the World Federation of Occupational Therapists (Yokohama, Japan), 201405.
- 6) Takashi Tamura, Yoshiki Tamaru, Yasuo Naito, Atsuko Tanimura, Norikazu Kobayashi: Analysis of Case Reports in Japanese Association of Occupational Therapists Database. 16th International Congress of the World Federation of Occupational Therapists (Yokohama, Japan), 201405.

- 7) Takashi Yamada, Hironori Kawamata, Norikazu Kobayashi: The effectiveness of the occupational therapy program for healthy elderly people—Randomized Controlled Trial—. 16th International Congress of the World Federation of Occupational Therapists (Yokohama, Japan), 201406.
- 8) Norikazu Kobayashi, Mikiko Tanabe, Hironori Kawamata: The effect of collaboration between occupational therapists and care managers utilizing the management tool for daily life performance —In the case of In-Home Person Requiring Long-Term Care—. 16th World Federation of Occupational Therapy Congress, Yokohama, Japan, 201406.
- 9) Yu Ishibashi, Takashi Yamada, Norikazu Kobayashi, Mime Hashimoto, Kirsty Forsyth: Comparison of relationships between HRQOL, Aging, Occupational participation among different type of homebound elderly. 16th World Federation of Occupational Therapy Congress, Yokohama, Japan, 201406.
- 10) Nobutaka KIKUCHI, Norikazu KOBAYASHI: Characteristics of elderly dementia patients in making Chiyogami-hari: utility in screening for dementia. 16th International Congress of the World Federation of Occupational Therapists (Yokohama, Japan), 201406.
- 11) Masami Yasunaga, Norikazu Kobayashi: Anxiety in the flow model for daily activities of elderly people. the 16th International Congress of the World Federation of Occupational Therapists, 201406.
- 12) Eisuke INOMATA, Norikazu KOBAYASHI: Occupational needs of the household tasks support in elderly people who are living alone and requiring Long-Term Care —Search from difficulties of household tasks—. 16th World Federation of Occupational Therapy Congress, Yokohama, Japan, 201406.
- 13) Naoki Mori, Norikazu Kobayashi, Atsushi Hara: Summary of Personalized Preventive Care Program and Presentation and Report on the Results. 16th World Federation of Occupational Therapy Congress, Yokohama, Japan, 201406.
- 14) Kana Fujita, Takashi Yamada, Yoshikazu Ishii, Norikazu Kobayashi, Hironori Kawamata: Support for occupational choices: The Model of Human Occupation based intervention for an elderly adult with BPSD. 16th International Congress of the World Federation of Occupational Therapists (Yokohama, Japan), 201406.
- 15) Tomoya Iguchi, Takashi Yamada, Norikazu Kobayashi: Workshop — Introduction of the Assessment by the Picture Cards for the Elderly with Dementia (APCD). 16th World Federation of Occupational Therapy Congress, Yokohama, Japan, 201406.
- 16) 岡 義広, 小林法一: 要介護者等を対象とした予防的・健康増進プログラムの効果研究. 作業行動研究, 20140830.
- 17) 山田 孝, 小林法一: 認知症で作業を実施した群と作業を実施しなかった群の比較: 予備的研究. 作業行動研究, 20140830.
- 18) 井口知也, 山田 孝, 小林法一: 認知症高齢者の絵カード評価法(APCD)の有用性の検討. 作業行動研究, 20140830.
- 19) 本家寿洋, 本家寿洋, 山田 孝, 石井良和, 小林法一: 高齢者版・余暇活動の楽しさ評価法の基準関連妥当性と再検査信頼性の検討. 作業行動研究, 20140830.
- 20) 小林幸治, 山田 孝, 小林法一: 被災後生活を送る高齢者への予防的・健康増進プログラムの実践 —その意義と効果の検討. 第 24 回日本作業行動学会学術集会, 福岡, 201409.
- 21) 石代敏拓, 小林法一: 作業や役割への参加の支援に作業に関する自己評価・改訂版が有用であった一事例. 第 24 回日本保健科学学会, 20140927.
- 22) 二村元気, 小林法一: わが国の介護老人保健施設入所者に対する作業療法の効果研究の現状. 日本保健科学学会誌, 20140927.

- 23) 小林幸治, 山田 孝, 小林法一:脳卒中者の心理社会面への援助モデルの臨床的活用法プレセミナー. 第12回東京作業療法学会, 20141026.
- 24) 田中秀宜, 小林法一:わが国の作業療法士の熟達・人材育成に関する文献的研究. 東京作業療法, 20150225.
- 25) 猪股英輔, 小林法一:退院直後における生活適応の支援〜訪問リハビリテーションに生活行為向上マネジメントを用いて〜. 東京作業療法, 20150225.
- 26) 渡辺陵介, 小林法一:認知症のケア・リハにおける余暇活動の選択方法〜報告事例の分析を通して〜. 東京作業療法, 20150225.

競争的資金等の研究課題

- 1) 本家寿洋:文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「LAES を使用して高齢障害者が余暇活動を主観的に楽しむプログラムの開発」, 2015-2018.
- 2) 小林法一:文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「認知症の BPSD 低減に有効な個人固有の役割活動を特定する評価マニュアルの作成」, 2015-2017.

論文

- 1) 京極 真, 寺岡 睦, 小林隆司, 河村顕治: 作業療法教育における学部・大学院5年一貫教育プログラムの利点と課題. 作業療法ジャーナル, 48(6):521-524, 20140615.
- 2) 鈴木優喜子, 長澤 明, 富田深雪, 後藤千明, 小林隆司: アルツハイマー型認知症者のBPSDに関連するADLの量的及び質的側面. 日本作業療法研究学会雑誌, 17(1):25-29, 20140630.
- 3) 小林隆司: 作業行動の発展と作業に基づく実践. 作業行動研究, 18(2):49-54, 201408.
- 4) 松原麻子, 藤田佳男, 小林隆司: 障害者と自動車運転 米国における自動車運転リハビリテーション. 作業療法ジャーナル, 49(2):124-129, 20150215.
- 5) 鈴木優喜子, 長澤 明, 小林隆司: アルツハイマー型認知症患者における重症度とADL・IADLの量的及び質的評価の関連. 日本作業療法研究学会雑誌, 17(2):29-35, 20150320.
- 6) 南 征吾, 小林隆司: 訪問作業療法における家族援助技術—生活行為の拡大を促す作業療法—. 日本作業療法研究学会雑誌, 17(2):15-22, 20150320.

著書

- 1) 人間発達学テキスト(シンプル理学療法学作業療法学シリーズ). 南江堂, 201406.
- 2) 高齢者のその人らしさを捉える作業療法. 文光堂, 20150320.

講演・口頭発表等

- 1) 守谷梨絵, 小林隆司, 南崎 剛, 河野明彦, 長谷宏明: 橈骨遠位端骨折後の健康関連QOLの検討—転倒関連自己効力感と運動機能に着目して—. 日本作業療法学会抄録集(CD-ROM), 201406
- 2) 大庭潤平, 小林正義, 小林隆司, 村井千賀: 健康な高齢者の生活行為の不自由さ. 日本作業療法学会抄録集(CD-ROM), 201406.
- 3) 鈴木優喜子, 吉川友紀子, 長澤明, 小林隆司: アルツハイマー型認知症患者における重症度に応じたADL/IADL技能の特性. 日本作業療法学会抄録集(CD-ROM), 201406.
- 4) 吉田一平, 野中哲士, 平尾一樹, 小林隆司: 達成可能な作業療法目標設定に向けたクライアントの心理状態の把握—フローモデルとQOLの関連性—. 日本作業療法学会抄録集(CD-ROM), 201406.
- 5) 篠田 昭, 南 征吾, 小林隆司: ナラティブサマリーシートを作業療法で使用することは緩和ケア領域で患者と家族の相互理解の助けとなる. 日本作業療法学会抄録集(CD-ROM), 201406.
- 6) 南 征吾, 小林隆司: 訪問作業療法における家族支援の質的研究: 質的パイロット研究. 日本作業療法学会抄録集(CD-ROM), 201406.
- 7) 小林隆司, 南 征吾, 谷川良博, 石井利幸, 村井千賀: 訪問作業療法士に必要な素養とは—質的パイロット研究—. 日本作業療法学会抄録集(CD-ROM), 201406.
- 8) 岩田美幸, 小林隆司, 藪脇健司: 作業療法の初年次学生の「主体的な学び」と学業成績の関係—作業質問紙による検討—. 日本作業療法学会抄録集(CD-ROM), 201406.
- 9) 石井利幸, 小林隆司, 村井千賀: 介護老人保健施設における退所困難要因の検討. 日本作業療法学会抄録集(CD-ROM), 201406.

- 10) 前田浩伸, 小林まり子, 森 佐苗, 遠藤 彰, 小林隆司: 作業療法士が連携の要となり自宅退院を果たすことができた終末期がん患者—家族の不安を解消するためにできること—. 日本作業療法学会抄録集(CD-ROM), 201406.
- 11) 齋藤みのり, 日笠智美, 尾崎善子, 小林隆司: 運動への意欲が改善できた広汎性発達障害(PDD)児への介入—遊びの要素に着目して—. 日本作業療法学会抄録集(CD-ROM), 201406.
- 12) 篠田 昭, 南 征吾, 小林隆司: 希死念慮を抱く患者に対して作業提供を模索した結果(事例報告)—作業創発的臨床推論法を用いて—, 20140927.
- 13) 上村有希子, 小林隆司, 松田 勇: 在日外国人における作業療法の現状と課題. 日本熱帯医学会大会プログラム抄録集, 20141101.
- 14) 吉田一平, 美馬寛子, 野中哲士, 平尾一樹, 小林隆司: 高齢者の挑戦水準・能力水準バランスを調整した作業療法が QOL に与える効果—ランダム化比較研究—. 日本作業療法学会抄録集(CD-ROM), 2015.

社会貢献活動

- 1) 広島県作業療法士会 中国ブロック生活行為向上マネジメント研修大会「生活行為向上マネジメントとは」
- 2) 一般社団法人日本作業療法士協会 研究法(福岡)「認定作業療法士取得研修」
- 3) 一般社団法人日本作業療法士協会 教育法(東京)「認定作業療法士取得研修」
- 4) 茨城県作業療法士会 生活行為向上マネジメント基礎研修「生活行為向上マネジメント概論」
- 5) 東京都作業療法士会 基礎ポイント研修「CCSに基づく作業療法実習を始めよう!」
- 6) 一般社団法人日本作業療法士協会 生活行為向上マネジメント研修会「生活行為向上マネジメント概論」
- 7) 一般社団法人日本作業療法士協会 研究法(大阪)「認定作業療法士取得研修」
- 8) 一般社団法人日本作業療法士協会 重点課題研修 地域包括ケアシステム「地域包括ケアと生活行為向上マネジメント」
- 9) 4団体共催 算定要件研修「生活行為向上リハビリテーション講師研修」

論文

- 1) 中村 祐, 今井幸充, 繁田雅弘, 白波瀬徹, 金 孝成, 清瀬一貴, 藤井章史, 本間 昭: 軽度および中等度アルツハイマー型認知症患者へのリバスチグミンパッチ投与による血漿中ブチリルコリンエステラーゼ活性の変化と認知機能に対する作用の関係 国内第Ⅱb/Ⅲ 相試験における事後解析. 老年精神医学雑誌, 25(5):566-574, 201405.
- 2) 石 岩, 谷村厚子, 藪脇健司, 楊 鴻菌, 黄 菊坤, 繁田雅弘: 中国都市部の在宅高齢者における生活基盤とソーシャルネットワークにかかわるニーズ. 老年精神医学雑誌, 25(5):545-555, 201405.
- 3) 石 岩, 谷村厚子, 藪脇健司, 繁田雅弘: 「中国語版高齢者のための包括的環境要因調査票(CEQ-C)」の信頼性と妥当性. 作業行動研究, 18(1):1-7, 201406.
- 4) 石 岩, Shrestha Sharmila, 谷村厚子, 藪脇健司, 楊 鴻菌, 繁田雅弘: 中国高齢者が希望する生活環境のニーズとは. 日本保健科学学会誌, 17(Suppl.):20, 201409.

著書

- 1) 竹原恵子, 繁田雅弘: 認知症の脳活性化プログラム・レシピーすぐできる介護予防・短期集中リハビリテーション. 7, 中央法規出版, 201412.

Misc

- 1) 繁田雅弘: 老年期うつ病の臨床 老年期うつ病の臨床 精神療法的視点から. 老年精神医学雑誌, 25(増刊Ⅱ):104-104, 201405.
- 2) 品川俊一郎, 繁田雅弘: 【アセチルコリンと神経疾患-100 年目の現在地】アルツハイマー病の治療. BRAIN and NERVE: 神経研究の進歩, 66(5):507-516, 201405.
- 3) 関 一彦, 鶴田和仁, 稲津明美, 福山安甫, 繁田雅弘: 神経変性疾患の嗅覚障害 その実態把握と作業療法の関わり. 日本作業療法学会抄録集, 48 回:EL 2-5, 201406.
- 4) 藪脇健司, 野藤弘幸, 山田 孝, 繁田雅弘: 居宅サービスを利用する高齢者の環境要因に対する認識の類型化 主観的な QOL への影響. 日本作業療法学会抄録集, 48 回:EL 1-2, 201406.
- 5) 繁田雅弘, 半田幸子, 今井幸充: 【ケアラーを支援する方法論】ケアラーへの情報提供 医療機関の情報提供に対する家族の満足度調査から. 老年精神医学雑誌, 25(9):984-992, 201409.
- 6) 関 一彦, 鶴田和仁, 稲津明美, 福山安甫, 繁田雅弘: 神経変性疾患の嗅覚障害 特異的嗅覚(臭素)低下に関する考察. 帝京大学福岡医療技術学部紀要, 10:55-61, 201503.
- 7) 繁田雅弘, 品川俊一郎: 【高齢者の不安とその対策-経済・健康・孤独-】高齢者の不安性障害. Advances in Aging and Health Research, 2014:151-159, 201503.
- 8) 繁田雅弘: 【認知症を診ていこう】患者さん・家族の理解を得られる伝え方 病気の説明. 治療, 97(3):362-366, 201503.

講演・口頭発表等

- 1) 渡辺 賢:ミオシン II 阻害薬による平滑筋弛緩促進のメカニズム. 第 56 回日本平滑筋学会総会, 20140807.
- 2) 渡辺 賢:ミオシン ATPase 阻害薬による平滑筋収縮抑制のメカニズム. 第 24 回日本病態生理学会, 20140810.

競争的資金等の研究課題

- 1) 渡辺 賢:文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「平滑筋収縮フィラメント・リモデリングによるアクチンミオシン相互作用変調の仕組み」, 201104-201603.

論文

- 1) 伊藤祐子, 立山清美, 赤松めぐみ: 感覚統合療法の効果研究に関わる基礎的調査 (特集 JPAN 感覚処理・行為機能検査に関する研究). 感覚統合研究, (15):51-60, 2015.

講演・口頭発表等

- 1) 鈴木孝治, 佐藤真一, 伊藤祐子, 吉野智佳子, 岩崎也生子: 日本の作業療法教育における4年制教育課程移行の提案—養成校を対象としたアンケート調査より—. 日本作業療法学会抄録集(CD-ROM), 201406.
- 2) 伊藤祐子, 井上薫, 森川治, 佐藤滋: Wii バランスボードを用いた姿勢コントロールゲームの可能性—健常者に対する試行より—. 日本作業療法学会抄録集(CD-ROM), 201406.
- 3) 伊藤祐子, 森村美和子, 川合俊一: 普通小学校情緒障がい等通級指導学級における教員と作業療法士の連携による取り組みの効果に関する一考察. 日本作業療法学会抄録集(CD-ROM), 201406.
- 4) 宮本礼子, ボンジェ ペイター, 須山夏加, 伊藤祐子: 共分散構造分析を用いた日本版 Interaction with Disabled Persons Scale の構成概念妥当性の検討. 医学教育, 20140703.
- 5) 日高幹代, 伊藤祐子: 自閉症スペクトラム障害(ASD)児の母親の日常生活におけるレジリエンス. 日本保健科学学会誌, 20140927.
- 6) 伊藤祐子: 社会福祉法人恩賜財団母子愛育会 地域母子保健 発達障害児の早期発見と支援., 20141203.
- 7) 伊藤祐子: 公益社団法人発達協会 春のセミナー 遊びを通じた発達支援, 20150214.

競争的資金等の研究課題

- 1) 井上 薫: 文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(B))「認知症高齢者を対象としたメンタルコミットロボット・パロを活用したケア効果」, 2012-2015.
- 2) 立山清美: 文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「幼児期の自閉症スペクトラム児に対する感覚統合療法の効果～非ランダム化比較試験」, 201404-201603.

受賞

- 1) 伊藤祐子: 日本保健科学学会 奨励賞, 201409.

特許

- 1) 伊藤祐子, 松田正雄: 特許第 5602479 号 「伊藤祐子, 松田 正雄」公立大学法人首都大学東京, 松田金型工業株式会社, 20140829.

その他

- 1) 平成 25 年度作業療法推進活動パイロット事業助成制度成果報告. 東京都作業療法士会「地域への作業療法士配置に向けた人材育成 ～特別支援学校への人材派遣モデル作成と他領域への応用」, 201407.
- 2) 学研 教育ジャーナル. シリーズ カリスマティックアダルト「出会いが人を変える 第 52 回」, 201408.
- 3) NPO 法人東京都自閉症協会「Prism プリズム」. AS(アスペ部会)サポーター記事執筆, 201411.
- 4) 子どもの障害の理解と支援. 分担:発達性協調運動障害:製作・著作:アローウィン DVD教材, 201412.
- 5) 日本発達障害ネットワーク(JDD ネット)体験博覧会. 発達障害児・者に役立つ支援機器の展示・体験イベント 実行委員長, 201412.

論文

- 1) 柴田崇徳, 和田一義, 井上 薫, 竹内嘉伸, 福井貴弘: 地域包括医療ケアにおける, 神経学的セラピー用ロボット・パロによる認知症要介護者への介護の質の向上と, 家族等の介護負担の軽減化による在宅介護の維持. 第 15 回日本認知症ケア学会大会誌:99, 201405.
- 2) 井上 薫, 佐久間尚実, 岡田麻衣子, 中村美緒: 認知症をもつ高齢者に対するアザラシ型ロボット「パロ」が持つ自律性の効果－DCM 法を用いて－. 第 15 回日本認知症ケア学会誌, 13(1):208, 201405.
- 3) 上原玲尾奈, 井上 薫, 中村美緒, 矢筈原隆史, 河合綾香: Eye Tracking of Occupational Therapists: A Comparative Analysis of New Occupational Therapists and Experienced Occupational Therapists on the Initial Assessment of a Dementia Patient. 16th International Congress of the World Federation of Occupational Therapists in collaboration with the 48th Japanese Occupational Therapy Congress and Expo:201406.
- 4) 井上 薫, 佐々木千寿, 和田一義, 柴田崇徳, 木下正信: Three families Living with Seniors with Dementia used Seal Type Robot; PARO; Case Studies. 16th International Congress of the World Federation of Occupational Therapists in collaboration with the 48th Japanese Occupational Therapy Congress and Expo:201406.
- 5) 中村美緒, 井上 薫, 硯川 潤, 河上日出生, 井上剛伸: The effectiveness of transferring function with Robotcbed. 16th International Congress of the World Federation of Occupational Therapists in collaboration with the 48th Japanese Occupational Therapy Congress and Expo:201406.
- 6) 伊藤祐子, 井上 薫, 森川 治, 佐藤 滋: Potential of a Posture Controlling Game with the Wii Balance Board; Assessment with Healthy Subjects. 16th International Congress of the World Federation of Occupational Therapists in collaboration with the 48th Japanese Occupational Therapy Congress and Expo:201406.
- 7) 大嶋伸雄, 井上 薫, 宮本礼子, Jenny Butler, Sally Feather: The Educational Effectiveness of International Exchange Program based Collaborative Research for Master Courses Students in Occupational Therapy. 16th International Congress of the World Federation of Occupational Therapists in collaboration with the 48th Japanese Occupational Therapy Congress and Expo:201406.
- 8) Noor Ayuni Che Zakaria, 米田隆志, Cheng Yee Low, 井上 薫: Therapist's Response towards the Upper Limb Disorder Learning Tool. World Academy of Science, Engineering and Technology, 8(9):603-606, 201407.
- 9) Noor Ayuni Che Zakaria, 米田隆志, Cheng Yee Low, 井上 薫: 治療教育のための上肢機能障害エミュレーション. 11(183):201407.
- 10) 井上 薫, 佐久間尚実, 岡田麻衣子, 佐々木千寿, 中村美緒, 和田一義: 認知症をもつ人に対するヒューマノイド型ロボット「パルロ」の効果. 14th International Conference on Computers Helping People with Special Needs 2014:451-455, 201407.
- 11) 井上 薫: アザラシ型ロボット「PARO」が支援する高齢者の在宅生活. 健康生きがい学会第 5 回大会誌, 28:201408.
- 12) 佐々木千寿, 井上 薫, 河合綾香, 池田太郎: Reasoning of an Occupational Therapist on the Initial Assessment of a Patient; A study in a Simulated Environment. AMEE2014 ABSTRACT BOOK:201408.
- 13) Noor Ayuni Che Zakariaa, Cheng Yee Low, Fazah Akthar Hanapiah, 米田隆志, 井上 薫: Evaluation of upper limb spasticity towards the development of a high fidelity part-task trainer. Procedia Technology, 15:818-827, 201409.

- 14) 井上 薫, 佐々木千寿, 矢筈原隆史: 認知症をもつ高齢者に対するロボット・ロボット様玩具の適用－医療・福祉専門職者に対するグループインタビューより－. 第 11 回東京都作業療法学会抄録集: 57-58, 201410.
- 15) 中村美緒, 白銀 暁, 井上 薫, 井上剛伸: Assistive Technology Design Workshop Based on The Participatory and Empowerment approach. The 8th Conference on Rehabilitation engineering and Assistive Technology Society of Korea 2014: 201411.
- 16) 井上 薫: 認知症をもつ人を対象としたコミュニケーションロボットの活用. 第9回認知症のある人の福祉機器シンポジウム(国立障害者リハビリテーションセンター研究所主催: 201503.
- 17) 井上 薫: 認知症をもつ高齢者に対するケアにおけるロボットの活用. 病院設備, 57(2): 36-39, 201503.

著書

- 1) 奈良勲編集主幹: 実学としてのリハビリテーション概観. 9, Chapter 6 作業療法の概要 その2—評価とアプローチ—(P66-76): 文光堂, 201502.

競争的資金等の研究課題

- 1) 井上 薫: 平成 26 年度神奈川県公募型ロボット実証実験支援事業神奈川県産業労働局産業・エネルギー部産業振興課 平成 26 年度介護機器モニター調査(実証試験)事業「コミュニケーションロボット「パルロ」の効果」, 201406-201502.
- 2) 井上 薫: 文部科学省 文部科学省科学研究費基盤研究(B)「認知症高齢者を対象としたメンタルコミットロボット・パロを活用したケア効果」, 201204-201603.

その他

- 1) 井上 薫: TBS「新・情報7Days ニュースキャスター」の取材: 日本の介護ロボット「PALRO」について解説し、今後のケアのあり方について考えを述べた。: 201405.
- 2) 井上 薫: TBS「あさちゃん!」の取材: コミュニケーションロボット、「パルロ」の健康への効果について解説した。: 201408.

論文

- 1) Hisako Izumi, Michiko Mastubara, Kazuko Saeki, Hiromi Imuta, Mitsuru Mori: The Effectiveness of Hyperlipidemia. Open Journal of Nursing, 4:962-970, 201410.

講演・口頭発表等

- 1) 西川俊永, 藺牟田洋美: 脳卒中後遺症者の役割再獲得のプロセス. 日本作業療法学会抄録集 (CD-ROM), 201406.
- 2) 藺牟田洋美, 閉じこもり高齢者に対する心理的支援: 高齢化社会において心理学はどのような貢献が可能か. 大会シンポジウム, 日本心理学会大会発表論文集, 201409.
- 3) 藺牟田洋美, 山田拓実: 荒川ばん座位体操の普及に向けて(2)体操がもたらす主観的効果. 日本公衆衛生学会総会抄録集, 20141015.
- 4) 和泉比佐子, 岡田尚美, 松原三智子, 佐伯和子, 藺牟田洋美, 森 満: 青壮年期のメタボリックシンドローム予備群を対象とした介入プログラムの評価. 日本公衆衛生学会総会抄録集, 20141015.
- 5) 山田拓実, 藺牟田洋美: 荒川ばん座位体操の普及に向けて(1)参加者の呼吸機能について. 日本公衆衛生学会総会抄録集, 20141015.
- 6) 藤田幸司, 山崎幸子, 藺牟田洋美, 平井 寛, 安村誠司: 交流サロン活動を通じた高齢者の閉じこもり改善のための心理的支援プログラムの検討. 老年社会科学, 36(2):238-238, 20140610.

競争的資金等の研究課題

- 1) 藺牟田洋美: 文部科学省 科学研究費補助金(挑戦的萌芽研究)「介護予防から災害弱者へのパラダイム転換-効果的な閉じこもり高齢者支援を目指して-」, 2015-2017.
- 2) 藺牟田洋美(分担): 文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「青壮年期のメタボリックシンドローム予防の自己効力感尺度と介入プログラムの開発」, 2014-2016.

論文

- 1) 石 岩, 谷村厚子, 藪脇健司, 楊 鴻菌, 黄 菊坤, 繁田雅弘: 中国都市部の在宅高齢者における生活基盤とソーシャルネットワークにかかわるニーズ. 老年精神医学雑誌, 25(5):545-555, 201405.

講演・口頭発表等

- 1) TANIMURA Atsuko, ISHII Yoshikazu, YAMADA Takashi: Examining the contextual validity of the work-life balance scale through participatory research with mental health service users. 16th International Congress of the World Federation of Occupational therapists, 201406.
- 2) TAMURA Takashi, TAMARU Yoshiki, NAITO Yasuo, TANIMURA Atsuko, Kobayashi Norikazu: Analysis of Case Reports in Japanese Association of Occupational Therapists Databas. 16th International Congress of the World Federation of Occupational therapists, 201406.
- 3) NAITO Yasuo, YASUDA Tomonori, YOSHIKAWA Hosei, TANIMURA Atsuko, KOBAYASHI Norikazu: Effects of Occupational Therapy in Japan: An Analysis of Case Reports Based on Case Report Registration System of Japanese Association of Occupational Therapists. 16th International Congress of the World Federation of Occupational therapists, 201406.
- 4) 谷村厚子: 作業療法による, 心と体が健康になるための生活習慣の見直し方. 第24回日本保健科学学会学術集会, 201409.

論文

- 1) 澤田有希, 橋本美芽: 回復期リハビリテーション病棟で使用している住環境整備のための記録用紙の記入項目に関する検討. 東京作業療法, 3:36-42, 201502.
- 2) 石橋 裕, 橋本美芽, 長野博一: 非閉じこもり高齢者の身体的健康感、公共交通機関の利用状況、街づくりへの要望の関連性. 福祉のまちづくり研究, 17(1):A21-A30, 20150315.

Misc

- 1) 橋本美芽: 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会(他学会紹介). 福祉のまちづくり研究, 16(2): 41-42, 201407.
- 2) 橋本美芽: 住宅改修方法の基礎知識, はじめての住宅改修、入浴、トイレ～わが家をバリアフリーに～. 福祉機器 選び方・使い方:3-26, 201409.
- 3) 橋本美芽: SG 住まいづくり. リハビリテーション・エンジニアリング, 30(1):18, 201502.

講演・口頭発表等

- 1) Yu Ishibashi, Takashi Yamada, Norikazu Kobayashi, Mime Hashimoto, Kirsty Forsyth: Comparison of relationships between HRQOL, Aging, Occupational. 16th World Federation of Occupational Therapy Congress, 201406.
- 2) 澤田有希, 橋本美芽: 回復期リハビリテーション病棟で使用する住環境整備のための記録用紙の開発に関する研究. 日本作業療法学会抄録集, 201406.
- 3) 石橋 裕, 山田 孝, 小林法一, 橋本美芽, Kirsty Forsyth: 閉じこもり高齢者の健康関連 QOL・加齢・作業参加の関係性のタイプ別比較. 日本作業療法学会抄録集, 201406.
- 4) Kazuyoshi Wada, Koichi Nakagawa, Takayoshi Tanaka, Mime Hashimoto, Toshihiko Suzuki: Carrier Robot for Smart Variable Space? Its Concept and Prototype Development. IEEE/ASME International Conference on Advanced Intelligent Mechatronics, 201407.
- 5) 長野博一, 別府知哉, 橋本美芽, 石橋 裕, 藤井敬宏: 住民参画型バリアフリー施策の効果と影響に関する研究. 日本福祉のまちづくり学会, 201408.
- 6) 北野知裕, 橋本美芽, 別府知哉, 久保田直行: 災害発生時における情報弱者支援に関する実態調査 その2 自治体の情報管理と要援護者支援に配慮した情報提供の現状. 日本福祉のまちづくり学会, 201408.
- 7) 橋本美芽, 北野知裕, 別府知哉, 久保田直行: 災害発生時における情報弱者支援に関する実態調査 その1 自治体の要援護者の情報収集に関する現状. 日本福祉のまちづくり学会, 201408.
- 8) 太田智之, 橋本美芽: 福祉用具を活用した作業療法実践 2000 年～2012 年における作業療法学会の演題レビュー. 日本保健科学学会誌, 201409.

競争的資金等の研究課題

- 1) 橋本美芽: 東京都産業労働局 都市課題のための技術戦略プログラム, 技術開発プロジェクト研究「情報技術に基づく災害発生時対応支援用具の開発」, 201204-201503.

社会貢献活動

- 1) はじめての住宅改修．第 42 回国際福祉機器展，一般財団法人 保健福祉広報協会：201410．
- 2) 地域・自宅で生活をつづけるためは～安全と自立支援の住まいづくり～．練馬区パワーアップカレッジ，201502．

論文

- 1) Christie Newton, Lesley Bainbridge, Valerie Ball, Karyn D. Baum, Peter Bontje, Rosalie A. Boyce, Monica Moran, Barbara Richardson, Yumi Tamura, Don Uden, Susan J. Wagner, Victoria Wood: The health care team challenge™: Developing an international interprofessional education research collaboration. Nurse Education Today, 35:4-8, 20150101.
- 2) Peter Bontje, Eric Asaba, Staffan Josephsson: Strategies for elderly persons with physical disabilities. Scandinavian Journal of Caring Sciences: 20150101.

講演・口頭発表等

- 1) Miyamoto R, Green D, Kawamata H, Butler J, Bontje P: Qualitative research of clinical self-awareness through practical placement by the Nominal Group Technique. 16th International Congress of the World Federation of Occupational Therapists, Yokohama, Japan, 201406.
- 2) 宮本礼子, Green Dido, 川又寛徳, Butler Jenny, ボンジェ・ペイター: Nominal Group Technique による長期臨床実習を通じた批判的自己認識の国際比較. 日本作業療法学会抄録集, 201406.
- 3) BONTJE Peter, ASABA Eric, JOSEPHSSON Staffan: Managing uncertainty and disorder in everyday occupations of Japanese elderly with physical disabilities. 16th International Congress of the World Federation of Occupational Therapists, Yokohama, Japan, 201406.
- 4) 宮本礼子, ボンジェ・ペイター, 須山夏加, 伊藤祐子: 共分散構造分析を用いた日本版 Interaction with Disabled Persons Scale の構成概念妥当性の検討. 医学教育, 201407.
- 5) ボンジェ・ペイター: IPE カリキュラム開発の課題と可能性. リハビリテーションにおける多職種連携教育の到達点. 第27回教育研究大会・教員研修会、倉敷市, 20140821.
- 6) SANTOSO Tri Budi, OHSHIMA Nobuo, ITO Yuko, BONTJE Peter, HIDAKA Mikiyo: Resilience of Indonesian Mother with Autistic Children in Daily Occupation. 日本保健科学学会誌, 20140927.
- 7) ボンジェ・ペイター, 浅羽エリック, Alsaker Sissel, Kottorp Anders, Josephsson Staffan: 身体障害を有した高齢者における日常生活の展開過程 ケース・スタディ研究. 作業科学研究, 201412.

論文

- 1) 宮本礼子, 川又寛徳: Nominal Group Technique を用いた「作業療法学生 of 臨床実習適応能力の自己評価尺度案」の内容的妥当性および表面的妥当性の検討. 作業療法, 33(2):110-123, 201404.
- 2) 宮本礼子, 大嶋伸雄: 高次脳機能障害の理解度と実践能力に関する自己認識の関係性－作業療法学生を対象とした調査－. 日本保健科学学会誌, 17(2):201409.

講演・口頭発表等

- 1) 宮本礼子, Dido Green, 川又寛徳, Jenny Butler, ボンジェ ペイター: Nominal Group Technique による長期臨床実習を通じた批判的自己認識の国際比較. 第 16 回世界作業療法士連盟大会, 20140618.
- 2) 大嶋伸雄, 井上薫, 宮本礼子, Jenny Butler, Sally Feaver: 作業療法大学院生のための共同研究を基盤とした国際交流プログラムによる教育効果. 第 16 回世界作業療法士連盟大会, 20140619.
- 3) 宮本礼子, Dido Green, Jenny Butler, 須山夏加, 伊藤祐子: 臨床実習前後における作業療法学生の障害者・高齢者に対する態度の日英比較. 第 16 回世界作業療法士連盟大会, 20140619.
- 4) 宮本礼子, ボンジェ ペイター, 須山夏加, 伊藤祐子: 共分散構造分析を用いた日本版 Interaction with Disabled Persons Scale の構成概念妥当性の検討. 第 46 回日本医学教育学会大会(和歌山), 20140719.
- 5) 麓 文太, 石橋 裕, 宮本礼子: 多彩な高次脳機能障害を呈した一症例における AMPS と神経心理学的評価の経過. 北海道作業療法学会, 20140901.
- 6) 泉水宏臣, 妹尾淳史, 宮本礼子, 藤本敏彦, 永松俊哉: fMRI を用いた前部島皮質機能測定を試み. 第 69 回日本体力医学会大会, 20140919.

競争的資金等の研究課題

- 1) 宮本礼子: 文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究 C)「内省能力の変化が意思決定時の脳活動に及ぼす影響」, 201404-201703.
- 2) 石橋 裕: 首都大学東京 傾斜的研究費(若手奨励経費)「社会資源情報の共有を目的とした高齢者支援ホームページの包括的運営方法に関する研究」, 201404-201503.
- 3) 宮本礼子: 首都大学東京 平成 26 年度傾斜的研究費(部局競争的経費)「作業療法学生の自尊感情レベルによる実習適応能力の違いに関する縦断的研究－短期ならびに長期臨床実習前後の変化を通して－」, 201406-201503.

社会貢献活動

- 1) 一般社団法人 日本作業療法士協会 日本作業療法学会 学会演題査読委員
- 2) 日本保健科学学会 日本保健科学学会誌 査読委員
- 3) 東京都作業療法士会 東京都作業療法士会 学術誌「東京作業療法」査読委員
- 4) 東京都作業療法士会 東京都作業療法士会 学会演題査読委員
- 5) 作業遂行勉強会東京 作業遂行勉強会東京 監事
- 6) 豊島区障害者福祉課 心身障害者福祉センター 情報提供「高次脳機能障害」とは
- 7) 荒川区地域文化スポーツ部 知って得する生活のヒント 荒川コミュニティカレッジ講師

委員歴

- 1) 東京都作業療法士会学会 査読委員(2012 年 6 月～)
- 2) 作業遂行勉強会東京 監事(2012 年 4 月～)

論文

- 1) 澤田辰徳, 小川真寛, 友利幸之介, 斎藤祐樹, 石橋 裕: 20 世紀から 21 世紀にわたる日本の作業療法研究の推移－学術誌「作業療法」の論文タイトルにおけるテキストマイニング分析－. 日本臨床作業療法研究, 1(1):14-20, 201409.
- 2) 澤田辰徳, 小川真寛, 三木有香里, 渡邊祥平, 石橋 裕: 公共交通機関の利用練習の効果とその判定方法に関する作業療法士の認識－自由記載式アンケートの分析－. 作業療法, 33(6):508-516, 201412.
- 3) 石橋 裕, 橋本美芽, 長野博一: 非閉じこもり高齢者の身体的健康感、公共交通機関の利用状況、まちづくりへの要望の関連性. 17(1):21-30, 2015.
- 4) 石橋 裕, 山田 孝: 要支援者に対する作業質問紙を用いた作業療法の効果. 作業行動研究, 18(4):207-216, 201503.

著書

- 1) 吉川ひろみ, 斎藤さわ子: 作業療法がわかる COPM・AMPS 実践ガイド: 医学書院, 20140623.
- 2) 認知症をもつ人への作業療法アプローチ 視点・プロセス・理論: メジカルビュー社, 20140203.

講演・口頭発表等

- 1) Yu Ishibashi, Takashi Yamada, Norikazu Kobayashi, Mime Hashimoto Kirsty Forsyth: Comparison of relationships between HRQOL, Aging, Occupational participation among different type of homebound elderly. 16th World Federation of Occupational Therapy Congress, Yokohama, Japan. 201406.
- 2) Hitomi Ishibashi, Yoshikazu Ishii, Yu Ishibashi, Keishi Saruwatari, Chonhi Kin: Necessity and effectiveness of intervention to making up by occupational therapy. 16th World Federation of Occupational Therapy Congress, Yokohama, Japan. 201406.
- 3) 麓 文太, 石橋 裕, 宮本礼子: 多彩な高次脳機能障害を呈した一症例における AMPS と神経心理学的評価の経過. 第 45 回北海道作業療法学会, 札幌., 201410.

競争的資金等の研究課題

- 1) 石橋 裕: 文部科学省 科学研究費補助金(若手研究(B))「介護予防事業におけるサービス提供最適化のためのアルゴリズム開発」, 2014-2016.

放射線学科

論文

- 1) ショウラー恵, 西村まゆみ, 福田真希, 田中郁也, 臺野和広, 今岡達彦, 福士政広, 島田義也:放射線誘発ラット乳癌における遺伝子変異の解析. 乳癌基礎研究, 22:15-17, 201404.
- 2) 福士政広:【福島原発事故後から求められる医療関係者の放射線教育とは】 原発災害の反省から求められる放射線教育 診療放射線技師の放射線防護教育. 医療放射線防護 Newsletter, (70):24-29, 201407.
- 3) Kono Y, Tanaka R, Tsutsumida A, Yamazaki N, Kitamura H, Aso T, Kurihara H, Fukushi M:Sentinel lymph node mapping of melanoma using technetium-99m phytate by a hybrid single-photon emission computed tomography/computed tomography. The Journal of dermatology, 41(7):655-656, 201407.
- 4) Rawiwan Kritsanuwan, Sarata Kumar Sahoo, Masahiro Fukushi, Supitcha Chanyotha:Distribution of rare earth elements, thorium and uranium in Gulf of Thailand's sediments. Environmental Earth Sciences, 20140828.
- 5) Rawiwan Kritsanuwan, Sarata Kumar Sahoo, Masahiro Fukushi, Supitcha Chanyotha:Distribution of rare earth elements, thorium and uranium in Gulf of Thailand's sediments. Environmental Earth Sciences, 73:3361-3374, 20150101.
- 6) R. Kritsanuwan, R. Kritsanuwan, S. K. Sahoo, H. Arae, M. Fukushi:Distribution of ²³⁸U and ²³²Th in selected soil and plant samples as well as soil to plant transfer factors around Southern Thailand. Journal of Radioanalytical and Nuclear Chemistry, 303:2571-2577, 20150101.
- 7) Kazumasa Inoue, Masahiro Hosoda, Yoshitaka Shiroma, Masahide Furukawa, Masahiro Fukushi, Kazuki Iwaoka, Shinji Tokonami:Changes of ambient gamma-ray dose rate in Katsushika Ward, metropolitan Tokyo before and after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident. Journal of Radioanalytical and Nuclear Chemistry, 303:2159-2163, 20150101.
- 8) Rawiwan Kritsanuwan, Rawiwan Kritsanuwan, Rawiwan Kritsanuwan, Hideki Arae, Masahiro Fukushi, Sarata Kumar Sahoo, Supitcha Chanyotha:Natural radioactivity survey on soils originated from southern part of Thailand as potential sites for nuclear power plants from radiological viewpoint and risk assessment. Journal of Radioanalytical and Nuclear Chemistry, 305:487-499, 20150214.
- 9) Tsuruoka H, Inoue K, Sakano Y, Hamada M, Shimizu H, Fukushi M:Variation of radiocesium concentrations in cedar pollen in the Okutama area since the Fukushima Daiichi nuclear power plant accident. Radiation Protection Dosimetry: 2015.
- 10) Inoue K, Hosoda M, Fukushi M, Furukawa M, Tokonami S:Absorbed dose rate in air in metropolitan Tokyo before the Fukushima Daiichi Nuclear power plant accident. Radiation Protection Dosimetry: 2015.

著書

- 1) 第2種放射線取扱主任者試験 重要問題集中トレーニング. 5, メジカルビュー社, 2014.
- 2) 診療放射線技師 先手必勝! 弱点克服完全ガイド. メジカルビュー社, 2015.

- 1) 田口愛理, 前寺郁彦, 霍岡 大, 清水秀雄, 井上一雅, 福士政広: 99mTc-フチン酸を輸液で希釈することによる放射化学的純度に及ぼす影響. 日本放射線技術学会東京部会雑誌, (125):30-31, 201404.
- 2) 井上早紀, 前寺郁彦, 霍岡 大, 清水秀雄, 井上一雅, 福士政広, 成田浩人: クエン酸ガリウムシンチグラフィのコリメータ別による最適収集光電ピークの検討. 日本放射線技術学会東京部会雑誌, (125):30, 201404.
- 3) 本田理穂子, 前寺郁彦, 霍岡 大, 清水秀雄, 井上一雅, 福士政広, 成田浩人: 67Ga シンチグラフィにおけるコリメータ別最適 photopeak の検討. 日本放射線技術学会東京部会雑誌, (125):30, 201404.
- 4) 伊藤 希, 霍岡 大, 前寺郁彦, 福士政広, 井上一雅, 佐々木 徹, 佐藤 敬: クロスキャリブレーションの条件の違いが SUV に与える影響. 日本放射線技術学会東京部会雑誌, (125):29-30, 201404.
- 5) 前寺郁彦, 佐野亮介, 霍岡 大, 井上一雅, 福士政広, 桂田夏帆, 杉野雅人: 福島第一原発事故後における伊豆大島の環境放射線の推移 土壌核種濃度測定による. 日本放射線技術学会東京部会雑誌, (125):32-33, 201404.
- 6) 佐野亮介, 前寺郁彦, 霍岡 大, 井上一雅, 福士政広, 桂田夏帆, 杉野雅人: 伊豆大島の環境放射線の推移と島民への影響. 日本放射線技術学会東京部会雑誌, (125):32, 201404.
- 7) 依田隆史, 梅田 泉, 大貫和信, 濱道修生, 井上一雅, 福士政広, 藤井博史: センチネルリンパ節検索マルチモダルプローブ体内動態評価のための小動物 3 次元イメージングシステムの構築. 核医学, 51(3):298, 201409.
- 8) 三本拓也, 砂岡史生, 小山和也, 小高喜久雄, 幡野和男, 南本亮吾, 窪田和雄, 福士政広: 視覚フィードバック制御に基づいた 4D-PET/CT イメージングシステムの開発. 核医学, 51(3):313, 201409.
- 9) 三本拓也, 小山和也, 青木沙起, 山口麗美, 小高喜久雄, 幡野和男, 福士政広: 4D-PET データのみを使用した体動補正イメージングの検証. 核医学, 51(3):313, 201409.
- 10) 青木沙起, 三本拓也, 小山和也, 山口麗美, 小高喜久雄, 幡野和男, 津田啓介, 井上一雅, 福士政広: 4D-PET イメージングにおける位相限局法を用いた呼吸位相範囲の検討. 核医学技術, 34(予稿集):347, 201409.
- 11) 細川翔太, 井上一雅, 清水史紀, 青柳 俊, 根本幸一, 村松禎久, 福士政広: 粒子・重イオン輸送計算コードを用いた PET 収集における散乱フラクションの推定. 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 71 回:165, 201502.
- 12) 北村秀秋, 光野 譲, 井原完有, 麻生智彦, 井上一雅, 福士政広: センチネルリンパ節検査におけるモフォロジー演算を用いたアーチファクト低減に関する研究. 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 71 回:271, 201502.
- 13) Kiyomitsu Shinsho, Yasuyuki Kawaji, Yusuke Koba, Genichiro Wakabayashi, Kazuki Matsumoto, Hiroaki Ushiba, Masahiro Fukushima: X-ray large area detector using thermoluminescence properties of commercial ceramics. 2014 Symposium on Radiation Measurements and Applications, 201406.
- 14) Tsuda K, Koyama K, Takanashi T, Tsushima H, Kurashima S, Aoki S, Inoue K, Fukushi M, Fujii H: A new quantitative correction method for pulmonary nodules on chest FDG-PET. The 4th Annual International ASNMT Conference: 201411.
- 15) Inoue K, Hosoda M, Fukushi M, Furukawa M, Tokonami S: Absorbed Dose Rate in Air in Metropolitan Tokyo Before the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident. The 9th International Symposium on the Natural Radiation Environment: 201409.

- 16) Tsuruoka H, Inoue K, Sakano Y, Hamada M, Shimizu H, Fukushi M: Variation of Cesium Concentrations in Cedar Pollen at Okutama Area After the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident. The 9th International Symposium on the Natural Radiation Environment: 201409.
- 17) Shimizu H, Inoue K, Ishida K, Maedera F, Tsuruoka H, Fukushi M: Cesium Concentrations in shell of Japanese Mitten Crab Around the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant. The 9th International Symposium on the Natural Radiation Environment: 201409.
- 18) Maedera F, Inoue K, Sugino M, Sano R, Shimizu H, Tsuruoka H, Fukushi M: Natural Variation of Dose Rate in Air at Izu-Oshima Island After the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident. The 9th International Symposium on the Natural Radiation Environment: 201409.
- 19) Inoue K, Yoda T, Umeda IO, Ohnuki K, Hamamita S, Tsuda K, Fukushi M, Fujii H: Development of a Three-dimensional Small Animal Imaging System to Estimate Biodistribution of a Multi-modal Probe for Sentinel Lymph Node Mapping. 11th Congress of the World Federation of Nuclear Medicine and Biology: 201408.
- 20) 杉野雅人, 堀 謙太, 井上一雅, 福士政広: 伊豆大島における環境放射線(能)レベルの推移. 日本保健物理学会第 47 回研究発表会: 201406.
- 21) Tsuda K, Aoki S, Koyama K, Oku Y, Takeda A, Tsushima H, Mitsumoto T, Inoue K, Fukushi M, Fujii H: Experimental evaluation of the usefulness of chest FDG-PET acquisition under the tachypneic condition for pulmonary nodule detection. Society of Nuclear Medicine, 2014 Annual Meeting: 201406.
- 22) ショウラー恵, 西村まゆみ, 臺野和広, 今岡達彦, 福士政広, 島田義也: 放射線誘発ラット乳癌における遺伝子変異の解析. 第 57 回日本放射線影響学会大会. 201409.
- 23) Tsuda K, Aoki S, Koyama K, Oku Y, Takeda A, Tsushima H, Mitsumoto T, Inoue K, Fukushi M, Fujii H: Development of a Three-dimensional Small Animal Imaging System to Estimate Biodistribution of a Multi-modal Probe for Sentinel Lymph Node Mapping. 11th Congress of the World Federation of Nuclear Medicine and Biology. 201408.
- 24) 櫻井昇, 永川栄泰, 河原大吾, 眞正浄光, 福士政広, 小倉泉, 齋藤秀敏: 放射線イメージングデバイスの開発. 東京都立産業技術研究センター研究成果発表会要旨集. 111. 201406.
- 25) Kiyomitsu Shinsho, Yasuyuki Kawaji, Yusuke Koba, Genichiro Wakabayashi, Kazuki Matsumoto, Hiroaki Ushiba, Masahiro Fukushi: X-ray large area detector using thermoluminescence properties of commercial ceramics. 2014 Symposium on Radiation Measurements and Applications. 201406.
- 26) KATO Shinichi, NOBESAWA Tadamasa, SUGA Kazuo, OGAWA Masayuki, IMAO Masashi, FUKUSHI Masahiro: Constancy test of gamma-ray dose rate detectors. JSMP Supplement34. 78.201404.
- 27) NOBESAWA Tadamasa, SUGA Kazuo, KATO Shinichi, OGAWA Masayuki, IMAO Masashi, NAKAZATO Kazuhisa, NAKAYA Giichirou, FUKUSHI Masahiro, HASHIMOTO: Variation of radiation dose rate in Katsushika at fixed points. JSMP Supplement34. 77.201404.

競争的資金等の研究課題

- 1) 福士政広: 医建エンジニアリング株式会社「放射線防護素材に関する研究」, 201404-201503.
- 2) 福士政広: 文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「生物試料と深度分布測定を用いた河川の放射性セシウムの環境影響と人体影響の調査」, 2015-2017.
- 3) 福士政広: 平成 25 年度傾斜的研究費「福島第一原発事故の影響による小生物のセシウム汚染の調査研究」2015

受賞

- 1) ショウラー恵, 西村まゆみ, 臺野和広, 今岡達彦, 福士政広, 島田義也: 大会優秀発表賞 (ポスター発表部門). 放射線誘発ラット乳癌における遺伝子変異の解析. 日本放射線影響学会第57 回大会 2014.10.

その他

- 1) 福島第一原発事故を振り返って. 西東京市市民公開講座, 201406.
- 2) 福島原発事故による放射線・放射性物質の影響を考える. オープンユニバーシティ 公開講座, 201411.
- 3) 平成 26年度第 2 回都東京健康安全研究センタ ー環境保健衛生講習会. 西東京市市民公開講座, 201406.
- 4) 福士政広: 診療放射線技師の放射線防護教育. 医療放射線防護 70. 24-29. 2014.

論文

- 1) Hiroki Saitoh, Shinji Abe, Izumi Ogura, Yoh Katoh, Toru Negishi: Accuracy evaluation of a non-invasive measuring instrument for diagnostic X-ray equipment. J Jpn Health Sci, 17(1):43-50, 2014.
- 2) 小倉 泉, 安部真治, 根岸 徹, 齋藤祐樹: X線装置の日常管理を目的とした簡易形測定器システムの開発. 日本放射線技術学会雑誌, 70(12):1403-1412, 2014.
- 3) 佐藤伸彦, 齋藤祐樹, 宮園忠史, 高橋 勝, 根岸徹, 加藤 洋, 安部真治, 今井宜雄, 浅野 宏: 平成 22 年度診断用X線装置アンケート調査報告(撮影装置を中心に). 日本放射線技術学会雑誌, 70(12):1455-1462, 2014.
- 4) 小倉 泉, 山口達也, 乳井嘉之, 安部真治, 根岸 徹, 篠田之孝: ライン上状のレーザー光を用いた CT 装置の教育用模擬システムの構築. 日本保健科学学会誌, 17(4):208-217, 2015.

Misc

- 1) Tsuyoshi Kobayashi, Shinji Abe: Usefulness of the 1 shot measurement method for average glandular dose on Mammography domain, 18th International Society of Radiographers and Radiological Technologists World Congress, Helsinki, Finland. 2014.
- 2) Tsuyoshi Kobayashi, Shinji Abe, Toru Negishi, Hiroki Saito, Takuji Tsuchida: About usefulness of 1 Shot Measurement to Average glandular dose on mammography Quality Control. 日本放射線技術学会第 70 回総会学術大会予稿集:178, 2014.
- 3) 土田拓治, 安部真治, 小林 剛, 齋藤祐樹, 岡田智子, 城処洋輔, 富田博信: ファントム画像によるデジタルマンモグラフィシステム定量的品質管理の検討. 日本放射線技術学会第 70 回総会学術大会予稿集:180, 2014.
- 4) 齋藤祐樹, 小林 剛, 土田拓治, 安部真治, 小倉 泉, 根岸 徹: Web アプリケーションを用いたデジタルマンモグラフィ品質管理システムの構築. 日本放射線技術学会第 70 回総会学術大会予稿集:276, 2014.
- 5) 小倉 泉, 安部真治, 根岸 徹, 齋藤祐樹: 保健所における簡易形測定器を用いたX線装置の日常管理. 日本放射線技術学会第 70 回総会学術大会予稿集:322, 2014.
- 6) 青木友絵, 小倉 泉, 安部真治, 根岸 徹, 齋藤祐樹: 日常管理を目的とした管電圧計・線量計の試作. 日本放射線技術学会東京部会雑誌, 125:33, 2014.
- 7) 中川里穂, 安部真治, 小柳満季, 山本莉奈, 小林 剛, 根岸 徹, 土田拓治: 乳房撮影における乳腺割合と入射表面線量の検討. 日本放射線技術学会東京部会雑誌, 125:36, 2014.
- 8) 小柳満季, 安部真治, 山本莉奈, 中川里穂, 根岸 徹, 小林 剛, 土田拓治: 乳房用X線装置における測定位置による半価層・平均乳腺線量の検討. 日本放射線技術学会東京部会雑誌, 125:36, 2014.
- 9) 山本莉奈, 安部真治, 小倉 泉, 小柳満季, 中川里穂, 青木友絵, 齋藤祐樹, 根岸 徹: X線装置管理に用いるX線出力計の応用. 日本放射線技術学会東京部会雑誌, 125:37, 2014.

- 10) 安部真治, 小倉 泉, 山本莉奈, 小柳満季, 中川里穂, 青木友絵, 齋藤祐樹, 根岸 徹: 日常管理を目的とした簡易形線量計の開発. 日本放射線技術学会雑誌, 70(9)(第 42 回秋季学術大会プログラム):985, 2014.
- 11) 小倉 泉, 青木友絵, 安部真治, 根岸 徹, 齋藤祐樹: X線装置の日常管理を目的とした簡易形管電圧計の検討. 日本放射線技術学会雑誌, 70(9)(第 42 回秋季学術大会プログラム):985, 2014.
- 12) 安部真治, 小倉 泉, 齋藤祐樹, 根岸 徹, 加藤 洋: 非接続形測定器によるX線装置測定システムの構築. 日本放射線技術学会雑誌, 70(9)(第 42 回秋季学術大会プログラム):988, 2014.
- 13) 小林 剛, 安部真治, 根岸 徹, 齋藤祐樹, 土田拓治: 新たなターゲット/フィルタに対する 1Sot 平均乳腺線量の有用性について. 日本放射線技術学会雑誌, 70(9)(第 42 回秋季学術大会プログラム):1015, 2014.
- 14) 諸田智章, 椎葉公仁, 小谷野裕也, 宮園忠史, 落合幸一郎, 根岸 徹, 安部真治, 三宅博之: 乳房撮影領域における非接続形X線測定器の評価. 日本放射線技術学会雑誌, 70(9)(第 42 回秋季学術大会プログラム):1016, 2014.
- 15) 根岸 徹, 長島宏幸, 河原田泰尋, 林 則夫, 安部真治, 小倉 泉, 加藤 洋, 土田拓治: 乳房撮影に対応した半導体X線出力測定器の開発. 日本乳癌検診学会誌, 23(3):504, 2014.
- 16) 小林みちる, 沼倉幸子, 清水和美, 尾池真弓, 宮田治郎, 安部真治, 小倉 泉, 加藤 洋, 根岸 徹, 林 則夫: 自作半導体X線出力測定器を用いた日常管理に向けて: 運用開始前の評価. 日本乳癌検診学会誌, 23(3):505, 2014.
- 17) 小林 剛, 小山智美, 寺田正巳, 秋山 忍, 安部真治: マンモグラフィ品質管理における測定点の違いによる測定値の影響について. 日本乳癌検診学会誌, 23(3):505, 2014.
- 18) 根岸 徹, 長島宏幸, 柳田 智, 安部真治, 加藤 洋, 小倉 泉: Computed Radiography systemにおける撮影線量の適正化に関する基礎的検討. 日本放射線技術学会第 61 回関東部会研究発表大会プログラム抄録集:68, 2014.
- 19) 根岸 徹, 亀井雅史, 善女寺 梓, 山浦良太, 長島宏幸, 安部真治, 加藤 洋, 小倉 泉: 乳房用X線装置における practical peak voltage 測定に対応した非接続形X線測定器の検討. 日本放射線技術学会第 61 回関東部会研究発表大会プログラム抄録集:93, 2014.
- 20) 根岸 徹, 長島宏幸, 安部真治, 加藤 洋, 小倉 泉, 土田拓治, 坂本 肇: デジタル化した乳房用X線装置の基礎的検討. 日本放射線技術学会第 61 回関東部会研究発表大会プログラム抄録集:94, 2014.
- 21) 亀井雅史, 根岸 徹, 善女寺 梓, 山浦良太, 長島宏幸, 河原田泰尋, 安部真治, 小倉 泉: 半導体を用いたX線測定器の開発. 日本放射線技術学会第 61 回関東部会研究発表大会プログラム抄録集:109, 2014.
- 22) 橋本和也, 岡芹逸人, 宮田治郎, 安部真治, 小倉 泉, 加藤 洋, 根岸 徹, 林 則夫: 自作半導体X線出力測定器を用いた一般撮影装置の日常管理の検討. 日本放射線技術学会第 61 回関東部会研究発表大会プログラム抄録集:109, 2014.

競争的資金等の研究課題

- 1) 安部真治: 科学研究費補助金基盤研究(c), ヘリカルX線CT装置のレーザ光による教育用模擬装置と画像再構成システムの開発(分担).
- 2) 安部真治: 平成 26 年度首都大学東京傾斜的研究費(部局分), 東京都立病院におけるX線装置の日常管理システムの構築(分担).
- 3) 安部真治: 共同研究費(株式会社千代田テクノル), 放射線診断用 QA ツールの精度評価と改善に関する研究(代表)

受賞

- 1) 安部真治: 日本放射線技術学会平成 25 年度学術業績賞 川崎賞, 第 70 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2014.
- 2) 小倉 泉, 安部真治, 根岸 徹, 斎藤祐樹: 学術奨励賞, 東京都島しょ保健所における簡易形測定器を用いたX線装置の日常管理. 第 68 回東京部会春期学術大会, 2014.
- 3) 小倉 泉, 安部真治, 根岸 徹, 斎藤祐樹: 第 70 回日本放射線技術学会総会学術大会 Cypos 賞銀賞, 「保健所における簡易形測定器を用いたX線装置の日常管理」, 2014.
- 4) 小林 剛, 安部真治, 根岸 徹, 斎藤 祐樹, 土田拓治: 第 70 回日本放射線技術学会総会学術大会 Cypos 賞 銀賞, 「About usefulness of 1 Shot Measurement to Average glandular dose on mammography Quality Control」. 2014.

その他

- 1) 安部真治: 標準化フォーラム 医用画像部門における品質保証と機器の標準化. 日本放射線技術学会 第 70 回総会学術大会予稿集:125, 2014. 4. 12(総合司会)
- 2) 安部真治: 日本放射線技師会 診療放射線技師基礎技術講習会「一般撮影」(南関東地域) 2014. . 7. 13(講演)
- 3) 青木友絵, 小倉 泉, 安部真治, 根岸 徹, 斎藤祐樹: 日常管理を目的とした管電圧計・線量計の試作. 日本放射線技術学会東京部会雑誌(第 68 回東京部会春季学術大会後抄録), 126:54, 2014.
- 4) 中川里穂, 安部真治, 小柳満季, 山本莉奈, 小林 剛, 根岸 徹, 土田拓治: 乳房撮影における乳腺割合と入射表面線量の検討. 日本放射線技術学会東京部会雑誌(第 68 回東京部会春季学術大会後抄録), 126:62, 2014.
- 5) 小柳満季, 安部真治, 山本莉奈, 中川里穂, 根岸 徹, 小林 剛, 土田拓治: 乳房用X線装置における測定位置による半価層・平均乳腺線量の検討. 日本放射線技術学会東京部会雑誌(第 68 回東京部会春季学術大会後抄録), 126:63, 2014.
- 6) 山本莉奈, 安部真治, 小倉 泉, 小柳満季, 中川里穂, 青木友絵, 斎藤祐樹, 根岸 徹: X線装置管理に用いるX線出力計の応用. 日本放射線技術学会東京部会雑誌(第 68 回東京部会春季学術大会後抄録), 126:64, 2014.
- 7) 安部真治: 東京都立病院技師長主任会, 東京都立病院における診断用X線装置の精度管理技術の確立と支援(共同研究).

論文

- 1) 齋藤祐樹, 安部真治, 小倉 泉, 加藤 洋, 根岸 徹: 診断用 X 線装置における非接続形測定器の精度管理. 日本, 17(1):43-50, 201406.
- 2) 小倉 泉, 安部真治, 根岸 徹, 齋藤祐樹: X 線装置の日常管理を目的とした簡易形測定器システムの開発. 日本放射線技術学会雑誌, 70(12):1403-1412, 201412.
- 3) 小倉 泉, 山口達也, 乳井嘉之, 安部真治, 根岸 徹, 篠田之孝: ライン型レーザー光を用いたヘリカル CT 装置の教育用模擬システムの構築. 日本保健科学学会雑誌, 17(4):208-217, 201503.

講演・口頭発表等

- 1) 齋藤祐樹, 安部真治, 根岸 徹, 小倉 泉: Web アプリケーションを用いたデジタルマンモグラフィ品質管理システムの構築. 日本放射線技術学会第 70 回総会学術大会, 20140411.
- 2) 小倉 泉, 安部真治, 根岸 徹, 齋藤祐樹: 保健所における簡易形測定器を用いた X 線装置の日常管理. 日本放射線技術学会第 70 回総会学術大会, 20140413.
- 3) 安部真治, 小倉 泉, 根岸 徹, 齋藤祐樹: 非接続形測定器による X 線装置測定システムの構築. 日本放射線技術学会第 42 回秋季学術大会, 20141009.
- 4) 小倉 泉, 安部真治, 根岸 徹, 齋藤祐樹: X 線装置の日常管理を目的とした簡易形管電圧計の検討. 日本放射線技術学会第 42 回秋季学術大会, 20141009.
- 5) 安部真治, 小倉 泉, 根岸 徹, 齋藤祐樹: 日常管理を目的とした簡易形線量計の開発. 日本放射線技術学会第 42 回秋季学術大会, 20141013.
- 6) 山口達也, 小倉 泉, 乳井嘉之, 安部真治, 根岸 徹, 篠田之孝: レーザー光を用いた教育用模擬ヘリカル CT システムの検討. 平成 27 年電気学会全国大会, 20150320.

受賞

- 1) 小倉 泉: 日本放射線技術学会 第 70 回日本放射線技術学会総会学術大会銀賞「保健所における簡易形測定器を用いた X 線装置の日常管理」, 201404.
- 2) 小倉 泉, 安部真治, 根岸 徹, 齋藤弘樹: 日本放射線技術学会東京部会 学術奨励賞「東京都島しょ保健所における簡易形測定器を用いた X 線装置の日常管理」, 201405.

論文

- 1) Okamoto H, Fujita Y, Sakama K, Saitoh H, Kanai T, Itami J, Kohno T: Commissioning of 6 MV medical linac for dynamic MLC-based IMRT on Monte Carlo code GEANT4. Radiological physics and technology, 7(2):246-253, 201407.
- 2) Fujita Y, Myojoyama A, Saitoh H: Bremsstrahlung and photoneutron production in a steel shield for 15-22-MeV clinical electron beams. Radiation protection dosimetry, 163(2):148-159, 201502.

Misc

- 1) HARIU Masatsugu, MYOJOYAMA Atsushi, SAITOH Hidetoshi: THE BENCHMARK TEST OF A SIMULATION CODE FOR EPID IMAGE CONTRAST IMPROVEMENT USING EGS5. KEK Proc (Web), (2014-6):18-24 (WEB ONLY), 201410.

講演・口頭発表等

- 1) Hidetoshi Saitoh: Desirable application from a reviewer's standpoint. 第107回日本医学物理学会学術大会, 20140410.
- 2) 大坪圭介, 真正浄光, 古場裕介, 玉津早駿, 若林源一郎, 福田茂一, 川路康之, 齋藤秀敏: L線量計グロー曲線のLETおよび線量依存性. 第107回日本医学物理学会学術大会, 20140410.
- 3) 須田雄飛, 齋藤秀敏: コンプトン散乱光子を利用したリニアック X線のエネルギースペクトル取得に関する基礎的研究. 第107回日本医学物理学会学術大会, 20140410.
- 4) 明上山 温, 齋藤秀敏: EGS5におけるGUI環境の構築. 第107回日本医学物理学会学術大会, 20140410.
- 5) 谷 謙甫, 瀧本健二, 木藤哲史, 唐澤克之, 齋藤秀敏: 多列検出器型3次元線量検証システムの水吸収線量校正の検討. 第107回日本医学物理学会学術大会, 20140410.
- 6) 針生将嗣, 明上山 温, 齋藤秀敏: 3次元再構成画像を用いたコンプトン散乱補正によるEPID画像の改善. 第107回日本医学物理学会学術大会, 20140410.
- 7) 橋本慎平, 遠山尚紀, 石倉 聡, 藤田幸男, 齋藤秀敏, 唐澤 克之: 蛍光ガラス線量計を用いたIMRT線量計測の検討. 第107回日本医学物理学会学術大会, 20140410.
- 8) 水野統文, 遠藤春奈, 畑中星吾, 齋藤秀敏: 電子線照射における高原子番号物質近傍の線量評価. 第107回日本医学物理学会学術大会, 20140410.
- 9) 平井隆太, 河野良介, 松本真之介, 茂木佳菜, 堀田健二, 松崎有華, 木藤里恵, 秋元哲夫, 齋藤秀敏: 320列CBCT Volume ScanにおけるCT値の体軸方向位置依存性の検討. 第107回日本医学物理学会学術大会, 20140410.
- 10) 坂本岳士, 安達卓哉, 村上晋也, 池田郁夫, 齋藤秀敏: MVCBCTによる3次元体内線減弱係数分布再構成のための基礎的検討. 第107回日本医学物理学会学術大会, 20140410.
- 11) Norifumi Mizuno, Haruna Endo, Shogo Hatanaka, Hidetoshi Saitoh: A study of depth dose increase of soft tissue surrounding high atomic number material. 第7回 韓日医学物理合同学術大会, 20140925.
- 12) Masatsugu Hariu, Atsushi Myojoyama, Hidetoshi Saitoh: Improvement of image contrast by analyzing of Compton scattered photons impinged on EPID. 第7回 韓日医学物理合同学術大会, 20140925.

- 13) Yuhi Suda, Hidetoshi Saitoh: A study on energy spectrum of x-ray beam from a linac using NaI scintillation detector. 第7回 韓日医学物理合同学術大会, 20140925.

競争的資金等の研究課題

- 1) 齋藤秀敏: 文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「リニアック X 線による新たな電離箱線量計校正法と水吸収線量計測に関する研究」, 2014-2016.

論文

- 1) Okamoto H, Fujita Y, Sakama K, Saitoh H, Kanai T, Itami J, Kohno T: Commissioning of 6 MV medical linac for dynamic MLC-based IMRT on Monte Carlo code GEANT4. Radiological physics and technology, 7(2):246-253, 201407.
- 2) Fujita Y, Myojoyama A, Saitoh H: Bremsstrahlung and photoneutron production in a steel shield for 15-22-MeV clinical electron beams. Radiation protection dosimetry, 163(2):148-159, 201502.

Misc

- 1) HARIU Masatsugu, MYOJOYAMA Atsushi, SAITOH Hidetoshi: THE BENCHMARK TEST OF A SIMULATION CODE FOR EPID IMAGE CONTRAST IMPROVEMENT USING EGS5. KEK Proc (Web), (2014-6):18-24 (WEB ONLY), 201410.

講演・口頭発表等

- 1) Hidetoshi Saitoh: Desirable application from a reviewer's standpoint. 第107回日本医学物理学会学術大会, 20140410.
- 2) 大坪圭介, 真正浄光, 古場裕介, 玉津早駿, 若林源一郎, 福田茂一, 川路康之, 齋藤秀敏: L線量計グロー曲線のLETおよび線量依存性. 第107回日本医学物理学会学術大会, 20140410.
- 3) 須田雄飛, 齋藤秀敏: コンプトン散乱光子を利用したリニアック X線のエネルギースペクトル取得に関する基礎的研究. 第107回日本医学物理学会学術大会, 20140410.
- 4) 明上山 温, 齋藤秀敏: EGS5におけるGUI環境の構築. 第107回日本医学物理学会学術大会, 20140410.
- 5) 谷 謙甫, 瀧本健二, 木藤哲史, 唐澤克之, 齋藤秀敏: 多列検出器型3次元線量検証システムの水吸収線量校正の検討. 第107回日本医学物理学会学術大会, 20140410.
- 6) 針生将嗣, 明上山 温, 齋藤秀敏: 3次元再構成画像を用いたコンプトン散乱補正によるEPID画像の改善. 第107回日本医学物理学会学術大会, 20140410.
- 7) 橋本慎平, 遠山尚紀, 石倉 聡, 藤田幸男, 齋藤秀敏, 唐澤 克之: 蛍光ガラス線量計を用いたIMRT線量計測の検討. 第107回日本医学物理学会学術大会, 20140410.
- 8) 水野統文, 遠藤春奈, 畑中星吾, 齋藤秀敏: 電子線照射における高原子番号物質近傍の線量評価. 第107回日本医学物理学会学術大会, 20140410.
- 9) 平井隆太, 河野良介, 松本真之介, 茂木佳菜, 堀田健二, 松崎有華, 木藤里恵, 秋元哲夫, 齋藤秀敏: 320列CBCT Volume ScanにおけるCT値の体軸方向位置依存性の検討. 第107回日本医学物理学会学術大会, 20140410.
- 10) 坂本岳士, 安達卓哉, 村上晋也, 池田郁夫, 齋藤秀敏: MVCBCTによる3次元体内線減弱係数分布再構成のための基礎的検討. 第107回日本医学物理学会学術大会, 20140410.
- 11) Norifumi Mizuno, Haruna Endo, Shogo Hatanaka, Hidetoshi Saitoh: A study of depth dose increase of soft tissue surrounding high atomic number material. 第7回 韓日医学物理合同学術大会, 20140925.
- 12) Masatsugu Hariu, Atsushi Myojoyama, Hidetoshi Saitoh: Improvement of image contrast by analyzing of Compton scattered photons impinged on EPID. 第7回 韓日医学物理合同学術大会, 20140925.
- 13) Yuhi Suda, Hidetoshi Saitoh: A study on energy spectrum of x-ray beam from a linac using NaI scintillation detector. 第

7 回 韓日医学物理合同学術大会, 20140925.

競争的資金等の研究課題

- 1) 齋藤秀敏: 文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「リニアック X 線による新たな電離箱線量計校正法と水吸収線量計測に関する研究」, 2014-2016.

論文

- 1) Inoue K, Hosoda M, Shiroma Y, Furukawa M, Fukushi M, Iwaoka K, Tokonami S: Changes of ambient gamma-ray dose rate in Katsushika Ward, metropolitan Tokyo before and after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident. Journal of Radioanalytical and Nuclear Chemistry, 303:2159-2163, 201501.
- 2) Tsuruoka H, Inoue K, Sakano Y, Hamada M, Shimizu H, Fukushi M: Variation of radiocesium concentrations in cedar pollen in the Okutama area since the Fukushima Daiichi nuclear power plant accident. Radiation Protection Dosimetry: 2015.
- 3) Inoue K, Hosoda M, Fukushi M, Furukawa M, Tokonami S: Absorbed dose rate in air in metropolitan Tokyo before the Fukushima Daiichi Nuclear power plant accident. Radiation Protection Dosimetry: 2015.
- 4) Inoue K, Gibbs SL, Liu F, Lee JH, Xie Y, Ashitate Y, Fujii H, Frangioni JV, Choi HS: Microscopic validation of macroscopic in vivo images enabled by same-slide optical and nuclear fusion. Journal of nuclear medicine: official publication, Society of Nuclear Medicine, 55(11):1899-1904, 201411.

著書

- 1) 診療放射線技師 先手必勝! 弱点克服完全ガイド. メジカルビュー社, 20141225.
- 2) 第2種放射線取扱主任者試験 重要問題集中トレーニング. メジカルビュー社, 20140801.

Misc

- 1) 北村秀秋, 光野 譲, 井原完有, 麻生智彦, 井上一雅, 福士政広: センチネルリンパ節検査におけるモフォロジー演算を用いたアーチファクト低減に関する研究. 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 71回:271, 201502.
- 2) 細川翔太, 井上一雅, 清水史紀, 青柳 俊, 根本幸一, 村松禎久, 福士政広: 粒子・重イオン輸送計算コードを用いたPET収集における散乱フラクションの推定. 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 71回:165, 201502.
- 3) Tsuda K, Koyama K, Takanashi T, Tsushima H, Kurashima S, Aoki S, Inoue K, Fukushi M, Fujii H: A new quantitative correction method for pulmonary nodules on chest FDG-PET. The 4th Annual International ASNMT Conference: 201411.
- 4) 前寺郁彦, 佐野亮介, 霍岡 大, 井上一雅, 福士 政広, 桂田夏帆, 杉野雅人: 福島第一原発事故後における伊豆大島の環境放射線の推移 土壌核種濃度測定による. 日本放射線技術学会東京部会雑誌, (126):53, 201410.
- 5) 佐野亮介, 前寺郁彦, 霍岡 大, 井上一雅, 福士政広, 桂田夏帆, 杉野雅人: 伊豆大島の環境放射線の推移と島民への影響. 日本放射線技術学会東京部会雑誌, (126):52, 201410.
- 6) 田口愛理, 前寺郁彦, 霍岡 大, 清水秀雄, 井上一雅, 福士政広: ^{99m}Tc -フチン酸を輸液で希釈することによる放射化学的純度に及ぼす影響. 日本放射線技術学会東京部会雑誌, (126):48, 201410.
- 7) 井上早紀, 前寺郁彦, 霍岡 大, 清水秀雄, 井上一雅, 福士政広, 成田浩人: クエン酸ガリウムシンチグラフィのコリメータ別による最適収集光電ピークの検討. 日本放射線技術学会東京部会雑誌, (126):47, 201410.

- 8) 本田理穂子, 前寺郁彦, 霍岡 大, 清水秀雄, 井上一雅, 福士政広, 成田浩人:⁶⁷Ga シンチグラフィにおけるコリメータ別最適 photo-peak の検討. 日本放射線技術学会東京部会雑誌, (126):46, 201410.
- 9) 伊藤 希, 霍岡 大, 前寺郁彦, 井上一雅, 福士政広, 佐藤 敬, 佐々木 徹:クロスキャリブレーションの条件の違いが SUV に与える影響. 日本放射線技術学会東京部会雑誌, (126):45, 201410.
- 10) 細田正洋, 井上一雅, 岡光 昭, 大森康孝, 反町篤行, 石川徹夫, 谷地優紀, 岩岡和輝, 床次眞司:青森県の空間放射線量分布. 日本放射線影響学会第 57 回大会:201410.
- 11) 青木沙起, 三本拓也, 小山和也, 山口麗美, 小高喜久雄, 幡野和男, 津田啓介, 井上一雅, 福士政広:4D-PET イメージングにおける位相限局法を用いた呼吸位相範囲の検討. 核医学技術, 34(予稿集):347, 201409.
- 12) 依田隆史, 梅田 泉, 大貫和信, 濱道修生, 井上一雅, 福士政広, 藤井博史:センチネルリンパ節検索マルチモダルプローブ体内動態評価のための小動物 3 次元イメージングシステムの構築. 核医学, 51(3):298, 201409.
- 13) Inoue K, Hosoda M, Fukushi M, Furukawa M, Tokonami S:Absorbed Dose Rate in Air in Metropolitan Tokyo Before the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident. The 9th International Symposium on the Natural Radiation Environment: 201409.
- 14) Tsuruoka H, Inoue K, Sakano Y, Hamada M, Shimizu H, Fukushi M:Variation of Cesium Concentrations in Cedar Pollen at Okutama Area After the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident. The 9th International Symposium on the Natural Radiation Environment: 201409.
- 15) Shimizu H, Inoue K, Ishida K, Maedera F, Tsuruoka H, Fukushi M:Cesium Concentrations in shell of Japanese Mitten Crab Around the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant. The 9th International Symposium on the Natural Radiation Environment:201409.
- 16) Maedera F, Inoue K, Sugino M, Sano R, Shimizu H, Tsuruoka H, Fukushi M:Natural Variation of Dose Rate in Air at Izu-Oshima Island After the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident. The 9th International Symposium on the Natural Radiation Environment:201409.
- 17) Inoue K, Yoda T, Umeda IO, Ohnuki K, Hamamiti S, Tsuda K, Fukushi M, Fujii H:Development of a Three-dimensional Small Animal Imaging System to Estimate Biodistribution of a Multi-modal Probe for Sentinel Lymph Node Mapping. 11th Congress of the World Federation of Nuclear Medicine and Biology: 201408.
- 18) 杉野雅人, 堀謙太, 井上一雅, 福士政広:伊豆大島における環境放射線(能)レベルの推移. 日本保健物理学会第 47 回研究発表会: 201406.
- 19) Tsuda K, Aoki S, Koyama K, Oku Y, Takeda A, Tsushima H, Mitsumoto T, Inoue K, Fukushi M, Fujii H:Experimental evaluation of the usefulness of chest FDG-PET acquisition under the tachypneic condition for pulmonary nodule detection. Society of Nuclear Medicine, 2014 Annual Meeting:201406.
- 20) 前寺郁彦, 佐野亮介, 霍岡 大, 井上一雅, 福士政広, 桂田夏帆, 杉野雅人:福島第一原発事故後における伊豆大島の環境放射線の推移 土壌核種濃度測定による. 日本放射線技術学会東京部会雑誌, (125):32-33, 201404.
- 21) 佐野亮介, 前寺郁彦, 霍岡 大, 井上一雅, 福士政広, 桂田夏帆, 杉野雅人:伊豆大島の環境放射線の推移と島民への影響. 日本放射線技術学会東京部会雑誌, (125):32, 201404.

- 22) 田口愛理, 前寺郁彦, 霍岡 大, 清水秀雄, 井上一雅, 福士政広:^{99m}Tc-フチン酸を輸液で希釈することによる放射化学的純度に及ぼす影響. 日本放射線技術学会東京部会雑誌, (125):30-31, 201404.
- 23) 井上早紀, 前寺郁彦, 霍岡 大, 清水秀雄, 井上一雅, 福士政広, 成田浩人:クエン酸ガリウムシンチグラフィのコリメータ別による最適収集光電ピークの検討. 日本放射線技術学会東京部会雑誌, (125):30, 201404.
- 24) 本田理穂子, 前寺郁彦, 霍岡 大, 清水秀雄, 井上一雅, 福士政広, 成田浩人:⁶⁷Ga シンチグラフィにおけるコリメータ別最適 photopeak の検討. 日本放射線技術学会東京部会雑誌, (125):30, 201404.
- 25) 伊藤 希, 霍岡 大, 前寺郁彦, 福士政広, 井上一雅, 佐々木 徹, 佐藤 敬:クロスキャリブレーションの条件の違いが SUV に与える影響. 日本放射線技術学会東京部会雑誌, (125):29-30, 201404.

競争的資金等の研究課題

- 1) 井上一雅:文部科学省 科学研究費補助金(若手研究(B))「複合分子イメージングを駆使したセンチネルリンパ節同定検査の確立」, 2014-2016.
- 2) 井上一雅:財団法人がん研究振興財団 がん研究助成金「術前・術中センチネルリンパ節同定検査の統合を目的とした多機能分子プローブの開発」, 201404. -201503.

著書

- 1) 大谷浩樹:放射性物質対策技術 -除去、モニタリング、装置・システム開発. 2, 139-144:株式会社エヌ・ティー・エス, 201502.

Misc

- 1) 大谷浩樹:心理放射能学で考えてみたら. 日本化学技術振興財団 放射線教育支援サイト「らでい」, : 201407.
- 2) 大谷浩樹:「環境汚染物質の飛散を防ぐ遮蔽石および遮蔽アスファルトの有用性」報告書. 平成 26 年度荒川区地域産業活性化研究補助金:201503.

講演・口頭発表等

- 1) 大谷浩樹:高分子ポリマーを用いた浸透固着法による放射性汚染水の除染処理. 第 107 回日本医学物理学会学術大会, 201404.
- 2) 大谷浩樹:Development of the non-permeating shield stone to the radioactive material in environment. . The Fourth Asian and Oceanic Congress on Radiation Protection (AOCRP-4), 201405.
- 3) 大谷浩樹:除染のためのホタテブロックの開発と実証試験. 日本保健物理学会 第 47 回研究発表会, 201406.
- 4) 大谷浩樹:The concept of the mental radioactivity science for radiation medical treatment. . ISRRT, 201406.
- 5) 大谷浩樹:環境汚染物質に対する非浸透遮蔽石の開発と有用性. 第 6 回施策提案発表会, 201407.
- 6) 大谷浩樹:フルボ酸を用いた土壌の放射能濃度低減に関する研究. 第 3 回環境放射能除染研究発表会, 201407.
- 7) 大谷浩樹:Isolation of the radioactive contamination part using radiation shield putty. 7th Korea-Japan Meeting on Medical Physics, 201409.
- 8) 大谷浩樹:X 線 CT における体表臓器の遮蔽防護材の検討. 日本放射線技術学会 秋季学術大会, 201410.
- 9) 大谷浩樹:The medical system of radiation exposure in Japan. International RT Service Move Forum and International Competition Day for RT Students, 201410.
- 10) 大谷浩樹:Development and examination of the protection material of RI for medical treatments using putty. 14th Asia-Oceania Congress of Medical Physics (AOCMP2014), 201410.

競争的資金等の研究課題

- 1) 大谷浩樹:東京都荒川区 平成 26 年度荒川区地域産業活性化研究補助金「環境汚染物質の飛散を防ぐ遮蔽石および遮蔽アスファルトの有用性」, 201404-201503.

社会貢献活動

- 1) 研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)委員:独立行政法人科学技術振興機構, 201404-201503.
- 2) 資源エネルギー庁委託事業「教育セミナー」委員:日本原子力文化財団, 201404-201503.
- 3) 「統一的な基礎資料改訂検討委員会」委員:環境省 原子力災害影響調査等事業, 201404-201503.
- 4) 放射線に関する教職員セミナー及び出前授業実施事業審査委員:文部科学省, 201404-201503.
- 5) 平成 27 年度原子力発電施設広聴・広報等事業(NPO 等活動整備)委員:資源エネルギー庁, 201404-201503.
- 6) 知ることから始めよう放射線のいろいろ:文部科学省・世田谷区立桜丘中学校, 20141014 .
- 7) 科学の分野からひとり歩きを始めた放射能:大塚中野女子中学・高等学校 保護者セミナー講習会, 20140920-20140920.
- 8) 知ることから始めよう放射線のいろいろ:文部科学省・八王子市立中山中学校, 20150227 .
- 9) 中学校理科教育における放射線教育の課題とは:日本教育新聞特集座談会, 20150204 -20150204.

論文

- 1) Hiroki Saitoh, Shinji Abe, Izumi Ogura, Yoh Katoh, Toru Negishi: Accuracy evaluation of a non-invasive measurement for diagnostic X-ray equipment. 日本保健科学学会, 17(1):43-50, 201406.
- 2) 佐藤伸彦, 齋藤祐樹, 宮園忠文, 高橋 勝, 根岸 徹, 加藤 洋, 安部真治, 今井宜雄, 浅野 宏: 平成 22 年度診断用 X 線装置アンケート調査報告 (撮影装置を中心に). 日本放射線技術学会雑誌, 70(12):1455-1462 (J-STAGE), 201412.

Misc

- 1) SAITOH Hiroki, ABE Shinji, OGURA Izumi, KATOH Yoh, NEGISHI Toru: Accuracy evaluation of a non-invasive measuring instrument for diagnostic X-ray equipment. 日本保健科学学会誌, 17(1):43-50, 20140625.
- 2) 関本道治, 加藤 洋, 加藤二久, 矢野敬一: 測定対象外 X 線エネルギーで線量測定を可能にする線量計校正の検討. 日本放射線技術学会雑誌, 70(9):984, 20140920.
- 3) 安部真治, 小倉 泉, 齋藤祐樹, 根岸 徹, 加藤 洋: 非接続形測定器による X 線装置測定システムの構築. 日本放射線技術学会雑誌, 70(9):988, 20140920.
- 4) 栗山 和, 庄司友和, 梁野信貴, 飯嶋 恵, 安藤俊弘, 柴田公望, 加藤 洋: 自作小児体幹部ファントムを用いた SSDE の評価. 日本放射線技術学会雑誌, 70(9):1037, 20140920.
- 5) 梁野伸貴, 庄司友和, 栗山和, 加藤 洋, 飯嶋 恵, 安藤俊弘, 柴田公望: 自作ファントムを用いた小児胸部 CT 検査における線量低減係数表の作成. 日本放射線技術学会雑誌, 70(9):1037, 20140920.
- 6) 後藤里加, 庄司友和, 飯嶋 恵, 栗山 和, 梁野伸貴, 安藤俊弘, 柴田公望, 加藤 洋: 小児体幹部撮影条件の最適化—テンプレートマッチング手法を用いた画像評価法の開発—. 日本放射線技術学会東京部会雑誌, (126):20, 20141020.
- 7) 根岸 徹, 長島宏幸, 河原田泰尋, 林 則夫, 安部真治, 小倉 泉, 加藤 洋, 土田拓治: 乳房撮影領域に対応した半導体 X 線出力測定器の開発. 日本乳癌検診学会誌, 23(3):504, 20141020.
- 8) 小林みちる, 沼倉幸子, 清水知美, 尾池真弓, 宮田治郎, 安部真治, 小倉 泉, 加藤 洋, 根岸 徹, 林 則夫: 自作半導体 X 線出力測定器を用いた日常精度管理における: 運用開始前の評価. 日本乳癌検診学会誌, 23(3):505, 20141020.
- 9) SEKIMOTO Michiharu, KATOH Yoh, KATOH Tsuguhisa: A Fluorescence Analysis to Evaluate Materials Used in Semiconductor Dosimeters. 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 71st:200, 20150228.

競争的資金等の研究課題

- 1) 中生勝美: 文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究 C)「台湾南部の津波とセーフティネットの基礎研究」, 2014-2016.

受賞

- 1) 加藤 洋: 日本放射線技術学会 技術奨励賞, 201404.

著書

- 1) 眞正浄光:放射性物質対策～除去、モニタリング、装置・システム開発～. 9, (株)エヌ・ティー・エス, 201502.

Misc

- 1) 眞正浄光, 古場裕介, 玉津早駿, 福田茂一, 若林源一郎, 川路康之, 大坪圭介, CHANG W., 松藤成弘:熱蛍光板状線量計による重粒子線の線量と線質分布に関する研究. NIRS-M (Natl Inst Radiol Sci), (273):260-261, 201410.
- 2) 鷺尾知也, 若林源一郎, 納富昭弘, 眞正浄光, 古場裕介:重粒子線照射場における CsI(Tl)シンチレータの放射化. 応用物理学会春季学術講演会講演予稿集(CD-ROM), 62nd():ROMBUNNO. 12A-P1-21-, 20150226.
- 3) 大坪圭介, 眞正浄光, 古場裕介, 若林源一郎:熱蛍光素子 BeO:Na(UD-170A)のグロー成分解析と線量依存性の検討. 応用物理学会春季学術講演会講演予稿集(CD-ROM), 62nd():ROMBUNNO. 12A-P2-6-, 20150226.
- 4) 叶井絵梨, 神野郁夫, 山下良樹, 小川剛史, 眞正浄光:第三世代コンピュータ断層撮影に対応する電流測定・エネルギー分解 X 線検出器の開発. 応用物理学会春季学術講演会講演予稿集(CD-ROM), 62nd:ROMBUNNO. 12A-P2-4-, 20150226.

講演・口頭発表等

- 1) 大坪圭介, 眞正浄光, 古場裕介, 玉津早駿, 若林源一郎, 福田茂一, 川路康之, 齊藤秀敏:TL 線量計グロー曲線の LET および線量依存性. 第 107 回日本医学物理学会学術大会, 20140412.
- 2) 玉津早駿, 古場裕介, 眞正浄光, 福田茂一:組織等価ファントム熱蛍光スラブ線量計(TEP-TLSD)を用いた治療用炭素線の線量分布測定法に関する研究. 第 107 回日本医学物理学会学術大会, 20140412.
- 3) 川路康之, 眞正浄光, 古場裕介, 玉津早駿, 若林源一郎, 福田茂一:組織等価熱蛍光スラブ線量計システムの解像特性. 第 107 回放射線医学物理学会総会, 20140412.
- 4) 眞正浄光:組織等価型 TL スラブ線量計による炭素線イメージング. 第 57 期 大洗研究所 研究報告会, 20140530.
- 5) Kiyomitsu Shinsho, Yasuyuki Kawaji, Yusuke Koba, Genichiro Wakabayashi, Kazuki Matsumoto, Hiroaki Ushiba, Masahiro Fukushi:X-ray large area detector using thermoluminescence properties of commercial ceramics. 2014 Symposium on Radiation Measurements and Applications, 20140610.
- 6) 櫻井 昇, 永川栄泰, 河原大吾, 眞正浄光, 福士政広, 小倉 泉, 齋藤秀敏:放射線イメージングデバイスの開発. 東京都立産業技術研究センター研究成果発表会要旨集, 20140619.
- 7) 鷺尾知也, 若林源一郎, 納富昭弘, 眞正浄光, 古場裕介:Csl シンチレータの放射化による重粒子線治療場における熱中性子束の測定. 応用物理学会放射線分科会 第26回放射線夏の学校, 20140805.

- 8) 神野郁夫, 山下良樹, 小川剛史, 叶井絵梨, 北原 理, 真正浄光, 大高雅彦, 橋本 周, 荒 邦章, 尾鍋秀明: 平面検出器を用いたエネルギー分解 X 線コンピュータ断層撮影法. 日本原子力学会秋の大会予稿集(CD-ROM), 20140822.
- 9) Yusuke Koba, Kiyomitsu Shinsho, Chie Koyama, Wakabayashi Genichiro, Shigekazu Fukuda: The Thermoluminescence Efficiency of Alumina-Based Ceramic Plate Dosimeter to Carbon-Ion Beams. The 7th Korea-Japan Joint Meeting on Medical Physics, 201409.
- 10) 大島梨奈, 真正浄光, 古場裕介, 若林源一郎, 松本和樹, 牛場洋明: Al₂O₃ セラミックス板の熱蛍光潜像現象. 応用物理学会秋季学術講演会講演予稿集(CD-ROM), 20140901.
- 11) 柳澤 伸, 真正浄光, 古場裕介, 原田和正: 軽量セラミックス基盤組織等価型熱蛍光スラブ線量計の画像特性の向上. 応用物理学会秋季学術講演会講演予稿集(CD-ROM), 20140901.
- 12) 小山千絵, 真正浄光, 大坪圭介, 古場裕介, 福田茂一, 若林源一郎, 松本和樹, 牛場洋明: Al₂O₃ セラミックス板の X 線と Ne 線に対する熱蛍光の線量応答性. 応用物理学会秋季学術講演会講演予稿集(CD-ROM), 20140901.
- 13) 齋藤雄介, 真正浄光, 古場裕介, 若林源一郎, 松本和樹, 牛場洋明: α 線に対する Al₂O₃ セラミックス板の熱蛍光特性. 応用物理学会秋季学術講演会講演予稿集(CD-ROM), 20140901.
- 14) 大坪圭介, 真正浄光, 古場裕介, 福田茂一, 若林源一郎: 熱蛍光素子 BeO(UD-170A)のグロー曲線の線量依存性と成分解析. 応用物理学会秋季学術講演会講演予稿集(CD-ROM), 20140901.
- 15) 真正浄光: 放射線イメージングデバイスの開発. 都市課題解決技術戦略プログラム普及セミナー, 20140920.
- 16) 叶井絵梨, 神野郁夫, 山下良樹, 小川剛史, 真正浄光: 第三世代コンピュータ断層撮影に対応する電流測定・エネルギー分解 X 線検出器の開発. 応用物理学会春季学術講演会講演予稿集(CD-ROM), 20150226.
- 17) 大坪圭介, 真正浄光, 古場裕介, 若林源一郎: 熱蛍光素子 BeO:Na(UD-170A)のグロー成分解析と線量依存性の検討. 応用物理学会春季学術講演会講演予稿集(CD-ROM), 20150226.
- 18) 鷲尾知也, 若林源一郎, 納富昭弘, 真正浄光, 古場裕介: 重粒子線照射場における CsI(Tl)シンチレータの放射化. 応用物理学会春季学術講演会講演予稿集(CD-ROM), 20150226.
- 19) 真正浄光: Activation of CsI(Tl) Scintillator at Heavy-ion Irradiation Field. 第 10 回 放射線モニタリングに係る国際ワークショップ, 20150228.

競争的資金等の研究課題

- 1) 真正浄光: 文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「板状熱蛍光線量計による新しい中性子オートラジオグラフィ法の開発」, 2013-2016.

特許

- 1) 真正浄光: 特許第 5692883 号「熱蛍光体、及び熱蛍光放射線検出デバイス」公立大学法人首都大学東京, 株式会社千代田テクノ, 20150213.

その他

- 1) 応用物理学会 放射線分科会幹事, 201404-.

講演・口頭発表等

- 1) 関根紀夫, 長又 新: 拡張現実(AR)の撮影実習への応用方法の検討. 第 8 回日本診療放射線学教育学会学術集会, p.5(東京), 20140801.
- 2) 関根紀夫, 森 浩一, 大久保知幸, 小原弘道: 放射光 X 線を用いた屈折コントラスト法による肝臓血管の描写, 第 24 回日本保健科学学会学術集会, 20140927

受賞

- 1) 大久保知幸, 森 浩一, 和田野安良, 川波公香, 橘 香織, 清水如代, 関根紀夫: 第6回日本保健科学学会優秀賞「X 線 CT 画像を用いた有限要素解析による腰椎圧迫骨折のリスク予測」

著書

- 1) 菊池吉晃, 妹尾淳史, 安保雅博, 渡邊 修, 米本 恭三: SPM8 脳画像解析マニュアル: fMRI, 拡散テンソルへの応用 第2刷, 医歯薬出版, 201404.

Misc

- 1) 後藤圭介, 池田由美, 松田雅光, 渡邊 塁, 来間弘展, 妹尾淳史: 機能的 MRI を用いた運動性認知課題施行時の脳神経活動の分析. 日本理学療法学会大会(Web), 49th: 0458(J-STAGE), 201405.
- 2) 松田雅弘, 新田 収, 白谷智子, 後藤圭介, 渡邊 塁, 妹尾淳史, 渡邊 修: 身体的・精神的 QOL の違いが物理的ストレス時の脳活動に及ぼす影響—機能的 MRI による分析—. 日本理学療法学会大会(Web), 49th: 0462(J-STAGE), 201405.
- 3) 平野和宏, 木下一雄, 妹尾淳史, 渡辺 賢: 骨格筋の活動状態を評価するための適切な TR(repetition time) 値の検討. 体力科学, 63(3): 367, 20140601.
- 4) 錦織 瞭, 鎌形康司, 波田野琢, 奥住文美, 堀正明, 鈴木通真, 濱崎 望, 佐藤秀二, 服部信孝, 青木茂樹, 妹尾淳史: パーキンソン病における黒質線条体ドパミン作動性ニューロン投射モデルと拡散定量値の関係. 日本磁気共鳴医学会雑誌, 34: 348, 201409.
- 5) 古河勇樹, 吉田学誉, 湯田恒平, 妹尾淳史, 河内伸夫: Vascular Crusher を利用した Multi-phase-EPISTAR の基礎的検討. 日本磁気共鳴医学会雑誌, 34: 294-, 201409.
- 6) 鶴田航平, 錦織 瞭, 堀 正明, 野尻龍二, 増谷佳孝, 青木茂樹, 妹尾淳史: 拡散 MRI を用いた脳腫瘍における tissue characterization の試み: 各組織の拡散定量値の voxel-by-voxel study. 日本磁気共鳴医学会雑誌, 34: 350, 201409.
- 7) 妹尾淳史, 山田昌久, 鈴木伸哉, 大山幹成, 森 美加, 高島 大, 諏訪 亨: 臨床用 MR 装置を利用した考古学分野への応用—木材の年輪年代計測—. 日本磁気共鳴医学会雑誌, 34: 420, 201409.
- 8) 和田一義, 安藤亮太, 井上 薫, 妹尾淳史, 木下正信: ロボットと動物との触れ合い活動前後における比較—第二報: 男性における調査結果—. 日本ロボット学会学術講演会予稿集(CD-ROM), 32nd: ROMBUNNO. 2E1-06, 20140904.
- 9) 佐野雄一郎, 妹尾淳史, 寺島正浩, 小山 望, 佐々木 毅, 稲本英樹, 宇佐知里郁: MRI による心臓周囲脂肪の定量化. 日本放射線技術学会雑誌, 70(9): 958, 20140920.
- 10) 錦織 瞭, 鎌形康司, 波多野 琢, 佐藤秀二, 濱崎 望, 芳士戸治義, 青木茂樹, 妹尾淳史: diffusional kurtosis imaging 及び neurite orientation dispersion and density imaging による Parkinson's disease(PD) 神経変性の評価. 日本放射線技術学会雑誌, 70(9): 1044, 20140920.
- 11) 泉水宏臣, 妹尾淳史, 宮本礼子, 藤本敏彦, 永松俊哉: fMRI を用いた前部島皮質機能測定を試み. 体力科学, 63(6): 543, 20141201.
- 12) 古河勇樹, 吉田学誉, 河内伸夫, 妹尾淳史, 佐藤博明: Vascular Crusher を付加した Arterial Spin Labeling の臨床評価. 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 71st: 250, 20150228.
- 13) 福永一星, 堀 正明, 妹尾淳史, 芳士戸治義, 青木茂樹: 拡散尖度画像法: 基礎と臨床応用. 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 71st: 99-, 20150228.

Misc

- 1) 山口達也, 小倉 泉, 乳井嘉之, 安部真治, 根岸 徹, 篠田之孝:レーザー光を用いた教育用模擬ヘリカル CT システムの検討. 電気学会全国大会講演論文集(CD-ROM), 2015:ROMBUNNO. 1-006-, 20150305.
- 2) 小倉 泉, 山口達也, 乳井嘉之:ライン型レーザー光を用いたヘリカル CT 装置の教育用模擬システムの構築. 日本保健科学学会誌, 17(4):208-217, 20150325.
- 3) 山口達也, 小倉 泉, 乳井嘉之, 安部真治, 根岸 徹, 篠田之孝:レーザー光を用いたヘリカル CT 装置の教育用模擬実験システムの検討. 電気学会基礎・材料・共通部門大会講演論文集(CD-ROM), 2014:ROMBUNNO. 21-C-A1-4-, 20140821.

論文

- 1) Numano T, Mizuhara K, Hata J, Washio T, Homma K: A simple method for MR elastography: a gradient-echo type multi-echo sequence. Magnetic resonance imaging, 33:31-37, 201501.

Misc

- 1) 新田尚隆, 兵藤行志, 三澤雅樹, 森田俊之, 沼野智一, 本間一弘, 藤原タ子, 星 和人, 高戸 毅: 超音波と MRI を用いたマルチモダリティ法による再生軟骨の非侵襲音速測定. 超音波医学, 41:S468, 20140415.
- 2) 清野真也, 金澤崇史, 沼野智一, 伊東大輝, 大西孝明, 高濱英彰, 石川寛延: 異なるシステムにおける Magnetic Resonance Elastography(MRE)の測定値比較. 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 71st: 253, 20150228.
- 3) 堀江常満, 沼野智一, 村上克彦, 森谷浩史: 肺野結節自動検出ソフトウェアの評価〜デジタルファントムの有用性〜. 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 71st: 284, 20150228.
- 4) 沼野智一, 川畑義彦, 水原和行, 鷺尾利克, 本間一弘, 高本孝一, 西条寿夫: 独自システムによる MR Elastography の実施. 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 71st: 144-145, 20150228.
- 5) 伊東大輝, 沼野智一, 大西孝明, 水原和行, 高本孝一, 西条寿夫, 本間一弘: 筋繊維方向が MR Elastography に及ぼす影響. 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 71st: 144, 20150228.
- 6) 大西孝明, 沼野智一, 伊東大輝, 水原和行, 高本孝一, 西条寿夫, 本間一弘: 振動位相分割数の削減による MRE 撮像時間短縮の検証. 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 71st: 145, 20150228.

講演・口頭発表等

- 1) 伊東大輝, 沼野智一, 大西孝明, 水原和行, 高本幸一, 西条寿夫, 本間一弘: 肩部 MRE を実施するための技術の開発. 第 70 回日本放射線技術学会総会学術大会, 20140412.
- 2) 大西孝明, 沼野智一, 伊東大輝, 水原和行, 高本幸一, 西条寿夫, 本間一弘: MRE の再現性を高める加振パッドの固定技術. 第 70 回日本放射線技術学会総会学術大会, 20140412.
- 3) 沼野智一, 水原和行, 川畑義彦, 高本幸一, 鷺尾利克, 西条寿夫, 本間一弘: Development of MR Elastography Vibration System for the Broadening of the MRE Users. 第 70 回日本放射線技術学会総会学術大会, 20140413.
- 4) T. Numano, K. Mizuhara, Y. Kawabata, T. Washio, K. Homma: Magnetic Resonance Elastography with a Wireless Synchronization Pneumatic Vibration System. International Society for Magnetic Resonance in Medicine ISMRM 22th Annual Meeting & Exhibition, 20140513.
- 5) 沼野智一, 川畑義彦, 水原和行, 鷺尾利克, 本間一弘: 後付け MR Elastography システムの開発. 第 42 回日本磁気共鳴医学会大会, 20140919.
- 6) 新田尚隆, 兵藤行志, 三澤雅樹, 沼野智一, 白崎芳夫, 林 和彦, 本間一弘, 高戸 毅, 藤原タ子, 星 和人: MR-US 音速測定法を用いた再生軟骨の非侵襲評価. 第 42 回日本磁気共鳴医学会大会, 20140919.

- 7) 鷲尾利克, 水原和行, 沼野智一, 本間一弘: Preparation pulse を用いない MR エラストグラフィにおける Compressed sensing のシフト不変性の検証. 第 42 回日本磁気共鳴医学会大会, 20140919.
- 8) 大西孝明, 沼野智一, 伊東大輝, 水原和行, 高本考一, 西条寿夫, 本間一弘: MRE の再現性を高める加振パッド固定強度の選択. 第 42 回日本磁気共鳴医学会大会, 20140919.
- 9) 伊東大輝, 沼野智一, 大西孝明, 水原和行, 高本考一, 西条寿夫, 本間一弘: 肩部 MR エラストグラフィを実施するための技術開発. 第 42 回日本磁気共鳴医学会大会, 20140919.

競争的資金等の研究課題

- 1) 沼野智一: 文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「新しい MR エラストグラフィ技術の実用化に関する研究」, 201304-201603.

論文

- 1) Yukio Fujita, Atsushi Myojyoyama, Hidetoshi Saitoh: Bremsstrahlung and photoneutron production in a steel shield for 15 - 22 MeV clinical electron beams. Radiation Protection Dosimetry, 163(2):148-159, 201405.

講演・口頭発表等

- 1) 明上山 温, 齋藤秀敏: EGS5 における GUI 環境の構築. 第 107 回日本医学物理学会学術大会, 20140409.
- 2) 針生将嗣, 明上山 温, 齋藤秀敏: 三次元再構成画像を用いたコンプトン散乱補正による EPID 画像の改善. 第 107 回日本医学物理学会学術大会, 20140410.
- 3) 加藤瑛理, 大崎美幸, 明上山 温: 本学のリニアック使用者管理の自動化. 第 107 回日本医学物理学会学術大会, 20140411.
- 4) 針生将嗣, 明上山 温, 齋藤秀敏: EPID 画像コントラスト向上を目的とした自作シミュレーションコードと EGS5 によるベンチマーク. 第 21 回 EGS 研究会, 20140805.
- 5) 針生将嗣, 明上山 温, 齋藤秀敏: Improvement of Image Contrast by Analyzing of Compton Scattered Photons Impinged on EPID. 7th KJMP, 20140925.
- 6) 大崎美幸, 加藤瑛理, 明上山 温: 首都大学東京におけるリニアック線量管理の自動化. 第 42 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 20141009.
- 7) 菅波亮兵, 明上山 温: Feldkamp, Davis, and Kress アルゴリズムを用いた MV-CBCT リアルタイム画像再構成の開発. 第 42 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 20141009.
- 8) 初見 太, 明上山 温: 放射線治療における QA 支援用ロボットの開発. 第 42 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 20141010.